
リニューアル

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 12 月 31 日(水)19 時 52 分 4 秒

部歌のページをリニューアルしました。

ホームページの表紙

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 12 月 31 日(水)13 時 36 分 43 秒

ハイ、三代目です。

初代は雨宮さん提供のパタゴニアのフィッロイ。

次が池内君のパキスタン。

今回は私が一昨年見たアンナプルナ南壁。

雨宮さんが山嶽寮に書かれた“プロ登山家の誕生”に登場するクリス・ボニントンの“ヒマラヤ初の壁登攀”の舞台です。私が立っているのが標高 4,130m、アンナプルナ I 峰が 8,091m、落差約 4,000mの壁です。私は薄い水割りを飲みながら何時間も眺めましたが何処に登ったのかルートを想像する事がまったく出来ませんでした。

表紙の写真を入れ替えるのは簡単です。

お勧めの写真があればメールに添付して送ってください。

塩

昨日の顔ぶれ ほか

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008 年 12 月 31 日(水)11 時 03 分 28 秒

川口君、久しぶりでした。

昨日の会は 武田会長 塩崎さん N川さん 以下 豆田 川口 要 山本(恵) の各氏と大森の 8 名でした。

楽しくしゃべって今年の締めくりです。

塩崎さん、ホームページの表紙、綺麗ですね。

これで 3 代目ですか。

お世話さまでした。

投稿者：川口 S54（経） 投稿日：2008 年 12 月 31 日(水)08 時 58 分 4 秒

はじめて投稿させていただきます。S54（経）の川口です。

昨夜、忘年会ご参加の皆様、お疲れ様でした。

大変ごぶさたしておりました。懐かしく嬉しい一夜でした。
山はぼちぼち登っておりますが、最近では自転車にもはまっております。

また機会があれば参加させていただきます。宜しくお願いします。

サボりっぱなしのブログです。

→<http://muturaboshi.way-nifty.com/6rensei/>

寒い

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008年12月30日(火)02時43分18秒

谷君・山本さん、無事の下山何よりです。谷君のことは心配でした。あの吹雪ではさぞ苦労したことと思います。

昨日の29日は確かに天気は良かったですね。久しぶりに後立が白馬まで見えました。この冬山は各地で遭難が続いています。これまで殆ど降らなくて急にドカッと来たので雪崩が出易いのでしょうか。遭難がこれ以上増えなければ良いのですが。これから正月明けまでは悪天の様です。年末寒波ですね。

この休みはのんびり過ごしています。久しぶりに家族が全員揃いそうです。私が学生時代の正月は、殆ど冬山合宿で家にはいませんでした。親から「正月ぐらいは家にいたらうだ。」と言われましたが、そんなことはお構いなしでした。今になって親の気持ちが理解出来ます。今日は嫁ハンと正月料理の買出しです。朝一番から行動開始です。

本年は色々とお世話になりありがとうございました。良いお年をお迎え下さい！（只今AM2:40。寝ます。）

下山しました

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008年12月29日(月)20時51分34秒

東尾根から爺が岳を目指して入山しましたが、結局途中のP2にデンして帰ってきました。

26日夜、大雪で名神高速が通行止となり、鹿島部落に着いたのは27日昼頃。それから根雪の無いパサパサラッセルに苦労しながら登り、1650m付近にキャンプ。キャンプ予定のP3:1978mには程遠い。

28日雪降る中、ロングアタックをかけるが、胸までの猛ラッセル6時間半でやっとP2:2198m着。残念ながら、時間切れでキャンプへ戻る。

29日快晴の中、下山。皮肉なことに、我々のトレースを使って後続パーティーが続々と登っていきました。久しぶりの冬山らしい冬山で、頭の中の靄が吹き飛んだような気がしました。

川野君も谷君も無事でなにより。

ホワイトサンズ国定記念物

投稿者：福田信三 投稿日：2008年12月29日(月)11時43分11秒

今回の最後の訪問地、ニューメキシコのホワイトサンズ国定記念物。

荒れ模様の天気も回復。朝から突き抜けるような青空、しかし風は刺すように冷たい。

ここは白銀の砂漠とも見えるが、石英を主成分とする砂状結晶で出来ているいわゆる砂丘とは異なり、透明石膏の砂で出来ているために、夏の太陽の直射でも熱には変えず素足でも歩けるそう。最も今は冬で、所々に残雪が見られ、更にその白さを強調している。

公園内はとてつもなく広く、どこを見ても真っ白なので、標識を頼りに歩く。それでも、廻りに人影がなくなると不安になり戻ってしまう。

遠くに白山に良く似た、3700m のシエラブランカ山が望める。ニューメキシコ州は暑くて砂漠のみとのイメージは大きく変えられた。

この地区はミサイル基地でもあるために、週 2 回の実験中は公園、道路は閉鎖になるとのこと。又、過去にスペースシャトルの帰還地となったが、ここからフロリダまでの運搬が難しいと言う理由で 1 回だけに終わった。

明日は、フェニックスまで 720km のロングドライブだ。



秩父の山二つ

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 12 月 28 日(日)19 時 15 分 29 秒

北アルプスは荒れ模様だったようで、谷君の無事下山の報に接しほっとしました。

当方今年の登り納めは、J A C 図書委員会の仲間 5 人で秩父の山を歩いて来ました。関西の人には馴染みのない山ですが、関東にはこんな山もあるよ、という感じで報告します。

25 日（晴）若御子（ワカミコ）山 735m

26 日（晴）秩父御岳（オントケ）山 1081m

泊りは浦山山荘（鉱泉宿）

秩父鉄道・武州中川で下車して、若御子山登り口にある若御子神社の近くで出会った土地の老婆に道を聞くと、その昔頂上にあった神社を村人総出で麓に下ろした事など、止め処もなく話してくれた。神社裏の遊歩道は良いが、そこから上は荒れていて危ないから行かぬ方が良いという。良く整備されてはいるが、いきなり急登ワンピッチで見晴しの良い絶好のメシ場があった。

食後、老婆の忠告を無視して尾根筋の踏跡を辿って行くと、仰る通りの荒れ放題の急な登り難い山道だっ

たが、頂上までの2カ所に朽ちかけた祠があったりして秩父らしい山歩きが楽しめた。うっすらと積雪もあったので、下りは慎重を期して軽アイゼンを着用したら不思議なことが起こった。尾根筋の下りで先ずはT氏の片方のアイゼンが何時の間にやら紛失。それを笑っていると、今度は若御子峠から浦山湖に至る急峻なガレ沢を下降中、小生の片方のアイゼンが紛失。何時の間にどこで足から外れたのか、全く合点が行かず、探しに登り返す元気もなかった。今にして思えばバアさんの忠告無視の罰当たりか。

この下りも道無き道だったが、途中にポツンポツンと人家跡があったりして、妙に人間臭く、こんなところを独りで歩いたらさぞかし気味悪かったらと思う。

翌日の御岳山は、もっと整備された登山道だったが、落合部落からの沢筋の登りではうっすらと雪の付いた丸木橋がいくつもあって、これを滑らずに渡るのに難儀した。痩せ尾根の鎖場を経て辿りついた狭い頂上には立派な御岳山神社あり、秩父の名峰両神山が間じかに見える絶景だったが、寒風吹きすさび長居は無用と、三峰口駅への急な長い尾根筋を下った。

凍てついた尾根道では、アイゼンあったらなあ、と思いつつ転倒滑落が何より怖いという心得はあり、超慎重に気合を入れて下った。ヤバイところを下り切った途中の陽だまりでやっとウイスキーのお湯割りを美味しく頂き、まさに至福の時を過ごしたが、2日経った今日に至るも太股の筋肉がまだ痛い。

そんな訳で今年も山良し、仲間良しと思い出に残る山歩きで締めくくれた。ちなみに同行の仲間はほぼ同じ時代に大学山岳部（国学院、関学、大阪外大、学習院）に身を置いた人達四人でした。

谷君

投稿者：管理人 投稿日：2008年12月28日(日)16時29分5秒

谷君からメールが入りました。

今日パートナー共に無事下山したそうです。

天気悪く滝谷は登れなかったようです。

詳しくは彼が帰阪してから報告してくれるでしょう。

西穂敗退

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008年12月28日(日)08時02分28秒

昨日、西穂を目指しましたが、前日からの大雪に阻まれ敗退しました。ロープウェイを降りてからいきなりのラッセル。先行のおばちゃん二人はスノーシューで膝から腰まで沈んでいました。私はワカンで更に沈みバテバテ。おばちゃん達は途中で引き返し、私は更に進みましたが、腰までのラッセルは思いのほか体力を消耗し、結局数百m進んだだけで引き返しました。10人位の強力なパーティでないと無理ですね。ところで谷君は大丈夫でしょうか？

サワロ国立公園

投稿者：福田信三 投稿日：2008年12月27日(土)17時23分0秒

ツーソン入り、ここは砂漠の町。しかし人口50万の結構大きな市です。ワイアットアープ等で有名なOK牧場が近くにあります。もうひとつサボテンの公園、サワロ国立公園の拠点でもあります。写真のような10mを

越すサボテンが無数に自生。ここまで成長するのに 2,300 年かかるとのこと。サボテンは暑い砂漠、雨の無い乾燥した所に成長すると思っていましたが、今日は曇交じりの雨が一日中降っていました。



メテオール・クレーター

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 12 月 25 日(木)09 時 33 分 31 秒

アリゾナ北部のメテオ・クレーターを見ました。5 万年前、隕石が衝突した跡です。それまでは火山の噴火口とされていたようですが、約 100 年前地質学者の研究で隕石クレーターとわかりました。その隕石は直径 45m と推定。深さ 200m 直径 1.5km のでかい穴です。環境が他の星と似ているので NASA 宇宙飛行士の訓練所に使用されていると説明がありました。

どの程度の爆発があったのかと質問したら、5 ヶトの水爆に匹敵と言われました。マ、想像を絶するということなんでしょう。



冬山

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 12 月 24 日(水)23 時 03 分 41 秒

今週の土曜日からの冬山は天気が悪そうです。中止かどうか迷っています。まあ西穂山荘までは行けそうですが。安全第一です。ところで谷君はどうしたのでしょうか？この天気ではやばいと思います。注意して欲しいですね。

出版記念会・伊藤文三氏

投稿者：越田和男 投稿日：2008年12月24日(水)22時26分39秒

伊藤文三さんからの H20.12.23 付け越田宛の手紙を許可を得て転載します。いろんな人のめぐり合わせで出た本から、また新たなめぐり合わせがあるのですね。

.....

「妻に送った九十九通の絵葉書」出版記念会、いろいろ御苦労様でした。

愿さんの出版記念会に行く、と言うと、我が家のバアさん曰く、「愿さんといえば、結婚したてで何もわからんのに、カトリック教会でのお葬式の受付をやらされ、御聖堂にも入れなかった」と。自分の嫁さんに受付やらす位だったら、お葬式の時いろいろ走り回ったと思うが、その記憶まったくない。そう言えば、亡くなった時、病院に行って病院で一晩過ごしたような気がするが、それもはっきりとした記憶にない。

記念会当日、珍しい人に会った。受付で名札をつけていると「松本重一郎の家内です」と挨拶されびっくり。「亡くなってどれ位なります」と思わず聞くと、「七年になります」と。松本重一郎は、甲南の同期で、理科、剣道部の優等生。甲南時代特に親しくしていたわけではないが、昭和ヒトケタ時代には家族ぐるみのつき合いをやっていて、小さい時クリスマスのパーティに呼ばれて行くと、プロの芸人が来て余興などやっていたことを思い出す。いやはや。

彼はどっかの研究所にいたが、上智大学に理工学部をつくる時に呼ばれ教授となった。その頃一度上智大学を訪ねたことあり。軌道に乗った頃にやめて、森村学園の学園長、理事長をやっていた。松本重一郎と愿さんは、遠い親戚になるみたいだった。

エリカさん（注：故田口二郎さんの次女）に、お久しぶり、といて例の如く、抱きついて挨拶された。「フクデンさん（注：故福田泰次さん）のところに行らっしゃるのでしたら、うちに寄って下さい、車でお送りしますから」と言われる。フクデンが亡くなってから、奥さんのところに一度行こう行こうと思いながら果たしていなかったの、それを見透かされた感じでびっくり。

近頃はやりの脳活性化のため、手書き、汚いが判読してして下さい。

今日（12月23日）朝日の死亡記事に山岡静三郎が出ていましたね。

越田和男様

伊藤文三

爺が岳に行きます

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008年12月24日(水)18時20分48秒

谷君は、相変わらず厳しい山に行くんですね。

20数年前の年末、今は亡き数内さんと涸沢岳西尾根を登って奥穂から西穂へ縦走したことがあります。

その時はあまりにすっとなってしまっていて、あまり記憶に残っていません。でも、この夏、西穂から奥穂に行ってみて、「よく冬に来たなあ」と思いながら、自分の力の低下を実感しました。

川野くん、またまた西穂ですか。私は26日夜発で、爺が岳東尾根に行く予定です。天気が最悪のようです。お互い無理せずに行きましょう。

霊気をもとめてトレッキング

投稿者：福田信三 投稿日：2008年12月24日(水)14時03分18秒

天気になったのでボルテックスのひとつの周辺をトレッキングしました。

この岩、形が出ているとかでカテドラル岩。

最も人気のある岩でモニュメントバレーで見たような岩です。

何度も岩を触ったり座ったりしましたが、

残念ながら霊気を感じるにいたらず。

寒波のおかげで冷たさのみでした。

Gキャニオンあたりは雪です。

予定ではコンパクトカーを借りる予定でしたが、

レンタカー屋のおばちゃんに“雪が降るかもしれないから、大きいほうが良いよ”

と言われ、四駆のジープチェロキーにしました。

明日は北に向かってフラッグスタッフの隕石落下の穴へ行きますが、多分雪でしょう。



セドナ

投稿者：福田信三 投稿日：2008年12月23日(火)14時20分5秒

朝から雨模様の寒い日です。
セドナのボルテックスをめぐりました。
霊を感じるには遠く及ばず、つつい昼食のことに
頭が走ります。サボテンのフライ。少し酸味があり、美味いとは思いません
時々、ボルテックスのあたりをフラーッと歩いている人が居ます。
感じましたか？とも聞けず、気味が悪いです。
景観は G キャンオンに良く似ています。



訃報・山岡静三郎氏

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 12 月 23 日(火)12 時 28 分 32 秒

今朝の日経新聞によれば、
「山岡静三郎氏（元住友化学工業常務）14 日肺炎のため死去、92 歳。連絡先は社長を務めた日本メタフィジックス総務部。告別式は近親者のみで行った。喪主は長男、洋一氏。」とのこと。謹んでご冥福をお祈りします。

山岡氏（旧制昭和 11 年理科卒）は 5 年前に入院された青梅の慶友病院で、たまたま同病院に入院中の故伊藤愿氏の未亡人房子さんとバツリ出遭われ、その出会いが去る 8 月上梓された伊藤愿遺稿集「妻に送った九十九通の絵葉書」の出版にいたる発端となった。伊藤房子さんも去る 10 月に逝去されたが、不思議なご縁で陽の目を見た遺稿集の完成をご兩人ともとても喜んでおられたとのこと。編集の労をとられた松方恭子さんのご努力で、お 2 人の生前に間に合って本当に良かったとつくづく思う。

また、覚えて居られる方も多いと思うが、山岡氏は数年前に、ご自身がカトマンズで入手されたネパール人の著名画家によるマチャプチャレの油絵を甲南山岳会に寄贈されたことがる。この絵は現在伊那松川の雨宮山荘に保管されている。

セドナ

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 12 月 22 日(月)10 時 51 分 42 秒

サンフランシスコからフィニックス経由でセドナに着きました

セドナは日本人にはあまり馴染みは無いですが、
アメリカ・アリゾナ州フェニックスから車で 2 時間半北上したところにある、
赤い岩に囲まれた小さな町です。グランドキャニオンにも近い場所です。

そんなセドナで有名なのがボルテックスと呼ばれるパワースポット。

ボルテックスとは渦巻きという意味で、大地から磁場が渦を巻いて沸き起こっていると言われています。

古くよりネイティブアメリカンの聖なる場所であり、訪れた人に何らかの影響を及ぼすと言われています。

そのセドナの不思議な力を試しにやってきました。

普段は夢を見ない人が滞在中は毎晩夢を見る、身体の痛みが取れる、自然と悩みが解決した、人生の方向性を確信した、日常の疲れが癒された・・・などその現れ方は人それぞれとのこと。

確かにこんなことを 100%信じてきたわけじゃないですが、もしかという期待もあります。

更に不思議なことに、近所には多くの隕石落下の巨大穴が在り、そのひとつは月面に似ているので NASA 月探査機のトレーニングをしました。

さて明日からが楽しみです。

写真は部屋からの岩山

福田



上高地散策

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 12 月 21 日(日)05 時 04 分 16 秒

昨日、独り上高地に行ってきました。以下報告です。

・12 / 20 (土) 快晴→晴れ 坂巻温泉 7:40⇒鎌トンネル出口 8:30⇒上高地河童橋 10:00～
10:50⇒鎌トンネルのゲート 12:30

まだ真っ暗な 6 : 20 に松本の自宅を出発。満点の星空。快晴である。坂巻温泉に 7 : 30 に到着。

国道を徒歩 20 分で鎌トンネルのゲート。鎌トンネルは真っ暗でヘッドランを点けた。1.2 km ほどのトンネルを抜けると冬景色。しかし、道路には全く雪はなく乾いていた。脇を何台もの工事用のダンプやミキサーがすり抜けていった。興ざめ！大正池からは圧雪路となり、やっと冬山らしくなった。快晴の下、焼岳・西穂・前穂が美しい。ラッキー。それにしても寒い。身体が寒さに馴染んでいないのか堪えた。河童橋では風も加わり更に寒さが増した。記念写真の後、バスターミナルに戻りラーメンを作り暖まった。美味しい。帰りは休憩なしで一気に鎌トンネルのゲートまで。途中、会社の同僚と出会い、話が弾んだ。彼らは 4 人で今夜は上高地にテント泊。ゲートからはタクシーで坂巻温泉へ。露天風呂に入り松本には 14:00 に戻った。

（付）今冬は暖冬気味です。そのせいか上高地へ向う人は少なく 20 人位しか見かけませんでした。雪が多いとスノーシューを履いた人が大勢詰め掛けるようですが、積雪は上高地で 30 cm ほどです。雪の締り具合から、ここ何日も降っていないようでした。

今回、新しく買った全天候型のジャケットとズボンを使いましたが、蒸れもなく快適でした。また、ガスコンロのカートリッジもオールシーズン用を使いました。低温にも関わらず火の勢いが強く感心しました。夏用は気化が不十分で火力が落ちるらしいです。

谷君！気を付けてお出掛け下さい。天気予報では今日から下り坂のようです。今週は悪天続きかも知れません。なお今朝の松本は晴れていますが風が強いです。私は次の日曜日（12/27）に新穂高から西穂に向う予定です。まあ天気次第ですが。

厳冬期の滝谷登攀

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 12 月 19 日(金)08 時 07 分 9 秒

谷君の計画みて、身の引き締まる気がします。時には撤退の勇気をも持って登ってください。

冬山計画

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2008 年 12 月 19 日(金)01 時 56 分 13 秒

今年の冬山計画をお伝えます。

期間 12 月 20 日～29 日（出発 1 日遅れる可能性あり。その際行程を一日遅らせる。）

メンバー：私と大阪氏（昨年の前穂北尾根と同じ。）

行程：

12/20 土 大阪－金沢－新穂－西穂高口－西穂山荘 移動日 谷は金沢で大阪と合流

12/21 日 西穂山荘－コブ沢の頭

12/22 月 コブ沢の頭－北穂高小屋

12/23 火 滝谷登攀（クラック尾根）

12/24 水 滝谷登攀（ドーム中央稜）

12/25 木 滝谷登攀（予備日）

12/26 金 北穂高小屋－肩の小屋

12/27 土 肩の小屋－槍往復－中崎尾根－槍平－新穂高

12/28 日 予備日 1

12/29 月 予備日 2

今回が学生最後の年末山行です。山を楽しみ、そして頑張って登ってきます。

日本山岳会が今年から試験的にオンライン山の天気予報の配信を行うようです。

<http://www.jac.or.jp/info/tekiannounce.htm>

↑↑私も早速登録しました。

海外登山交流会とクラブの事故

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2008 年 12 月 16 日(火)02 時 05 分 21 秒

先週末、一泊二日で京都府岳連主催海外登山交流会に参加してきました。

http://www4.plala.or.jp/kyoto-gakuren/imformation/081024_kaigai.html

講演内容

＜ネパールヒマラヤ・デインジュン・リ初登頂報告

関西学院大学山岳部 OB 山本氏＞

現役の学生登山隊が少人数でネパールの未踏峰に初登頂した記録

＜クビ・カンリ初登頂の記録 日本山岳会関西支部 下里直樹氏＞

西チベットに聳える未踏の山に関西の学生山岳部が合同で挑み、

初登頂に成功した記録

＜バルン・ツェ登頂 大阪カランクルン山の会隊 林孝治氏＞

エベレスト山群の名峰に登頂した記録

＜カナダの山々 同志社大学山岳会 下里直樹氏＞

この夏行われたカナディアンロッキーの山々の登攀の記録

カナダにはいい山がいっぱいありますよ。

＜バルトロ山群ハイナブラック・イーストタワー登攀 今井考氏 ＞

二人で固定ロープを使わずにアルパインスタイルで挑んだ記録。

同ピークのアルパインスタイルによる第 2 登の記録です。

12月14日（日）午前9時から

＜ネパール・ラムダンゴ登山の記録 阪本公一氏＞

ネパール・ロールワリン山群にあるトレッキングピークの一つに

高年登山隊が挑んだ記録。

ロールワリン山々もご紹介いただきます。未踏峰もあるかも・・・。

＜高所医学の基礎知識 京都大学学士山岳会 中島道郎氏 ＞

高所医学のパイオニアであり、またご自身も8000mの登頂者である

医師から高所にいく上で必要な基礎知識を丁寧に講義していただきます。

＜ネパールマナスル山群の秘峰・ツラギの試登 大阪山の会隊 辰巳氏＞
マナスル山群の残された課題の山へ再度、挑戦の記録。
周辺の山々も素晴らしいです。

＜ 最新登山情報 ヒマラヤ各国の状況 ＞

今年は20代～30代の若手の登山・クライミングの報告が目立ちました。
また阪本氏のロールワリンの貴重な報告も大変参考になりました。
初日の講演終了後の懇親会では山の話で深夜まで盛り上がりました。

残念ながら今年は開催時期は少し遅めになっていたせいか、参加される方が少なかったように思います。
毎年この時期に開催しておりますので、御都合が合いましたら是非次回ご参加いただき海外登山の話・写真を見にいらしてください。

クラブの事故

まさに自分が行っていたところです。事故原因については今後明らかになっていくかと思います。
事故と他人事と思い過ぎせずに、セーフティークライミングを心掛けたいと思います。

タイの岩登りⅡ

投稿者：飯田 進 投稿日：2008年12月12日(金)09時36分28秒

先日 テレビでちらっと見ただけでしたが、谷君提供の岩場の写真によく似ているな、と思っていました。クラブの岩場で遭難したのですね。昔小豆島の親指岳、確かタイセンバ、ショウセンバと呼んでいた岩場に遊びに行きましたが、岩登りより釣りのほうが面白かった。
夕方近所の農家のおばさんが、学生さん、お風呂よかったらどうぞ、と声をかけてくれました。懐かしい思い出です。

タイの岩登り

投稿者：越田和男 投稿日：2008年12月11日(木)23時26分56秒

タイに岩登りに行く人がいることは、うわさ程度にしか知りませんでした。クラブという場所に今回谷君が行ったことで、ちょっと身近に感じるようになった矢先に、今朝の朝日新聞で、札幌からの73歳のベテラン・クライマーが岩登り中に転落事故で死亡したという報道がありました。

高峰のないタイへクライミング目的で行くというのですから、岩場としてよほど魅力があるのでしょう。それにしても時代は変わったなあ、と感じました。近くなった海外、昔の人が小豆島の親指岳に岩登りに出かけたのを連想しています。

有り難うございました。

投稿者：柏 敏明 投稿日：2008年12月11日(木)10時23分49秒

2年間の闘病生活を経て10月22日に74歳で逝去いたしました兄柏秀樹の
七七日忌を先日の日曜日に親族で済ました。

。

葬儀式にはお忙しい中、多くの会員の方にお見送りをいただきまして
厚く御礼申し上げます。今頃は竹中寛様の積もるお話に悩まされている
のではないかと思います。

生前は山岳会の皆様に一方ならぬご厚誼を賜りました。兄も教科書業界や
書店経営に身を置きながらも、やはり山が原点だったように思います。
偶に会う時も最後は山の話になりました。

山自体は余り登りませんでしたが、登るだけが山と違うという考えで、
晩年になっても、好きだった絵筆で山のスケッチを書きためておりました。
山嶽寮や日本山岳会の年報にカットを書かせて頂いたことも喜んでおりました。

一言多い兄でしたが根は甲南の事を思い、山岳会・部の事を思ってた事だったと思います。六甲の家での下
手の横好きの麻雀で会員の皆様の鴨になっていたことでお許し頂きたいと思います。こんな事を書くとなんか兄か
ら一言あるかもわかりません。

姉からも山岳会の皆様に有り難うございましたと御礼申し上げて下さいとのことでした。重ねて御礼を申し上
げます。

ご無事でなにより

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 12 月 8 日(月)20 時 09 分 44 秒

谷君が出発して、タイの政情が不安定になり心配していました。
無事帰国で安心しました。
アクティブにがんばっていますね。

帰国のお知らせ

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2008 年 12 月 8 日(月)00 時 03 分 20 秒

遅くなりました。昨日早朝、予定通り無事タイより帰国致しました。
大変ご心配お掛けいたしました。
バンコクではなにやら騒がしかったようですが、こちらは目的のクライミングを堪能することができました。
クラビ→バンコク間の飛行機は欠航の為、バスで 1 4 時間の長旅をしいられましたが。。。
取り急ぎ帰国のご連絡までに。

タニ



マッターホルン

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 12 月 1 日(月)17 時 49 分 28 秒

先に触れました「挑戦の山」で初登頂者のウィンパー達がたどったルートを、当時の
いでたちで（長いピッケル持って）登るシーンがあります。恐らく伊藤げん先輩も
たどったルートかと思って、大変興味深く見た次第。先輩の凄いところは
42歳の時の出張の際に、単独で登った事です。相当の腕前だったのでしょう。
（伊藤収二先輩が剣獄チンネの正面ルートを裸足で攀じた。旧制甲南高のクライミング
のレベルの高さを再認識してます。）

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2008 年 12 月 1 日(月)09 時 45 分 45 秒

いよいよ師走、皆さんにかとあわただしい毎日かと存じます。

信越地方では、スキー場があちこちでオープンしています。

いよいよシーズン到来です。雪見会も開催します。

日時

1月24, 5日泊 基本 梅池高原 前田館

また、高遠合宿

2月7, 8日 賀茶さん宅

どちらも、例年より一週間早くなっています。詳細は1月になってから。

挑戦の山（45分の短編映画）

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 11 月 30 日(日)15 時 17 分 5 秒

大阪市立科学館で見えてきました。今日が此の上映の最終日。

THE ALPS の 壁を登るクライマー、器械体操で訓練とは、凄い！！

大先輩の伊藤げんさんもルートはともかく、マッターホルンを攀じた。驚きです。

越田さんへ返信

投稿者：大関 和夫 投稿日：2008 年 11 月 28 日(金)09 時 46 分 45 秒

申し訳ありません。

間違いでしたので、訂正しておきました。

松野さん宅では深夜まで御馳走になり、電車がなくなりお付きの車で世田谷から遠く海老名まで送って頂きました。

道中運転手さんは「専務が本当に楽しそうでした。あなたは何者ですか？」と、

「松野さん」とは田口二郎・福田氏や伊丹（弟）渋谷氏達と J A C の理事だった飯田氏の世話で上高地の J A C の山岳研修所へ行き、小生の料理で酒盛りをしました。

Re: 松方さんの出版記念会

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 11 月 27 日(木)17 時 36 分 6 秒

> [No.604\[元記事へ\]](#)

大関 和夫さんへのお返事です。

僭越ながら少し修正加筆させていただきます。

> 小弥太の弟が社長だった三菱モンサント化成の元専務は西村格也氏。

「西村格也氏」とあるのは間違いで「松野茂雄氏」（昭和 9 年旧制理科卒）です。

西村さんは三井金属鉱山で、戦前神岡鉱山に居られ、甲南の後輩が穂高の西面に入る時に、芸者つきの大宴会でもてなして下さった逸話あり（伊藤文三氏談）。

> 1929 年 5 月愿さんと剣岳早月尾根へ。

この時の同行者は確かに西村格也さんです。

> 75 年頃の山岳会の飲み会の流れで越シン達とカクサン宅へ。

「カクサン宅」ではなく、「松野さん宅」でした。世田谷の松野邸新築直後のことでした。

> 歓待された奥様は田口二郎さんの妹でした。

松野さんの奥さんが田口さんの妹さんです。今回の出版記念会にも松野さんの令嬢のお二人が見えてました。

> 甲南山岳会の三菱ゆかりの人たちの思い出話です。

もうお 1 人追加しますと、茂木さんと同期の国府三郎氏（昭和 18 年旧制理科卒）も三菱化成 O B です。

松方さんの出版記念会

投稿者：大関 和夫 投稿日：2008年11月27日(木)04時52分35秒

会場の六本木の国際文化会館は三菱の二代目オーナー岩崎小弥太の本宅跡。

東京空襲で小弥太の庭だけが残る。

宴の最初「来賓挨拶」は三菱商事元社長。

諸橋晋六氏。

宴の憩の時、小生は諸橋氏に「甲南山岳会の武田会長は三菱商事を定年退職し今も山とつりとスキーを続けている」と話しました。

小弥太の弟が社長だった三菱モンサント化成の元専務は松野 茂雄氏。

75年頃の山岳会の飲み会の流れで越シンたちとお宅へ。

歓待された奥様は田口二郎さんの妹でした。

小生と上高地へ山行

1927／3杓子岳東壁初登

福田泰次氏（元三菱自動車副社長＝米国三菱自工会長）フクデンさんは愿さんの山の資料を多く世に紹介。

小生の長女は三菱自工に就職。

剣・鹿島槍・丹沢・乗鞍・上高地へ山行を共にしました。

小生の父は三菱商事小樽から神戸へ転勤。

小生は高校2年で甲南高校へ転入学し山岳部へ。

神戸で甲南大学卒業まで6年暮らす。

卒業の年父も東京へ。

神戸から田園調布の三菱の茶室のある広い庭の家へ。

田園調布の駅前に、日本経済新聞の文化欄に「田園調布の町会のこと」を書いた三菱化成の茂木光隆氏。

乗鞍丹沢山や花見会にご一緒。

中公新書1317「岩崎小弥太」中央公論社、

索引 大関勝江 213P

小弥太と父・家族の記述があります。

この時代小生家族は母の兄が場長だった岩手の小岩井農場（岩崎家の別荘の一つ）に身を寄せたこともあります。

思えば今年で10年目の「花見会」は小岩井でのBBQや田園調布の多摩川の花火のビール会に端を発しています。

皆故人となり、小生も12月で70歳になります。

甲南山岳会の三菱ゆかりの人たちの思い出話です。

初冬の茅ヶ岳

投稿者：越田和男 投稿日：2008年11月26日(水)11時40分16秒

諸般の事情でこのところ山行きの頻度が落ちているが、昨日は会社OB仲間と雪の茅ヶ岳山頂に、痛む足腰を何とか騙し騙して運び上げた。バブ先輩には笑われそうだが、標高差800m、標準タイム2.5時間のところを3時間強かけた。

深田久弥氏終焉の山として、休日には賑わうこの山も、晩秋・初冬の平日は実に静かで、2人ずれの男性一組に出遭ったのみ。わずかに紅葉の名残をとどめる谷間の林道から、落葉を踏んでの急登のジグザグ道を経て稜線を辿れば、やがて深田氏終焉の地を示す碑が金峰をバックにひっそりとたたずむ。雪の山頂からは南に富士、西に南アルプスの諸峰、北東に八つ、北に金峰・瑞牆など豪華な眺め。質素なコンビニ食もワイ一本で豪華なランチとなった。やっぱり山は色んな楽しみ方あり今回も大変結構でした。

御嶽山

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008年11月24日(月)23時28分3秒

11月22日(土)23日(日)、神戸大の現役4名と御嶽山に行ってきました。

このところの寒波で、ロープウェイの駐車場は真っ白な雪景色。晴れているのに、強風のため、ロープウェイ運行2時間待ち。

登山道も、11月特有のパサパサ雪で歩きにくく、所々腰胸ラッセルとなりました。

山上部はガスと地吹雪で、それなりに冬山気分を味わって帰ってきました。

甲南の山に入る現役は、谷君以外いないのでしょうか。

タイ・フリークライミング遠征 2008 と講演会

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2008年11月22日(土)21時27分23秒

御無沙汰しております

一部の方（私がアドレスを知っている方）にはお伝えしておりましたが、明日から（ナイト便で）タイへフリークライミング遠征に行き参ります。

場所は昨年と同様のタイ南部のクラブ。（トンサイ、ライレイ、プラナンエリアがよく知られています。）

期間は11月23日～12月6日です。

それでは、事故・怪我・犯罪には十二分に留意して行参ります。

2008/11/19

タイ・フリークライミング遠征 2008

【概要】

昨年に引き続き、タイ南部に位置するクラブへフリークライミング遠征を企画いたしました。詳細は以下をご覧ください。

現在タイ南部の治安状況はバンコクや南部の都市と比べて比較的安全とされていますが、事故・テロに巻き込まれぬように、又怪我の無いように細心の注意を払う所存です。

【地域】

タイ/クラブ周辺の岩場

【期間】

2008年11月24日～12月6日

【目的】

タイ・クラビの岩場の概念を把握する。

クライミング技術の向上及び、他国のクライマーと交流してクライミングに関する情報交換をする。

→主に安全管理に関すること。

語学研修/英語

【治安状況と対策】

最近バンコク市内及びタイ北部の治安があまり良くないことはメディアの報道を通じて周知しております。今回のクラビはタイ南部に位置し比較的治安状態は良いと言われておりますが、夜間の行動はなるべく慎重、デモなどの人が多く集まる場へは近寄らず、また移動の際は公共交通機関を避けて出来るだけタクシーなどを利用します。

【参加者】

学年 * 回生

氏名 谷 勇輝

学部・学科 理工学部・物理学科

学籍番号 * * * * *

所属 甲南大学体育会山岳部／兵庫県山岳連盟

住所(自宅) * * * * *

緊急連絡先 * * * * * (間柄)

現地連絡先 * * * * * (NTT ドコモ海外レンタル携帯)

【日程】

2008/11/24

00:30 関西空港発⇒(タイ航空(以下 TG) 673 便)⇒05:00 バンコク着

08:00 バンコク発⇒(TG249 便)⇒09:20 クラビ着

クラビ 10 泊

2008/12/4

10:10 クラビ発⇒(TG250 便)⇒11:30 バンコク着

バンコク 1 泊

2008/12/5

23:00 バンコク発⇒(TG622 便)⇒06:10 関西空港着(12/6 着)

【クライミング装備】

ロープ(シングル・60m)、ヌンチャク 20 セット、環付カラビナ 5 枚、ビレーデバイス 2 個、クライミングシューズ、ソウンスリング(ロング、ショート) 4 本、皮手袋(ビレー用)、チョークバック、チョーク、液体チョーク、捨てカラビナ・縄、トポ、テーピング、ヘッドランプ

【医療・医薬品】

医薬品 内服薬・・・鎮痛・解熱剤、胃腸薬、整腸剤、抗生剤、総合感冒薬

外用薬・・・傷面消毒液、湿布、目薬、軟膏

医療品・・・ピンセット、毛抜き、ハサミ、体温計、包帯、滅菌ガーゼ、ビニール手袋、三角巾

バンソウコウ

【現地連絡先】

谷 勇輝 * * * * * (NTT ドコモ／海外専用携帯)

* * * * *

実は明日、同窓会側より依頼がありまして、23日（祝）15時～平成20年度甲南学園同窓会大学同窓会合同総会で昨年のクビ・カンリ遠征の話することになりました。（合同総会は13時～。）
進行具合により15時の開始時間が前後するようです。
今年の甲南山岳会総会へ参加されていない方は今回の講演会で遠征の写真を沢山ご覧いただけると思います。（山岳会総会に御出席いただいてスライドをご覧いただいた方にとては変わり映えのない内容になってしまうかも知れませんが、その点何卒ご了承ください。）

松方さんの出版記念会

投稿者：越田和男 投稿日：2008年11月16日(日)16時11分41秒

松方恭子さん編著「妻に送った九十九通の絵葉書・伊藤愿の滞欧日録」の出版を祝う会は11月14日の午後、六本木の国際文化会館で約120名が参集した盛大なものでした。

このような会は出席者が会費制で集まり、著者を招待して祝うというのが本来だと思ってましたが、今回は日本山岳会、甲南山岳会の諸氏諸兄は松方家からご招待いただき恐縮した次第です。

山関係では、乾杯の音頭をとられた元日本山岳会長の太塚博美氏（1970年のエヴェレスト隊の登攀隊長）が、エヴェレストの時の隊長が恭子さんの義父の松方三郎氏だったことなど不思議な人の縁を語られ、平井吉夫が行方不明となっていた九十九通の書簡の不思議な顛末、平井一正先生が本著の出版にいたる数々の人と人との不思議な出会い、AACK会長の上田豊氏がヤルンカン頂上に伊藤愿氏の遺影を埋められた時の模様など、参集者に感銘を与えるスピーチで披露されました。愿さんを直接知る甲南の山仲間の方々がほとんど既にお亡くなりになっておられるのが誠に残念な思いでした。

宴の終わり近く、武田雄三会長の代理で発言に立った小生からの甲南山岳部の今昔などの紹介のあと、出席の甲南山岳会のメンバー（伊藤文三、福井實の旧制OBを含む）で愿氏作詞の部歌「山の歌」を披露しました。80年来歌い継がれていることに驚かれたとのでした。

なお、恭子さんのご挨拶によれば、この本の完成をことのほか喜ばれたという母上（愿夫人）の房子さんが、先月享年92歳で逝去されたとのことでもあります。謹んでご冥福をお祈りする次第です。

出版記念会にお招きいただき

投稿者：南井英弘（K G A C） 投稿日：2008年11月15日(土)20時24分36秒

松方恭子様編集の「妻に送った九十九枚の絵葉書」出版記念会にご招待いただき有難うございました。伊藤愿さまの名前は若い頃から度々耳にしており、楽しみに出席させていただきました。

旧制高校時代の大先輩が戦後間もない頃に海外出張先から奥様に宛てられた絵葉書が、紆余曲折の50有余年後、甲南山岳会の方々のご協力でこのような人の心をうつ素晴らしい書物になった事を心からお慶び申し上げます。

関係者のスピーチを聞くに付け、戦前の先輩から今日に至るまでの長い期間、K A C皆様の上下関係のない暖かい仲間意識を肌で感じる事が出来ました。羨ましき限りです。

K A Cの益々のご発展をお祈りしています。

カニキノの会

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 11 月 10 日(月)22 時 10 分 1 秒

8 日夜 9 時半頃、大森さんと浜坂のいつもの場所に到着すると、もうすでに皆さん出来上がっていて、ランタンの明かりの中から大きな笑い声が。

早速、カンさん浪川さんが焼いて下さったカニをほおぼり、安井さん伊丹さんの楽しいお話を肴に、武田さんが手に入れて下さった香住鶴「ひやおろし」を流し込むと、もう最高の気分でした。

皆さんがお休みになられた後も、久しぶりに大森さんと炭火を囲んで遅くまで談笑。

翌朝は、カニ雑炊とキノコの味噌汁。競りでは武田さんが上物を格安な値段で手に入れていただき、お土産も確保。

今回は、土曜日に仕事、日曜日午後から会議と、あわただしい 2 日間でキノコ狩りと宴会準備に参加できませんでした。私の代わりに、浪川さんに仕切っていただき、本当に助かりました。有難うございました。

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 11 月 10 日(月)18 時 53 分 30 秒

大森君がカニキノの写真を送ってきました。

アルバムにUPしました。

私は参加できませんでしたが蟹を届けてもらい昨晩は家族で蟹を堪能しました。

美味かった。

配達してくれた皆さん、有難うございました。

カニキノの会

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 11 月 6 日(木)22 時 19 分 19 秒

カニキノの会、土曜日の天気があまり良くないようです。

今のところ参加をお伺いしているのは、

8 日朝から武田さん、カンさん、浪川さん、夕方宴会参加の安井さん、夜に何とか参加の大森さんと

私。計 6 名です。

例年よりちょっと寂しい会となりそうですが、のんびり楽しみたいと思います。

いつもの公園で予定しています。急にご都合がつかれた方が居られましたら、ぜひご参加ください。

チョゴリザ 50 周年

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 11 月 6 日(木)19 時 20 分 24 秒

去る 11 月 3 日京大芝蘭会館稲盛ホールで「チョゴリザ初登頂 50 周年記念

シンポジウム」が開催され、その後の懇親会も含め参加しました。

今西錦司－西堀栄三郎－桑原武夫が拓いたパイオニアワークの伝統を受け継いだ

京大学士山岳会 O B で、ヒマラヤの高峰登山経験の名だたる先生方のアカデミック

な面も重視した登山及び数々のフィールドワークの講演。これぞ

文武両道の世界との印象を受けました。平井一正先生の講演はその

ハイライトであったと思います。又喜ばしい事に K A C の大先輩伊藤げんさんの名も出てきました。

懇親会では、平井先生が故ヘルマン ブール夫人と

歓談された時のスライドなどが写されたり、J A C 宮下会長、松田雄一氏

などのスピーチもあり。ブール夫人と平井先生のハギングのシーンが大きく

映し出され、大変ほほえましく、大いに盛り上がりました。甲南高同期で京大山岳部で活躍した

笹谷哲也の相変わらずの酒豪ぶりに接し、愉快的一夜でした。此のところ

御母堂の御体調のかげんもあり、生活の B A S E を堺に置いている由。

神戸大学山岳会井上会長との懇談の際、ダイフク勤務の二人の K A C 後輩の活躍振りを

聞きおよび、嬉しく存じました。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 11 月 5 日(水)18 時 44 分 6 秒

台高 明神平周辺 周回コース

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 11 月 3 日(月)23 時 51 分 18 秒

妻と東吉野の明神平に一泊して、周辺の山を周回してきました。

1 日 0:30 神戸発、3:00 大又着。集落から林道に入った路肩に駐車し仮眠。

1 日（土）少し戻って笹野神社 7:45 発。ひたすら単調な杉の植林地を登ると大鏡池 9:30。水は枯れていた。この辺りからブナやカエデも混ざり紅葉が和ませてくれる。強い風の中、やせた尾根を辿ると薊岳に出た 10:30。ここからは落ち葉を踏みしめ、開けた草原の明神平へ 12:15 着。三重県側を少し下ると沢の水場が有る。夕食用にムキタケ収穫。

テントを張って、桧塚奥峰に向かう 12:55。明神岳で縦走路と別れ、広い尾根道を行く。ブナなどの広葉樹林で、下草が少なく林間が明るい。紅葉にはちょっと遅く、もうほとんどの木が葉を落としているのが残念。草原状の所を登ると桧塚奥峰に着いた 14:00。東側が切れており展望が良い。桧塚はすぐそこに見えるが、帰りの体力を考えてパス。来た道に戻り、テントに 15:20。早速、一杯吞んで焼肉。5 時半頃には寝てしまう。夜、満天の星を期待したが、曇っていた。

2 日（日）夜半から林を抜ける風の音がすごい。7:05 出発し、国見山 7:50 着。この辺り風の影響か、尾根の左側は雑木林であるが、右の三重県側は立派なブナの原生林である。途中で、尾根道に妻を待たせ、荷物を置いて森の中に下ってみた。林間が広く、とても明るい気持ちの良い森だ。森に吸い寄せられるようにどんどん下ってしまうが、あまり待たせると又怒られるので、ブナシメジをお土産にそこで道へ戻る。尾根上の小さな池を過ぎると、赤ゾレ山で、南側の巻き道を行く。もうひと登りすると伊勢辻山 9:20。この辺りは赤松が生えている。伊勢辻、三度小屋辻と分岐を過ぎて、また杉桧の植林

地を下ると二俣 10:20.。谷沿いのよく踏まれた道をひたすら下ると、大又の集落へ戻った 11:35。

明神平へは、大又林道終点経由だと 1 時間半ほどで入れるそうで、結構沢山の登山者で賑わっていました。それ以外のところはあまり人にも会わず静かな山旅を楽しみました。

明治 38 年に最後のニホンオオカミが、ここ東吉野で捕獲され標本として大英博物館に送られたそうです。東吉野村役場の近くに実物大の銅像がありましたが、意外と小さかったです。その昔、ニホンオオカミが獲物を追いかけて、あのブナ林を闊歩していたのでしょうね。

映画「ノース・フェイス－アイガー－北壁」

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 10 月 31 日(金)23 時 29 分 21 秒

ドイツ映画祭というのが東京・新宿であり、トップバッターの標題の映画を観て来ました。

ハインリッヒ・ハーラーらによる北壁初登攀の 2 年前、1936 年夏に起こったの悲劇をセミ・ノンフィクションとして描写したもので、ハリウッド映画とは一味違った、さすがドイツの山岳映画(久々だが) と思わせるものでした。

トニー・クルツ、ヒンターシュトイサーなど実名で登場します。ヒンターシュトイサーのトラヴァース・ルートとして今も知られている有名な振り子トラヴァースの場面もうそ臭くなく迫力に富み、トニー・クルツの壮絶な宙吊り死の場面なども史実を忠実に再現しているのではないかと感じました。

ドイツで封切られたとこで、まだ日本での一般公開の日程は決まってないようです。本映画祭期間中にはもう一度上映されますので、在京の方はどうぞ。

新宿バルト9（新宿3丁目マルイシティ①9F）

11月2日(日) 19:15

上映時間 2時間10分位

桜並木のこと

投稿者：伊豆の仙人 投稿日：2008年10月27日(月)21時52分36秒

「山嶽寮」ありがとうございました。

楽しく又懐かしく読ませていただきました。関係者の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

読みながら思ったのですが・・・

伊豆高原の桜並木は海から大室山の方に向かい約3キロの坂に展開し、開花時のその景観は

それはそれは見事です！

しかしいつも見事な花を楽しませてくれる桜の木は、何本かの限られた樹々なのです。

そして、個々に見るとそれらの桜の樹もそこそこ老木なのです。

そんな老木が主の桜並木ではいつの日か???と、心配する今日この頃です。

そんなことで

桜並木に新しい若い樹を植える活動に参加しております。

カニ キノコ

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年10月27日(月)18時18分34秒

参加させて貰う予定でした。スケジュールを調べたら、当日、昔の同僚関係のライブの日でした。

残念ながら行けません。皆さん、大いに楽しんでください。

秋

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 10 月 26 日(日)10 時 01 分 44 秒

皆さんお元気でお過ごしですか？

谷君！遅くなりましたが、山行が無事終了し何よりです。それにしても屏風岩をはじめ“凄い所”を登っていますね。感心しました。これからも事故にはくれぐれも注意してガンガン登って下さい。報告を楽しみにしています。

『山岳寮』拝見しました。いつもながら編集長の大森さんには頭が下がります。ありがとうございます。それにしても皆さん活発ですね。海外・国内と世界をまたにかけていらっしゃいます。良い刺激になります。その中でも大勝君の写真は驚きでした。ダイエット成功の典型例ですね。これからは維持ですね。頑張ってくださいね！私も意識しますよ。

「カニキノ」楽しそうですね。行きたかったのですが、この日は静岡に出張です。なかなか思い通りにはいきません。キノコ狩りは楽しいです。皆さんにもお勧めです。

今週末は三連休ですね。皆さんはどちらにお出掛けですか？私は冬山の偵察も兼ねて西穂に行こうかと考えています。まあ天気次第ですが。

久しぶりの横池

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 10 月 26 日(日)00 時 53 分 14 秒

本日午前中、久しぶりにロックガーデン上の横池に行ってきました。

絶滅危惧種のカワバタモロコが居るとの情報で、須磨水族園の方などと調査をしました。

高校生の頃よく訪れた場所ですが、今回行ってみると全くイメージが変わっていました。

池の真ん中にはスイレンが茂り、水辺にはヒメダカを含むメダカの大群が泳いでいます。モンドリを入れると、カワバタモロコとタモロコが入りました。また、雌池にはジュンサイが生えています。金魚を見たという人も居ました。

どうやら、誰かが放流したり植えたもののようです。ブラックバスほどではないにしろ、無秩序な放流は本来の自然の姿を壊します。

静かだった横池も、もう公園の池のようになってしまったんですね。

帰りに、住吉川の五助ダムに寄ったのですが、こちらも大きく変わっていました。よくキャンプや焚き火をした広い砂地は柳などのブッシュに完全に覆われ、神秘的なダム湖は土砂で埋まっていました。

思わぬところで、時の流れを感じて寂しい想いがした 1 日でした。

講演と山のスライドのタベ

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 10 月 25 日(土)08 時 55 分 13 秒

兵庫県山岳連盟からの御案内

「講演と山のスライドのタベ」

日時:11 月 13 日 18:30～

会場:神戸王子動物園ホール

お話:「六甲山の植生と植物」

神戸大学発達科学部大学院 武田義明教授

会費:500 円

御入用の方はお知らせください。前売り券を送付します。(5 枚預かっています)

期限:11 月 7 日

Re: 訃報・柏秀樹さん

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 10 月 23 日(木)21 時 19 分 6 秒

> [No.585\[元記事へ\]](#)

訃報に接し絶句いたしました。先月の初め、絵画作品のコピーを頂いた御礼を電話で申し上げた折には、ややお声がか細く感じられたのですが、こんなに早く亡くなられることなど思いも寄らぬことでした。作品のひとつ「前穂北尾根」を我が家の食堂に飾りましたので、それを写真に撮って見て頂こうと思いながら果たせずじまいとなっていました。

思えば3年前の10月に元町の宝文館を訪ね、夕食に美味ヒレカツをご馳走になりながらの昔話が最後となっていました。お互い若く元気な頃には、六甲の柏邸にしばしばお邪魔して、遅くまで談笑、時にはマージャンに興じたりと、奥様には大変なご迷惑をおかけしつつも楽しく過ごさせていただいたことなどを思い出しております。

晩年のご無沙汰が悔やまれ慙愧に耐えません。ただただご冥福をお祈りする次第です。

訃報

投稿者：武田 雄三 投稿日：2008 年 10 月 23 日(木)10 時 27 分 27 秒

柏 秀樹さん（昭和 32 年経卒）

予て療養中の所、10 月 22 日 15 時 27 分心不全の為逝去されました。茲に謹んでご報告申し上げますと共に、ご冥福をお祈り申し上げます。

通 夜・・・23 日 18 時～

告別式・・・24 日 13 時～

場 所・・・本願寺神戸別院 神戸市中央区下山手通り8丁目1－1 TEL078－341－5949

喪 主・・・柏 直樹氏

なお、香典はご辞退との事です。

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 10 月 23 日(木)10 時 08 分 51 秒

井上君から秋の集会の写真が届きました。

アルバムにUPしました。

カニキノ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 10 月 22 日(水)21 時 42 分 17 秒

今年のカニキノの会は、11 月 8 日 9 日に行いたいと思います。

ただし、私は 8 日出勤しなければなりませんので、夕方神戸発・夜浜坂着となります。

つきましては、8 日朝のキノ狩り集合から買出し調理を浪川さんに仕切っていただきたいと思います。すみませんがよろしくお願いいたします。

参加希望の方は掲示板でお知らせください。

山遭 B

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2008 年 10 月 21 日(火)10 時 46 分 59 秒

今日から 26 日までまた文登研です。

今度は山岳遭難救助研修 B へ参加します。

越田さん

奥又白池のテント場はまさに別天地でした。小屋の発電機音も聞こえない落ち着いた静かな湖畔で眺めは最高。イチゴが食べ放題（本当に美味しかった。）

ただ池で大量発生したと思われる虫が多いので虫よけスプレー必携でしたが。

映画とドキュメント

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2008年10月20日(月)11時28分34秒

10月20日 NHK 10:00 ～ 白夜の大岩壁

10月20日 NHK・BS 9:00～ ココシリ

2003年チベットの秘境 可可西里「ココシリ」に米山君と2人で行ったとき、青藏高原鉄道はまだ試運転中でした。崑崙山脈の南に広がるココシリの大平原はとても人間が住める場所ではありません。映画の内容は以下で。

<http://www.sonypictures.jp/movies/mountainpatrol/site/intro.html>

NHK「白夜の大岩壁」の再放送があります。メディアに登場する最後の昔の山野井の顔？です。

登ってる人より撮影する人のほうが、しんどかったと思います。

奥又白の思い出

投稿者：越田和男 投稿日：2008年10月18日(土)11時15分59秒

谷君の奥又白池の写真を懐かしく拝見。現役の頃、昭和30年代前半、3年生の10月と4年の9月にそれぞれ数日間幕営しました。今の人たちから見れば大した岩登りをした訳ではありませんが、池の畔の我々だけの静かな別天地で過ごした数日の思い出は鮮やかです。

3年の10月の同行者は田中（ホシ）と小松（コンマツ）。大雪のあとだったので、A沢から東壁へのV字状雪渓のトラバースが雪崩れそうで怖かったです（東大が滝谷で雪崩遭難したのと同じ日）。雨宮先輩の適切な忠告「前穂からA沢への降り口で間違わんように、先に偵察してパンツでもぶら下げとけ」を思い出しています。実際、ガスにまかれての下りで、なるほどと思いました。

4年の9月の同行は森本（カンロク）と鶴木。連日の好天気で、当時憧れの4峰甲南ルートなどを楽しみました。例のオーバーハングの乗越しでは残置ハーケンにアブミをかけましたが、昭和の初期に近藤、山口両先輩はアブミも使わずハダシになってこれを乗越したそうで、当時の高校生の実力に改めて敬意を表したものです。9月の始めなのに、テントの外に出していた食器の水が凍ってしまったのも印象的でした。

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2008年10月17日(金)04時57分45秒

谷君から穂高の写真が届きました。

アルバムにUPしました。

文登研（登はん）

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2008年10月16日(木)02時34分26秒

先日参加してきた文部科学省登山研修（通称、文登研）の報告です。

平成20年度登山指導者研修会Ⅱ（登攀）～文科省研修所及び劔岳周辺にて～

日程

9月19日 開会式・入山準備・講義
9月20日 立山駅＝室堂―劔御前小屋―劔沢夏山前進基地 BC
9月21日 雨天為中止。前進基地内でロープワーク
9月22日 雨天の為、源次郎尾根中退
9月23日 BC―劔御前小屋―雷鳥沢・搬送訓練―室堂―立山―帰阪

9月18日 離阪

新大阪からサンダーバードで富山駅へ行き、そこから富山地鉄で終点立山駅まで。およそ一年ぶりの登山研修所に到着。やはりサンダーバードを使うと早い。大阪からおよそ3時間ほどで到着。

9月19日 開会式―講義「リーダーと登山の安全」―入山準備（食料発注）―昼食―装備点検及び人口壁にてロープワークの確認―夕食―入山中の計画作成―就寝

昨年まで本研修会は社会人対象としていたが、今年から学生でも参加できるようになったので参加した。目的は一流の講師に最新の登攀技術を学ぶことと、他の参加者（社会人や他大学学生）との交流だ。班は1班。メンバーは富山大学 WV 部と社会人2名。ちなみに社会人のお二人は秋にアマダブラムへ行かれるらしい。羨ましい。

9月20日 入山 晴れのち曇り

5:00 研修所にて朝食―6:40 玄関集合―7:00 ケーブル立山駅―8:20 室堂―11:30 劔沢夏山前進基地―12:00 テント設営―13:00 前進基地にてロープワーク 14:50―15:00 講義「登山の医学」50―16:00 天気図作成 50―班別協議（翌日の詳細な計画決定）―夕食 19:00―班別協議―20:00 就寝

連休とだけあって室堂には観光客がたくさん来ていた。予報によると台風接近に伴い雨の予報となっていただけに気分はげんなり。

9月21日 雨

予報通り早朝から雨。テントに打ち付けるポツポツと言う音がますますモチベーションを下げる。一応は予定通り4:00に起きたが、雨のため6:00まで二度寝。天候回復の兆しがないので前進基地でロープワークを行った。予報によるとだんだん天候回復すつとの予報。天気図を書くが、大気の状態が不安定で予報は難しい。予定ではBC―源次郎尾根下部岩壁「中央ルンゼ」―上部岩壁「名古屋大ルート」―三ノ窓ビバークのはずが。

9月22日 曇り→小雨→晴れ

4:00 起床 5:15―源次郎尾根末端 6:00―6:15 源次郎尾根登高一7:30 源次郎尾根下降―8:40 源次郎尾根取り付け―9:40 劔沢 BC 到着―10:15 別山の岩場（前進基地裏の岩場）に向かう―11:00 別山の岩場にて登攀訓練 17:50―帰幕・食事―就寝 21:00

3:00に目が覚めた。テントに打ち付ける雨音のせいだ。今日は駄目な予感がしつつ再び眠る。4:00に起きると雨は止んでいたようだ。天候回復する予報を信じて源次郎尾根下部～上部岩壁へ向かうことにした。他の班も続々と出発した。劔沢の雪渓は例年に比べて若干多く残っている。アイゼンを付けて、雪渓を

踏みぬかないように気を付けて下り、源次郎尾根取り付きに到着。岩の陰にアイゼンとピッケルをデポして登高開始。岩は相変わらず濡れている。1時間ほど登たところで、小雨が降り出してきた。ルートがルンゼであることや前日の染み出しなどを考慮して、これではいくらなんでもクライミングは無理と判断し下降してBCへ。その後、天候が回復の兆しを見せたので別山の岩場で登攀訓練（主にナチュラルプロテクションや登攀スピード）を行った。

お目当てのルートは登れなかったものの、当初予定していたルートに登るよりも、研修という意味ではより充実したものとなった。

予定では三ノ窓―チンネ「ベルニナルート〜クラックダイレクト」―本峰経由で帰幕だったが。

9月23日 晴れ→曇り

4:30 起床―BC6:10―7:00 劔御前小屋―8:00 雷鳥沢にて背負い搬送訓練―10:00 室堂―立山―班別・全体協議、装備返却、入浴―帰阪

すこぶる天気が良い。天候が一日ずれていればと思ってもこればかりは仕方がない。ゆっくりと準備を済ませ、出発。連休最終日とだけあって劔沢には25張程テントが立っている。雷鳥沢では背負い搬送の訓練を行った。今回のメンバーはある程度登れるメンバーなので、各自知っている背負い搬送方法を出し合い細かなところまで検証した。およそ15種類位出てきた。やはり股の間を通して背負うやり方は女性とはともかく男性は痛い。担ぐ方がらく且つ要救も楽な担ぎ方はどれか？またその時持ち合わせている装備次第でどの背負い方がベストかなどを検証した。結果は写真で紹介。

総括

今回の研修は雨天のため予定していたルートに登れず、消化不良に終わってしまった。しかしながら、計画の立案、登攀具の選択・軽量化、登攀スピード、天候判断に至るまで内容の濃い研修会であった。加えて、メンバーとも仲良くなり、またタイミングが合えば一緒に山に行こうとなった。よって、当初目的としていた最新登山技術を学び、他大学との交流をすることができ大変実りある研修会を終えることができたと思う。（記、谷）

山岳映画の御案内

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2008年10月16日(木)02時29分40秒

表題の通り、山岳映画のご案内を致します。と、言いましてもまだ私も見ていないので何とも言い難いのですが。

もちろん私も見に行きます！

機会が御座いましたら是非ご覧になってみてはいかがでしょうか。

= 簡単な紹介 =

・アルプス「挑戦の山」

壮大なアイガーを舞台に繰り上げられる真実の物語

→http://www.sci-museum.jp/server_sci/program/omn_screen.html#1

2007年製作

上映時間：40分

上映期間：2008年6月1日～11月30日

平日13:00～／土・日・祝日11:00～

観覧料：大人600円／高校・大学生450円／中学生300円

上映場所：大阪市立科学館

→http://www.sci-museum.jp/server_sci/info/access.html

公演スケジュールはこちら

→http://www.sci-museum.jp/server_sci/info/list.html

大阪市立科学館 <http://www.sci-museum.jp/index.html>

・バンフ・マウンテン・フィルムフェスティバル in japan 2008

大阪では 11 月 8 日、松下 IMP ホールにて。

内容エキストリームスキー、自転車、カメラ、ロッククライミング、アイスクライミング etc で、とても刺激的でアグレッシブな山岳映画（ドキュメンタリー）です。

プログラム A と B、2 部構成となっており、各回 5 本ずつ、それぞれの映画のオイシイところと上映します。

詳細はこちらをご覧ください。 <http://www.banff.jp/index.html>

> 廣瀬さん

特に今回はパートナーに恵まれました。中島さんでなければ、これだけたくさん連続登攀出来なかったことでしょう。本当に中島さんには感謝です。

掲示板を見て登っている気に

投稿者： 廣瀬健三 投稿日：2008 年 10 月 15 日(水)20 時 16 分 6 秒

谷君／m r 中島の連続登攀、凄い！！関西の学生クライマーのトップクラスと言われる二人だけの事はあるナア（m r 中島は現役でないでしょうが）、――当方現役時代
斯様なレベルの高い事やってませんので、――登っている気に――なんて
えらそうな事言えませんが。乞御容赦。

山本夫妻の登山も、これまたたいしたものですね。先の西穂―奥穂縦走をこなされているのにも
感心しましたが。

追記

投稿者： 谷 勇輝 投稿日：2008 年 10 月 15 日(水)01 時 52 分 35 秒

すみません。画像が抜けておりました。



'08 夏・穂高報告書

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2008 年 10 月 15 日(水)01 時 50 分 4 秒

大変ながらくお待たせ致しました。穂高の報告です。

では

夏山個人山行―穂高にて―

日程

2008 年 9 月 1 日(月) 入山日 離阪＝上高地―横尾 C1

2 日(火) 屏風岩東壁雲稜ルート

3 日(水) 屏風岩東壁フリークライミング

4 日(木) 北鎌尾根中退、休養日

5 日(金) 北鎌尾根

6 日(土) 屏風岩東壁デルティッシマ中退、奥又白 C2 へ移動

7 日(日) 前穂東壁 D フェース都立大ルート

8 日(月) 四峰正面壁北条＝新村ルート、涸沢 C3 へ移動

9 日(火) 滝谷クラック尾根、ドーム中央稜

10 日(水) 滝谷ドーム西壁ニューウェーブ、上高地下山

参加メンバー 中島健郎（23）関学山岳部 OB・谷勇輝（23）甲南山岳部 4 回生

行動内容

9月1日(月) 曇のち雨 入山日

8:00 梅田阪急バス(¥5710)=13:30 松本(¥2400)=16:30 上高地—19:30 横尾 C1

雨の中の入山。気分は最悪。これから天気が一な日が続くと予報されているので、さらにゲンナリ。とりあえず、入山ビールで乾杯だ。

9月2日(火) 曇のち雨 屏風岩東壁雲稜ルート

5:00 起床—6:00C1 発—7:12T4 尾根取付き:35—8:35T4—12:15 終了点—13:45 屏風の頭—15:00 涸沢—16:55C1

空はスッキリしないが、雨は降っていない。予定通り屏風岩東壁へ。横尾岩小屋跡から対岸へ渡るも、昨日の雨で水量は増している感じ。無理せず靴を脱いで、膝までの渡渉。1ルンゼを詰めるとT4取付きだ。この時期は、T4取付き近くの1ルンゼに少し雪渓が残っているも、アイゼンやピッケルは不要で、雪渓は簡単に巻ける。

T4尾根は2Pの登攀後、100m程コンテ(歩き)、1Pのチムニー登攀でT4に到着。いよいよ雲稜である。ガスっているが、天候はもちそうなのでそのままスタート。基本的にはつるべ登攀で、トップは空荷。1、2P目は順調にこなし、いよいよ核心の3P目。ここはフリーで越えると5.11+ほどなので、とりあえずフリーで挑戦するも、細かいカチの連続で、荷物も担いでいるためあえなくA0で前半をこなすも、後半も5.10ほどのムーブを強いられる。4P目の出だしは脆いがフリーで越えられる。5P目からは東壁ルンゼに入るが、昨日の雨ですごく湿っぽく、しみ出している箇所もありスラブの立ちこみが嫌な感じ。T4から3時間40分で終了点に着くと雨が降りだしてきた。なんともギリギリセーフ。本日は概念把握の為に、屏風の頭からパノラマコース、涸沢経由で帰ることにした。屏風の頭まではトレースがあるものの、茂みが多く、それほど雨は降っていないにも関わらず全身ズブズブ。あーしんどかった。

9月3日(水) 曇のち雨 屏風岩東壁フリークライミング

3:00 起床—5:00 再起—6:20C1 発—7:30T4 尾根取付き:57—8:45T4—13:30 雲稜ルートの合流点—14:35T4 取付き—15:35BC

本日は1996年に草野俊達さんが単独オールフリー、オールナチプロで初登された、比較的新しいルート。その名も“フリークライミング(9P、5.10+)”。東壁ルンゼに沿って岩の弱点をつなげたラインで、なんとも素晴らしい。こんな良いルートは行っておかなければということで、いざ挑戦。

朝起きるとガスって天気は悪かったが、日が明けるとまだましになっていたので、とりあえず出発。T4までは前日と同じで、T4から岩壁基部を右側トラバースして、T3からスタート。私からのリードで始めたが、ハングの巻きが越えられず交代。A0で越えていた(5.10)。1P目にして、このルートの完登(オールフリー、オールナチプロ)を逃す。そのまま2P目につなげる。終了点手前のフェイスのプロテクションない。3mほどだが、5.10+のムーブなのでひやひやしながら越える。ここをリードした中島さんさすが強い。3P目も続けてフォロー。このところ、人が登った気配が全くなく、苔を掃除しなどの登攀。クラックからもしみだしがあり、完全にフリーでは越えられない。東壁ルンゼルートの残置ボルトも使用し、ツルツル滑りながら強引にハングを回り込み、草木が生えたクラックを登り切る(5.10+)。4P目もフォロー。フェイスであるのでプロテクションが少なく、ラインも判然としない。少し早くピッチを切って、4P目残りを私と交代。5P目もまだ5.10代となっていたが、チムニーからフレークで今までのピッチと比べると、格段に登りやすい。6P目は簡単な草つきバンドをトラバースで雲稜ルートのラインと合流。するとここで雨が本格的に降り始める。この上は昨日いったので、すぐさま下降に入る。右直登ルートあたりを4Pの懸垂下降でテラスに降り立った。すでに全身ずぶ濡れ。T4の取りつき右にある岩小屋でしばしの雨宿り。1ルンゼはゴウゴウと滝のように水が流れている。途中まで沢下り気分。川の水は少し増水していたように感じたが問題なく徒渉できた。

それにしても、完敗である。全くもって登った気になれず。オールフリー・オールナチプロで再挑戦したい。

9月4日(木) 曇のち雨のち晴 北鎌尾根中退、休養日

2:00 起床—3:00C1 発—4:05 槍沢ロッヂ—4:30 ババ平—4:50 大曲—5:20 引き返す—7:48C1
途中で雨が降ってきたので本日は引き返したが、テントサイトに着くと晴れてきた。なんてこと…。しかし、青天の中、濡れものを乾かししっかりと休養できた。

9月5日(金) 曇時々晴 北鎌尾根

1:00 起床—1:45C1 発—3:50 大曲—4:50 水俣乗越—6:35 北鎌沢出合—8:15 北鎌のコー—
10:02 独標—12:10 槍ヶ岳山頂:40—16:00C1
疲れた。ただそれだけ。

備考

- ・末端からは取付かず、北鎌沢右又から上がった。
- ・「途中水が取れないのでは」と思い、沢で流れているところがあればゴクゴクのんで補給していったが、夜の降雨の影響もあり、北鎌沢右又の上部の方まで水は出ている。天気も曇だったので、それ以降の行動は500mlで十分足りた。
- ・登攀具はヘルメットのみ。(ライト&ファスト。荷物を最小限にして登った。)

9月6日(土) 曇時々晴 屏風岩東壁デイレティッシマ中退、奥又白 C2 へ移動

4:00 起床—4:50C1 発—6:15 取付き:35—9:20T4—10:55BC11:55—13:35 中畠新道分岐—16:00 奥又白池 C2

昨日の疲れと、私の靴擦れ、アブミ架け替え作業の萎え等も合い間って、東壁デイレティッシマは中退。アブミ練習不足もあるが、どうもアブミルートは好かない。ルートのビレイ点が埋まっていたり、リングが飛んでいて穴に細引きを通したりで、このシーズンに登られた形跡はなかった。それにしても、この期間中東壁に登っているのは雲稜に1パーティ登っているのを見ただけで、他はいなかった。寂しいものだ。

予定通りというか何というか、計画通り中畠新道経由で奥又白へ移動。

9月7日(日) 曇のち雨 前穂東壁 D フェース都立大ルート

4:00 起床—4:52C2 発—7:35 取付き 8:05—11:25 終了点—12:05 前穂頂上—14:37C2

二人とも初めてなので取付きまで行くのに苦労する。池より奥又尾根を少し登り、右に派生しているトレースをたどって奥又白谷をトラバース。雪渓が若干残っていたので念のため持ってきた4本爪アイゼンが役立つ。C沢を何故か通り過ぎ、変な沢を詰めると4峰正面壁の甲南バンドへの登り道に出ている。C沢へ戻り、インゼルを登ってB沢に行こうとするも変なところ登ったりして、時間を食ってしまった。ガスの影響もあり取付きも間違え、どうやら都立大ルートのオリジナルラインを登ってしまっていたようだ。1P目のフェースを適当に2Pに分けてしまい、3P目で本来の2P目に合流。きわどいかぶりが続くが、フリーで越えられるので楽しい。3P目もハングを快適なフリーで越え終了。今までの屏風に比べると、すごく短く感じるが、密度は高い。ただ、ガスって寒かったので余りスッキリしないイメージしかない。

終了点より北尾根へ上がり、前穂頂上を越えてA沢を下降するが、途中から雪渓が残っていた。しかし4本爪では全く歯が立たず結局懸垂を2回交え下降したが、雨もザーザー降ってきたし、雷も…非常に嫌な下降であった。

9月8日(月) 曇のち晴 四峰正面壁北条＝新村ルート、涸沢 C3 へ移動

3:30 起床—5:05C2 発—5:52 デポ地—7:00T1:35—10:38 終了点—11:50 五・六のコー—
12:25 デポ地—13:25 五・六のコー—14:30 涸沢 C3

本日から好天に向かうようなので、気分もようやくノッて来た。登攀後は涸沢へ移動なので、全装をパッキングして途中でデポし 4 峰正面壁へ取付いた。昨日間違ったおかげでだいぶ概念も掴め、すんなり取付きの T1 へ。前半の 100m 程は適当なラインで登るが、何故かがスったりポツポツ雨が降ってきたりで、滑りに注意が必要だった。ハイマツテラスより快適なフリーピッチが 2P 続き、最後の易しいフェースを越えると終了。岩は安定しており、後半は天気も良くなったのもあり、非常に楽しかった。

終了点からは北尾根にでて 5.6 のコーまで下降し、途中のデポを回収し、涸沢へと入った。

9 月 9 日(火) 晴 滝谷クラック尾根、ドーム中央稜

3:00 起床—3:50C3 発—5:40 北穂頂上—6:05B 沢のコー—6:50 クラック尾根取付き 7:10—
9:38 終了点(北穂小屋)—11:07 ドーム中央稜取付き:20—12:40 終了点(ドームの頭)—13:50 ニューウェーブ取付き—16:10C3

本日は 2 本の継続なので、早めに出発。北穂を越えて B 沢を下り、赤茶けたバンドから尾根を回り込む。なお現在はバンドが崩壊し、登り返して懸垂 30m して取付くのだが、ペンキでクラック尾根とかかれ、足場がボルトで作られロープが垂れているのですぐわかる。でもこれはやりすぎだな。天気は最高。されど滝谷。滝谷から吹き上げる風は非常に冷たく、日があたらないうちは、ぶるぶる震えながらのビレーであった。所々崩壊している箇所もあり、浮石には注意が必要だ。

続いて、ドーム中央稜へ。ドームの頭の先のコーからトレースを辿り、T1 より懸垂 1 回で T2 へ。バンドを左上すると取付きだ。このルートは滝谷のなかでも岩が安定しており、すっきりと快適な登攀ができた。終了点につくとまだ昼過ぎであったので、ドーム西壁の偵察をして帰った。

9 月 10 日(水) 晴 滝谷ドーム西壁ニューウェーブ、上高地下山

3:30 起床—4:30C3 発—6:35 ニューウェーブ取付き—8:25 終了点(ドームの頭)—10:30C3 11:50—13:15 横尾—16:40 上高地

いよいよ最終日。1989 年に拓かれたマルチスポーツルート“ニューウェーブ (4P、5.10a) ”。こんなルートが滝谷にホントにあるのかと半信半疑でアプローチするも、ちゃんとあります、光るボルトたち。すぐ右が西壁雲稜ルートだが、完全に崩壊している。取付きのハンガーボルトも一つ崩壊していて、いずれスタートがなくなりそうな気配。気を取り直してスタート。登りだすと、不思議なほど岩は安定して快適。ボルトに導かれて登るだけ。1P はフェースからハング越え。2P 目は歩き 20m 程。3P 目はフェイスからコーナーを辿り右の小ハングしたまで。4P 目はフェースを右上し、最後は左上してドームの頭へ。高度感が素晴らしい。それにしても、快適の一言。3000m での登攀とは思えないほど、安心・快適。

後はのんびり上高地へ下るのみ。のんびりしすぎたか、結局松本でもう一泊。公園でテントを張って、ぐだぐだ呑んでもう一晩二人仲良く就寝。

(記、谷・中島)

写真：屏風岩東壁/ディレティシマ 2P 目

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 10 月 14 日(火)07 時 07 分 39 秒

山本恵昭君の塩見岳の写真をアルバムにUPしました。

塩見岳

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008年10月14日(火)00時51分29秒

妻と南アルプス塩見岳に行ってきました。

11日(土) 鳥倉林道駐車場を7:50発、林道をたどり登山口へ8:30。この辺りから雨が降り出す。唐松の植林地を登り、苔むした針葉樹林をひたすら登る。三伏峠の幕営地には近くに水場がないそうなので、10:20 途中の水場で2泊分6リットルの水を汲んで担ぎ上げる。塩川小屋からの道と合流し、しばらく登ると三伏峠小屋に着いた11:30。なんと、営業終了しているはずの小屋が開いていて、水が自由に使えた。テントを張って、コーヒータム&お昼寝。13:40 雨もやんで視界も出てきたので、烏帽子岳へ向かう。烏帽子岳14:20着。谷の木々が紅葉黄葉し、美しい。谷の向こうに堂々とした塩見岳、遠くに仙丈ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、富士山が大きい。15:20 テント着、早めの夕食を摂って暗くなるころには寝ていた。

12日(日) 5:30 出発。気温マイナス5℃、快晴。8cmほどの霜柱をざくざくと踏みつけて進む。登ったり降りたりを繰り返して、塩見小屋8:00。岩場を越えて、塩見岳山頂9:00。南アルプスのど真ん中、周囲の一つ一つの山が大きい。9:30 発、塩見小屋10:30 着。再び上り下りの繰り返して三伏峠のテントへ13:00。もう一泊の用意はあるが、幕営代節約と高速深夜割引のため、今日下山することにする。14:00 発、登山口16:00、駐車場16:30。何とか明るいうちに下山できた。

南アルプスは、子供たちが幼かった頃、家族全員で北岳に登って以来、2回目。その時は、子供の安全に気を遣い、景色を楽しむ余裕など無かった。今回ゆっくり味わうと、谷深く、緑豊かで、山頂部は個性的。なかなか魅力的なところですよ。体力のある若い頃に、もっと来ていれば良かった。



超高層ビル

投稿者：福田信三 投稿日：2008年10月10日(金)22時42分59秒

3日前よりシカゴ入り、自然派から都会派へ転向
つい数年前まで世界一だったシアーズタワー、
今は3位へ、今世界一の台北101もドバイの643mに

抜かれる予定。目まぐるしい世界一争い。
もっと大切なことがあろうかと、思いながらの写真です。



塩見岳へ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008年10月9日(木)23時59分51秒

連休に仕事が入りそうでしたので、迷っている間に木曽集会の欠席連絡が遅くなってしまいました。井上さんには、ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

結局、寸前になってフリーになりそうなのですが、集会は失礼させていただいて、妻と南アの塩見岳に行こうかと相談しています。

明日、連休のフリーが確定したら、急遽準備をして深夜発、鳥倉林道経由で三伏峠に向かうつもりです。

駒王+鈴蘭

投稿者：越田和男 投稿日：2008年10月8日(水)21時50分57秒

駒王集会の翌日、久しぶりに乗鞍の鈴蘭小屋に一泊してみようかと思っています。

現在参加予定者4名です。参加ご希望あれば本掲示板または雨さんまたは越田までご連絡下さい。

アスピンの紅葉

投稿者：福田信三 投稿日：2008年10月6日(月)15時08分25秒

針葉樹の深緑とアスペンの黄色の対象が美しいです。



ロッキー

投稿者：福田信三 投稿日：2008年10月6日(月)15時07分12秒

ロッキーはもう雪の始まりで、4000m 越えの道路は遮断。

アスペンの紅葉は最後の輝きを見せていました。

明日はデンバーからアムトラでシカゴへ向かいます。



四国の旅

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年10月6日(月)07時12分6秒

お遍路巡り完結、めでたし！！高野山行き計画、乞御一報。ウノキ兄、一安心、されど前途多難か。去る10月4日、阪急中山駅から武田尾に下る。秋の気配漂うも、蒸し暑し。猪が掘り起こしたと思われる跡多し。熊に出くわしたら と 一瞬緊張。彼の山野井やすしは熊に鼻をかじり取られたとか、事の真偽は尚不明。

MT ラッシュモア

投稿者：福田信三 投稿日：2008年10月5日(日)13時49分44秒

4 人の大統領の石像のラシュモア。ワシントン、ジェファーソン、ルーズベルト、リンカーン。予算不足で中止中。リンカーンの襟元が未完成。

この山は登るためではなくただ見るだけ今日も結局 480 マイル走行、ロッキーの玄関エステスパーク着。高速代不要は大歓迎。



Re: デビルスタワー 2

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 10 月 4 日(土)14 時 20 分 55 秒

> [No.562\[元記事へ\]](#)

福田信三さんへのお返事です。

- > 登攀中の人影、
- > 見えますでしょうか？
- > 馬鹿チョン最大の苦新作です。

中央 やや下の点です

2 人はテラス、一人が登攀中



デビルタワー

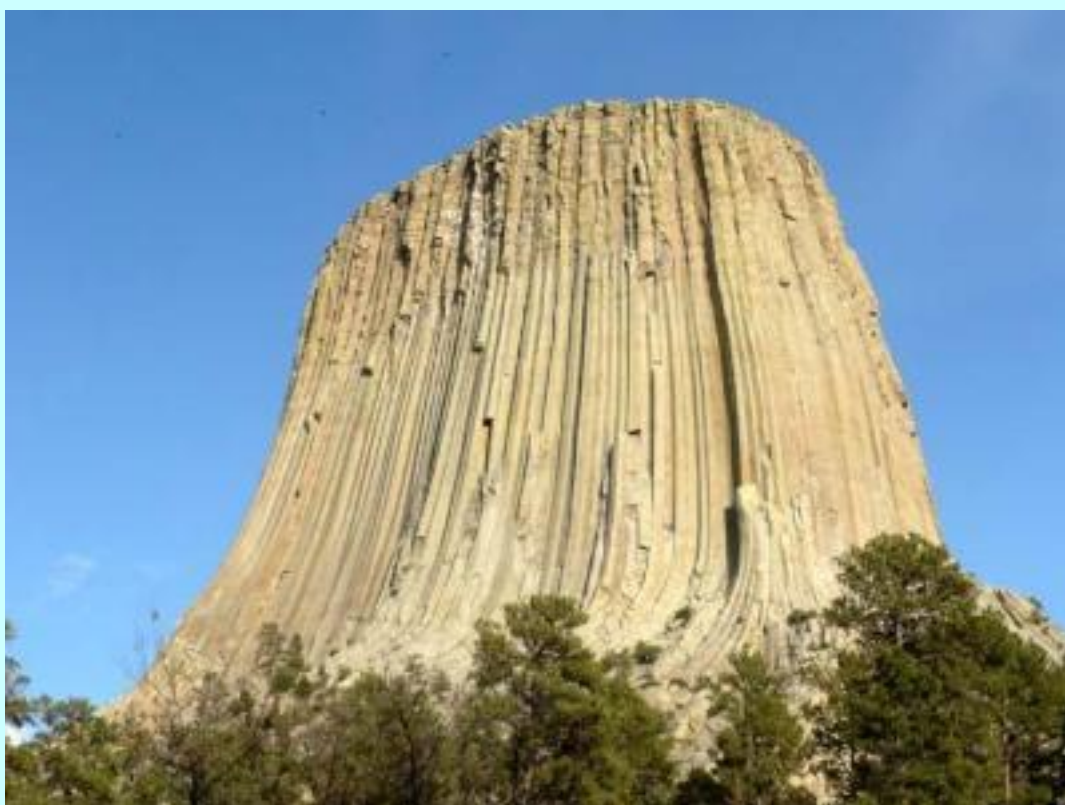
投稿者：福田信三 投稿日：2008年10月4日(土)14時17分21秒

イエローストンから650km 走りデビルタワーへ。

平野の中に264mの岩峰がそそり立っています。

年に400人のクライマー、最短は18分、通常は4, 5時間とのことです。

丁度4人組みが登攀中でした。



イエローストン

投稿者：福田信三 投稿日：2008年10月4日(土)14時11分32秒

イエローストンからデビルタワーへ

硫黄の匂いを嗅ぎながらの間欠泉めぐりです。

地球の不思議を感じます。

越田さんのおっしゃるとおり、グランドテトンはいいいですね。

2回目です。景色も抜群ですが、ホテルやキャビンのサービスが徹底しています。是非、もう一度訪れてください。



遍路結願

投稿者：kannroku 投稿日：2008年10月3日(金)14時39分17秒

四国 88ヶ所歩き遍路結願

9月27日から10月2日迄四国遍路の締めくくりに行ってきました。

9/27 土曜晴れ 京都から高速バスで JR 高松に。この5月最終打ち切った JR 国分駅に。

これより(13:00)出発。5月打ち止めた 80 番国分寺通り過ぎ 81 番白峯寺・82 番根香寺

9/28 日曜曇り 83 番一宮寺・84 番屋島寺・85 番八栗寺

9/29 月曜時々雨 86 番志度寺・87 長尾寺・88 番大窪寺 遍路結願

9/30 火曜雨～10/1 水曜雨昼から晴れ 1 番霊仙寺 遍路打ち始め寺に報告お礼参り

これにて四国遍路終わり。あとは和歌山高野山にお参りですべて遍路儀式終了と。

四国 1,200 km 歩くのは一種の行のような気がする。年間 30 万人程遍路に訪れその 1% 3 千人程が歩き遍路らしい。私は徳島・高知 20 日、愛媛 10 日、愛媛一部・香川 11 日と、3 年の区切りで 41 日かかっている。断然 60 歳以上の人が多いが、若い人、女のかたの一人遍路もいるにはおどろいた。また 2 回、3 回と歩いている人も多いようだ。世界遺産にと動き出していると聞いているが、車の入れる山道に不法投棄のゴミが沢山見られ、これではだめだと思った。でも遍路保存協会や地元の方の遍路道の整備は大変だと思う。

帰り岡山の特老に鶴木君を見舞う。何で特老におらないといけいないのかと思うほど元気そのもので、話好きなのは昔のままで安心する。少し刺激がないとだめなように思う。平井さんの世界王室物語を読んでいた。何時ものごとく 2 時間ほど話をして またなあと。

アメリカ 西部の旅

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 10 月 2 日(木)07 時 13 分 9 秒

掲題の連続投稿、興味尽きず。彼の「シェーン」の岩峰で、岩登りやってる由、

納得です。""アンテロープの写真""何故 れい羊 が掲題になるのカナ？アンテロープと言えば
アメリカ民謡

「峠の我が家」のなかで、バッファロー ローム、アンテロープ プレイなる

歌詞がでてきますが、当該溪谷の写真と結びつきません、福田兄、乞御解説。

グランド・ティートン

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 10 月 1 日(水)00 時 03 分 36 秒

福田君のアメリカ西部紀行楽しんです。小生にとって懐かしいところもあり、特にグランド・ティートンの山並みは一番好きな景観です。

廣瀬の言うとおり、ここは映画「シェーン」の背景としても印象的ですが、古くからアメリカのクライマーのメッカで、小生の在籍した西海岸のオレゴン大学山岳部の連中もここまでよく出かけているようでした。

寸暇を利用して、ここを訪ねたのは丁度 40 年前のことでした。山も素晴らしかったけれど、貧乏旅行だったので、ティートンを仰ぎ見る絶好のポイントにしつらえた野外テーブルでとった朝食が、ジュースとパンとベーコン・エッグとコーヒーで 12 ドル（当時 4300 円）もしてびっくりしたこと、夕方の湖畔で蚊柱をはじめて経験したこと、安宿を求めて国立公園外に出て散々走り回ったことなどを楽しく思い出しています。

どうか運転にはくれぐれも気をつけて、アメリカ西部の大自然を満喫して下さい。
小生も大関シェフと連れ立って、その内に再訪したいと話合っています。

グランドテトン山

投稿者：福田信三 投稿日：2008年9月30日(火)22時37分15秒

グランドテトン国立公園のグランドテトン山 4,197m、1900m 隆起した山で、今尚隆起中とか



バイクで登山：扇の山周辺

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008年9月29日(月)22時08分52秒

土曜日、午後から急に空いたのでバイク登山に。寒かったです。戸倉峠の気温 13℃。

目指すはまたまた扇の山、今回は南面から。広留野の大根畑ヘタ方着。

崩れかけの遊歩道を下って大鹿滝へ。水流は22mほどの空間を一直線に落下し、丸い滝つぼの真ん中に。滝裏も一周できて、なかなか見栄えのする滝でした。

秋の夕暮れつるべ落とし、大急ぎで滝つぼの横のわずかな砂利地にツエルトを張る。イワナ1尾確保し、塩焼きにしようと焚き火を起こすが、滝の風と雫でうまくいかない。焚き火には自身があったのに、3回ほど挑戦してあきらめた。結局、ガスで焼きました。

この辺りは、キノコ狩りの時に徘徊する穏やかな沢の下流域の支流です。翌朝、適当に沢歩きをして扇の山を目指そうと気楽に考えていたのですが、意外と沢が険しくあきらめました。それならばのんびり下ろうと、大鹿滝から下っていくとまた大きな滝（左股の出合の滝、沢が二股となりその両方に大きな滝が控えている）に遮られる。左手の藪を登ると遊歩道に出た。滝の下に降りようと遊歩道から踏み跡を辿るが、途中からロープなしでは危険と判断しあきらめる。

再び、藪だらけの遊歩道を辿り、右股の出合の滝の落ち口へ。後は沢沿いに小滝を超えて遡ると雲龍滝 25mへ。これも豪快で深い滝壺を持ち、近づく雨のごとく飛沫が舞っている。20cm級アマゴを2尾キープし、昼前に退散。誰にも会わない沢で気分転換してきました。

Re: 三つの話題作と二つの映画

投稿者：越田和男 投稿日：2008年9月29日(月)11時40分29秒

> [No.553\[元記事へ\]](#)

雨さんの意図理解しました。オン・ザ・ロードの文庫版（書名「路上」）をアマゾンに発注しました。40刷とはすごいですね。知りませんでした。

三つの話題作と二つの映画

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2008年9月28日(日)17時52分50秒

越田君。ご指摘のようにマディソン郡の橋と、イントゥ・ザ・ワイルドの映画としての比較では、片田舎4日間だけの出来事と、アメリカ縦断では勝負になりません。

また、二つの主人公の接点は現実からの一時的逃避だけ、とのご指摘も正しく—ということでクラカワの三部作(?)のコメントは撤回します。

掲示板への私の投稿文は言葉足らずで、三つの作品に共通する接点があったと思われたのは当然です。

私がこの二つの本（マディソン郡の橋。荒野へ）に共通すると感じたのは原作を読んで、これは売れると判断した、製作・監督・主役のクリント・イーストウッドと エリートコースを約束された青年がアラスカで餓死した、「なぜ？」—のノンフィクションが売れるとしたクラカワの着眼です。

観ていただくために製作する。読んでいただくために書くのがプロなら、メディアで話題となったこの出来事の作品化は、「売れる」と嗅ぎ取ったクラカワはプロのライターです。96年のエベレストの悲劇が遭難者ゼロの山だったら、アラスカで餓死したのがもし普通のヒッピーだったら、「空へ」「荒野へ」は書かれてないでしょう。

さて、オン・ザ・ロードの著者ジャック・ケルアック。その作品は彼の自伝的内容を反映した作品であり、その意味において、ノンフィクション的です。

第二次大戦後の冷戦期におけるアメリカの若者たち。酒とマリファナとセックス、激しいジャズに陶酔し、既存のモラルを批判した若者たちを意識して書き上げたケルアックの世界的ベストセラー。

河出書房・福田実訳・1959。河出文庫・1983年の初版発行から増刷40版以上。

アメリカでの上梓は1957年。クラカワの「荒野へ」に、この本を引き合いに出したのは、物質社会から脱出していかなるルールにも束縛されず自由を得たい、クリストファー・マッカンドレスと、ケルアックの描いたビートニクに共通の精神を感じるからです。

イントゥ・ザ・ワイルドは 山の本かと、著者クラカワの名前につられて買いましたが、各章の冒頭に他人の引用文がやたらと多く、これがノンフィクションかと考えましたが、フィクション以外はすべてノンフィクションと考えて納得しました。

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 9 月 28 日(日)17 時 03 分 36 秒

直接の面識はなかったが、かつて小川守正さんが書かれた戦時下の山の話の中に登場されていたという記憶がある。昭和 17 年 3 月（日米開戦の翌春）、緒戦の勝ち戦で学校当局の締め付けが一時的に緩んだ際に行われた遠見尾根から鹿島槍を目標した春山合宿で、大遠見の少し上の辺りからカクネ里方向へ滑落されて重傷を負われ、血まみれ意識不明の状態で大遠見小屋へ担ぎ込まれた。そのあと小屋の火災に遭うなどして散々な合宿だったらしい。

甲南高校山岳部としての記録は、このあと終戦翌年の昭和 21 年に至るまで空白となっている。山岳部が剛健旅行班と改名させられたが、部室の扉に Konan Alpine Club と大書して抵抗した頃のことだが、記録にはなくても個々の山行はあったはず。たとえ行軍登山であったにせよ、そのころのことを是非語ってほしかった。惜しい先輩がまた亡くなられた。ご冥福をお祈りします。

お知らせ 訃報

投稿者：井上 知三 投稿日：2008 年 9 月 28 日(日)10 時 29 分 50 秒

秋の集会の返信に 小泉 澄子 様より下記のご連絡がありました。

御連絡有難うございます。夫 小泉 省三は 7 月 17 日に他界致しました。長い間お世話さまになりまして有難うございました。（旧制 19 回理）

アーチーズ国立公園

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 9 月 28 日(日)09 時 51 分 5 秒

アーチーズ国立公園

リポビタンDのコマーシャルに出た

デリケートバランスをどうぞ



Re: 三つの映画と小説

投稿者：越田和男 投稿日：2008年9月26日(金)23時26分33秒

> [No.548\[元記事へ\]](#)

雨宮さんの投稿へのコメントです。

> 小説・オン・ザ・ロード ジャック・ケルアック著（1922～1969）

>

> 映画・マディソン郡の橋

>

> 映画・イントゥ・ザ・ワイルド

「マディソン郡の橋」と「イントゥ・ザ・ワイルド」の接点は極めて低いと思います。確かにどちらも主人公の現実社会からの逃避という点では同じでしょうが、前者はフィクションであり、マディソン郡という狭い舞台で起こった恋（不倫）の物語で、後者は実際に起こった事実（死に至る悲劇）に下づくノン・フィクションで、メキシコからアラスカにかけての壮大な旅を背景にしたロードムービーです。

「オン・ザ・ロード」は読んでませんが映画化されそうもないですね。読んでみます。

三つの映画と小説

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2008年9月26日(金)15時37分49秒

小説・オン・ザ・ロード ジャック・ケルアック著（1922～1969）

時代は1940年代の後半。飽くなき富の追求と都市の荒廃に背を向けて、おそらく著者であるケルアック自身ではないかと思われる語り手が、ディーンという若者と共に、バスやヒッチハイクで古き良きアメリカを求めて放浪の旅をするという物語。

ケルアックは1969年アルコールの過剰摂取で死亡（47歳）。

映画・マディソン郡の橋 ～オン・ザ・ロードの大人判。

アイオワ州の片田舎で出会った、平凡な主婦と中年のカメラマンの4日間の恋を描く。1965年の秋、片田舎に点在する橋を撮りにやってきたカメラマン、ロバート・キンケイド（クリント・イーストウッド）は小さな農場の主婦フランチェスカ・ジョンソンと出会い恋に落ちる。そして永遠に心に残る4日間が始まる。

この二つの物語は、大国アメリカの高度成長に疲れた若者、分別ある男（35歳）を描いています。ジョン・クラカワの著は、この二つの物語の第三部作か？

映画・イントゥ・ザ・ワイルド

裕福な家庭育ちのクリス・マッカンドレスという青年が大学卒業のあと、全てのしがらみを断ち切って放浪の旅に出て、二年後にアラスカの荒野で遺体となって発見されるまでの軌跡を追ったもの。

投稿者：福田信三 投稿日：2008年9月25日(木)15時10分56秒

砂岩が水流によって侵食された狭い溪谷

正午ごろ陽光が差し込みます

このあたりはすべてナバホ族の地区です。



モニュメントバレー

投稿者：福田信三 投稿日：2008年9月25日(木)15時07分2秒

写真はモニュメントバレー

昨夜はホテル予約なし、しかし行けども行けども

モーテルは満員、約200km 走ってやっと安宿に滑り込み。

真っ暗闇の砂漠のドライブは真っ黒な円筒の中を突っ走っている感じ
周辺はまったく見えませんでした。



映画「イントゥ・ザ・ワイルド」

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 9 月 25 日(木)12 時 21 分 9 秒

日経夕刊のシネマ万華鏡で五ツ星が付くなど、新聞、雑誌などでちょっと絶賛過剰気味だとは思うけど、お勧めではある。

原作者ジョン・クラカワー（邦題「荒野へ」集英社 1997 年、2007 年に文庫化）は登山家にしてノンフィクション作家。登山界では、1996 年のエヴェレストの悲劇をリアルに描き上げた「空へ」（原題 Into The Thin Air)の著者として知られている。

物語は、裕福な家庭育ちのクリス・マッカンドレスという青年が大学卒業のあと、全てのしがらみを断ち切って放浪の旅に出て、二年後にアラスカの荒野で遺体となって発見されるまでの軌跡を追ったもの。監督はショーン・ペン。物語性にはやや欠けるこのノン・フィクションを、よくここまで迫力のある映画に仕立て上げられたものと感心した。

沢木耕太郎が「ショーン・ペンの映画が原作を凌駕していると思われる最大の点は、クリスが最後の 2 年間に見ただろう風景が克明に捉えられていることだ。砂漠が、峡谷が、雪原が、心に食い入ってくるほど美しく撮られている」と評している。（朝日新聞）

いわゆるロード・ムービーのファンで映像美を堪能したい向きに、或いは、アメリカの辺境・田舎文化に興味をお持ちの方には是非。原作を合わせ読まれることもお勧めです。

連想

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年9月24日(水)07時05分34秒

グランドキャニオン、デスバレイ：西部劇で馴染んではいるものの行った事はありませんが、キットヒマラヤ、ヨーロッパアルプスとは全く異質の世界なのでしょう。映画「シェーン」で有名になった、グランドテイトン国立公園は寄らないのですか。

主題歌""遥かなる山の呼び声""をバックに写っている、雪もあるそびえっ立った岩峰はどれくらいの高さか、誰も此处で岩登りをしないのかナアと連想してます。

王監督の辞任が大きく新聞に出てます。""まるで

天空に君臨する神々ように輝いて見えた、赤バットの川上、青バットの天下""；これ、日本プロ野球コミッショナー

加藤良三氏の言として日経に載ってました。同氏と略同世代の当方にはある意味、王／長嶋以上の存在でした。若しこの四人がMLBでプレイしてたら、どれくらい通用した？

一度、張本勲あたりに聞きたいものです。

キャニオンの夕焼け

投稿者：福田信三 投稿日：2008年9月23日(火)15時28分48秒

本当に今日はいいい天気、キャニオン日和でした
何度見ても吸い込まれるような感じです



9月22日のキャニオンの夜明け

投稿者：福田信三 投稿日：2008年9月23日(火)09時03分31秒

今朝のグランドキャニオン、ブライトエンジェルをどうぞ
熱いコーヒーをすすりながら、何万年変わらぬ景観を
眺めるとき、今の自分が不思議に思います。



事務担当より秋の集会の件

投稿者：井上 知三 投稿日：2008年9月23日(火)08時02分14秒

秋の集会参加予定者は現在下記の通りです。

小原 耕治・砂川 彰雄・柳澤 正・雨宮 宏光・鈴木 頼正・田辺 潤・越田 和男・大関 和夫・二谷 和成・村上 与利一・武田 雄三・石原 浩二・山本 真博・米山 悦朗・井上 知三の15名です。(敬称略・順不同)

参加希望の方は9月末迄に返信メールにてお知らせ下さい。

今日の夕刊から

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年9月22日(月)16時57分41秒

記者風伝 なる連載が朝日新聞の夕刊に載っています。其の第二部に田口二郎先輩が敬愛してやまなかったであろう、憂国の士：笠（リュウ）信太郎の事が記されています。

リュウ達が、命がけでやったスイスでの対米平和工作、大変興味深いです。

田口さんの著書「山の生涯」の中で：回想笠信太郎：の項があり、同氏との交流の様子を書かれています。又：終戦身边：の項では「非力ながら私たちが首都ベルンで第三者を通じ和平の工作を模索していた………」とはっきりと此の重大な工作活動に

参加されていた事を記されてます。小生の推測ですが、大先輩のあの卓越した語学力を大いに発揮されたのではと、思うのです。この点など、亡き福でんさんに聞きましたが””アッちゃんは、黙して語らずや””との事でした。
お二人が御存命なれば、此の記事に触れ、お話を聞きたかったです。

ー若しスイス和平工作が成っていれば、ソ連の対日参戦も、
ヒロシマも、ナガサキもなっだろうとの読後感を禁じ得ないー（当該夕刊より）

デスバリー

投稿者：福田信三 投稿日：2008年9月21日(日)15時20分50秒

ヨセミテから600km、デスバリーで1泊
それから300km、ラスベガス着
Gキャニオンへの中継点でもあり、
ひと稼ぎしと思う場所でもあります。

写真はデスバリー、海拔-100m位で50℃
写真は1690mからで、こちらは涼しくらいです。
標高アップによる気温低下はすごいです。



ハーブドーム

投稿者：福田信三 投稿日：2008年9月19日(金)14時55分40秒

グレイシャーポイントからのハーブドームの夕景
この壁が約1000mとのことでした。



文登研（登はん）

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2008 年 9 月 18 日(木)13 時 43 分 55 秒

今日から 2 4 日まで、文部科学省登山研修（登山指導者研修会Ⅱ・登はん）へ参加して参ります。
場所は例年通り、富山県立山市にある文科省登山研修所及び、劔岳周辺です。
台風の影響で天候は不安定なため、円滑に研修を受けられるか疑問ですが。。

主な日程は以下の通りです。

・9 月 1 8 日（木）

離阪

・9 月 1 9 日（金）

受付

開会式

講義：「リーダーと登山の安全」

班別実習、班別協議

・9 月 2 0 日（土）

立山駅→室堂→劔沢

講義：「登山の医学」

・9 月 2 1 日（日）

劔岳周辺の岩場等にて基礎研修

・9 月 2 2 日（月）

総合研修

・9 月 2 3 日（火）

雷鳥平にて搬送研修

→立山駅→研修所

全体協議（研修会総括）

閉会式

解散

・9月24日（水）

帰阪

この様な日程で研修を受けて参ります。

尚、穂高から帰阪以降バタついており報告は文登研以後にさせていただきます。

追伸

福田さん

ヨセミテ良いですね。羨ましい限りです。ヨセミテ国立公園では素晴らしい巨大岩壁を望めることでしょうね。

ヨセミテ

投稿者：福田信三 投稿日：2008年9月18日(木)12時53分11秒

岩登りが出来るわけじゃないけど、巨大な岩峰を見にヨセミテに来ました。

サンフランから車で5時間。10年以上前を思い出しながら走ったけど、

同じ場所で道を失い、その因縁に驚き。

川原から見上げるハーフトーム、多分500m以上はあろうかと思われる垂直の壁。

ゾクツとしてしまいます。

これから一月ほど国立公園を巡りデンバーでアムトラックに乗ってシカゴで友人に会う予定です。

Re: 谷君 夏山合宿

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2008年9月12日(金)11時06分30秒

> [No.532\[元記事へ\]](#)

川野幸彦さんへのお返事です。

> ご無沙汰です。お元気ですか？

川野さん、どうもです。

こちらは相変わらず元気に過ごしております！

一昨日は松本駅前の公園で中島さんとビバークしていました。

風呂屋を探して松本市内を歩き回りましたが、どこもしまっており結局コインシャワーでした。松本の風呂屋は水曜日定休日？？と。。。

穂高のクラシックルートはどれも支点の腐食が激しく、ディレティシマも例外なく下部4Pを登ったのですが、崩壊で支点がなくなったり、リングボルトのリングが飛んでいたり、はたまた支点がブッシュに埋もれていて掘り出さなければと・・・

おそらく今年このルートに取り付いたパーティーは私たちが始めてのような気がします。

結局、天候と疲労の影響で4 P登ってT 4尾根を下降しました。

詳しくは後日報告しますので！

下山連絡

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2008 年 9 月 12 日(金)10 時 42 分 41 秒

下山連絡

1 2 日夕方、全員無事下山しました。
関係各位の皆様、ご連絡が遅くなりご心配おかけしました。

入山日より天候に恵まれなかったものの、
屏風岩・・・雲稜、フリークライミング
前穂東壁・・・都立大、北条＝新村
滝谷・・・クラック尾根、ドーム中央稜、ドーム西壁（ニューウェーブ）
横尾⇄北鎌尾根 1day
を登ることができ、冬季登攀に関してもルートの状態、体力・技術面に関して解決すべき課題等の成果を得られました。

詳しくは後日報告させていただきます。

Re: 川野さんへ

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 9 月 6 日(土)06 時 02 分 44 秒

> [No.530\[元記事へ\]](#)

南里章二さんへのお返事です。

> 菊池先生の訃報で、慌てて菊地先生としてしまったことをお詫びします。

とんでもありません！わざわざありがとうございます。川野

谷君 夏山合宿

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 8 月 31 日(日)20 時 53 分 10 秒

ご無沙汰です。お元気ですか？

夏山合宿の計画書を拝見しました。ハードな計画ですね。安全登山を心掛けて下さい。屏風岩を3本とは！凄いですね。その中でも東壁ディレティシマ！私の現役時代には大学山岳部員で登った者はいないと思います。

3年の秋に山本・大勝と3人で屏風岩1ルンゼに登りに行きました。その時、青白ハングの庇の先端にアブミが残置されているのを見ました。ユラユラと揺れていました。残していった方はその後どのようにして登ったのでしょうか？ビッグルートです。くれぐれも気を付けて下さい。支点はかなり傷んでいると思います。

屏風のビックルートという私の3つ下の東君が東壁ルンゼに登っています。これを聞いた時は驚きでした。また3月には渋谷さんと納富さんが1ルンゼに登っています。これら以外では東稜は藪内さん・今井。雲稜は大庭さん・川口さんが登っています。

機会があればまた岩登りをやりたいです。羨ましい限りです。

夏山

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2008年8月31日(日)04時57分39秒

山岳会の皆様、お久しぶりです。

現役の谷です。

実は9月1日より10日間、穂高で岩登りをしています。

アドレスを知っている方々には計画書をE-mailで添付して送信いたしました。

日程等については現役の掲示板をご覧ください。

追記

この夏の局地的な豪雨により、ロックガーデンのゲートロックが大崩壊したようです。その為、芦屋市により当該区域への立ち入りを禁止されているのでご注意ください。また、落石が地獄谷河床まで達しているとのことなので、この谷への立ち入りもを控えるべきとのこと。

崩壊前と後の写真はこちら↓ ↓

<http://web.mac.com/outside2006/iWeb/NEWS/news.html>

川野さんへ

投稿者：南里章二 投稿日：2008年8月29日(金)09時40分22秒

菊池先生の訃報で、慌てて菊地先生としてしまったことをお詫びします。

思い出しました

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年8月25日(月)16時57分26秒

福田兄の掲示を見て、30年程前の植村直己さんの姿と言葉を思い出しました。

JACのごく小さな集会に現れ、少し講演的な事をやりましたが、遅れて来たので

「すみません、すいません」と言いながら、入って来た小柄な彼でした。

偉業をたたえと「いやそんな、いやそんな」と恐縮した様子で、本当に謙虚な

人だナア との強い印象を受けました。平井センキチか越田コンも居たはず。

マッキンリー

投稿者：福田信三 投稿日：2008年8月24日(日)11時43分42秒

タルキートナ、ここは植村さんがマッキンリー登頂のときの宿のある村ですが、へ戻る途中、念願のマッキンリーの全容が見えました。

村の博物館には植村さんのことが少し展示されていました。

遭難当時の新聞の記事は印象的です。そして彼が、そのインタビューに答えた言葉、

「なぜ山に登るのは私にもは判りません。でも、私は山に登ってきたし、それを正当化する必要などないのです。これらの体験を通じて私はまったく新しい何かを探してきたということを今強く感じています。私はまるで自分が世界新記録を 0.1 秒でも破ろうとする 100m 走者のように感じているのです」

すでに登山家を卒業して、冒険者、挑戦者になったのでしょう



オーロラショー

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 8 月 22 日(金)04 時 00 分 8 秒

フェアバンクス郊外のスキーランド、
西北の方向、目線 40 度くらいにぼんやりした白い綿菓子が入り込み、
今夜もまったく雲のない快晴、月明かりに負けじときらめく星は無数。
その綿菓子は見る見るうちに横に伸び長い帯状となったり、滝のように下方に流れ落ちて
行くものもあった。
“出たー”“オーロラだ”と叫んで車外へ飛び出して空を仰いだ。
その形は伸びたり縮んだり、細くなったり太ったりの変幻自在。
かすかに緑かったところも見えてきた。
時には巨大なカーテンのような襞がゆれた。

誰も居ない山頂の駐車場で 23 時から待つこと約 1 時間。
音もなく突然、オーロラショーが始まりました。

時には頭上に降りかかってくるような壮大なものもあり、
悲鳴のよな声が出てしまいました。

Re: 日本アルプスに挑んだ旧制高校生

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 8 月 21 日(木)23 時 29 分 36 秒

> [No.491\[元記事へ\]](#)

松本についてが有り、旧制高等学校記念館で催されている標記の特別展に大関、川野両君に次いで小生も観てきました。芳名録には柳澤正先輩も記帳されていました。

副題に「－松本高等学校の活動を中心として－」とありましたので、多分甲南山岳部のことは付けたい程度かなと危惧してましたが、松高中心は当然とするものの、甲南高校山岳部の実績が正当に高く評価された展示だったので満足しました。

展示パネル及びパンフに記載された文章「旧制高校生が開拓したバリエーション・ルート」の一部を紹介しておきます。

『……バリエーション・ルート時代の幕開けです。日本アルプスに大きな礎を築いたのは、甲南高校と松本高校です。甲南高校は、……七年制という利点も加わり目覚ましい記録を打ち立てています。』

そして、「甲南高校の多彩なルート」と題する特別コーナーも設けてありました。

開催期間は31日(日)まで(月曜旧館)です。お近くに行かれる方は是非。

TV番組の案内

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 8 月 19 日(火)11 時 15 分 49 秒

本日(8/19日)2:00PMより、NHKハイビジョンで「カウラ大脱走」があります。(再放映)、山と関係無きも、狂信的な先陣訓を叩き込まれ、其の犠牲になった方々の実話です。其の時のPOWの高原希国氏に依れば”豪州軍人の言うには：日本人はGUESTであると：将来起こる可能性のある対ソ戦を思うと、日本を味方にせねばとの思いが既にあったらしい”氏は神戸二中のOBで英語に堪能、カウラ収容所では通訳をされた由。越田、コシが今年3月27日に掲示板に載せた「発信箱；焼きついた光景」のKAC山岡先輩がらみで、でてくる島田叡沖縄県知事と同じ神戸人、神戸二中野球部OB。両氏とも名プレイヤーであった模様。島田氏は旧制第三高等学校、東大でもプレイ、かなりの野球人だったようです。斯様な有為の人材が多く、無駄死にされた事を思い出すのも、意味ありと思います。

デナリ国立公園

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 8 月 19 日(火)09 時 31 分 18 秒

アラスカのデナリ国立公園に滞在中です。今回の旅行の目的のひとつ、マウント・マッキンリーを見ることでした。

今日それが90%達成。というのは頂上部は雲に隠れて見る事が出来ませんでした。

自然が相手ではどうしようもありません。ガイドによるとこの夏は30年ぶりの冷夏でほとんど見えない状態が続いているようです。

大きな理由は、アラスカ上のジェット気流のルートが例年と大きく違う点だそうです。

四国より大きなこの公園はマッキンリーもさることながら、その雄大なツンドラのパノラマ、グリズリー、カリブ、ムース、雷鳥などなどたくさんの野生動物に出会えます。

このようなツアーは最長12時間で、自然のプロが丁寧に説明してくれます。

今日もグリズリーの子供2匹をつれた親子がバスの真前を、歩いているに出会いました。

NHKのアラスカ特集を見ている気分でした。

日本からは中華航空の直便を使えばかなり近く、自然派には最高の場所と感じました。

ハイキングやキャンプのルートも無数で、野生動物に遭遇は当たり前とのことでした。

明日はフェアバンクスへ移動します。オーロラが目的です。

でも今年は無理かもしれません。

(無題)

投稿者：飯田 進 投稿日：2008年8月18日(月)07時22分57秒

山本君 立派な観光船ですね。われわれの乗ったのは、伝馬船にプロペラをつけただけの船で、爆音をたてて浅瀬を乗り越えていきました。それにつけても、秘境中の秘境と言われた

十津川も立派な道路ができて、便利になったようですね。

以前日本山岳会の図書委員をしていたころ、秘境の山旅 という本がでましたが、内容の一部に、 槍、穂高縦走 という項目があり、なんで？と皆で首をかしげましたが、今や

あそこも秘境かもね。秋山郷でも下栗の里でも立派な道路がついている、槍、穂には道路がない。立派な秘境である。

静峡ジェット船

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008年8月17日(日)22時36分14秒

飯田様

今でも透明度が高く、深い淵でも底まで光が届き、アユやゴリの泳ぐ姿が見えていました。瀬を越すときには深さの読みが勘狂い、十分な深さがあるにもかかわらず、カヤックの底を岩ですりそうでハラハラドキドキの連続でした。飯田さんが訪れられた頃だったら、もっと美しかったのでしょうか。

プロペラ船は、今はジェット船（水を吸い込んで後ろに吐き出す仕組み。ウォーターバイクと同じ仕組み。）となっています。カヤックで下っていてこれがやってくると大変でした。あわてて岸近くに移動し、船首を流れに垂直に向けてジェット船の大波をやり過ごします。だいたい音で近づいてくるのがわかるのですが、一度、瀬に入りかけたときに、後ろから汽笛を鳴らされて、あわてて岸沿いに行ったものの垂直に向けることは無理。娘を乗せたまま私だけ跳び降りてカヤックをつかんで支えていたのですが、思った以上の波が来て思わずこけそうになりました。あのときこけてカヤックを放していたら・・・。

車の回収のために片道乗りましたが、うるさいのと白波で水の中が全然見えないので、やっぱり自然と一体になったカヤックが良いと思いました。

ジェット船の写真は撮っていないので、会社のホームページを参考にしてください。

<http://www.kumakou.co.jp/>



平井吉夫の訳書新刊

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 8 月 17 日(日)16 時 36 分 36 秒

ドイツ語の翻訳で引っ張りだこの平井は古希を迎える歳になって益々忙しいらしい。かつて、小生が超多忙の頃、自由業の彼は山行の頻度をどんどん上げて、小生を羨ましがらせたのに、今は立場逆転か。

発売中の全 12 巻の「ノーチラス号シリーズ」（第 9 巻まで既刊）の仕事が終ったと思ったら早々とこんな本を出した。

ギド・クノップ編著 平井吉夫訳

「世界王室物語－素顔のロイヤル・ファミリー」

悠書館 2008 年 8 月刊 定価 2,800 円

著者はドイツの作家・ジャーナリスト。スウェーデン、オランダ、スペイン、英国など、いはば親戚付き合いの関係にある欧州王室の明暗、表裏の話に加えて、異質である日本の皇室についても雅子妃に焦点を当てた一章がある。ロイヤル・ファミリーのファンとはほど遠い小生だが、興味をもって読ませてもらい、欧州の王室に関する常識的な基本事情がやっと理解出来た。

昔も今も左傾向の強い平井だが、高校生の頃から皇室事情に詳しくったような気がする。何時も定評のある彼の「訳者あとがき」も、今回特に気合が入っているようだ。



瀬峡

投稿者：飯田 進 投稿日：2008 年 8 月 17 日(日)14 時 13 分 42 秒

昭和 27 年夏。中学三年の時、仲間 7 人と大きな TENT を担いで夜汽車に乗って新宮へ。
そこから本宮までバスに乗って、その河原でキャンプ。魚を突いたり、プロペラ船に
乗って、瀬峡を遊覧したりして遊びました。

この写真、その時のプロペラ船です。後部の小さな櫓がプロペラです。

山本君 今のプロペラ船どんなものですか。写真あったら見せてください。



瀬峡

投稿者：飯田 進 投稿日：2008 年 8 月 17 日(日)14 時 07 分 29 秒

トロ



菊池正和先生

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008年8月15日(金)22時44分48秒

菊池先生は1977年のヒマラヤの随行ドクターで、準備段階からずっと顔を出しておられました。横山さんの市立西宮高校の後輩で、そのご縁でインドまで来られました。内科がご専門で、「手術はできん」と高らかに宣言しておられたことも思い出されます。

1979年の二次隊には医薬品一式をご寄贈いただき、おかげで私は20年くらいその残りのポラミンを花粉症に重宝していました。

西宮回生病院の当直の日には、山岳部のメンバーにお声がけ下さりお酒に誘って下さいました(思えば当直に酒を飲んでいられたのも、今ではアリエナイ話かもしれません)。私は社会人になってからもお目にかかる機会があって、二次隊から10年くらいの頃、一度みんなで会おうとお誘いいただき、御影のマンションの手料理に始まって何軒かはしごをして、その日は御影に戻ったのか病院でビバークしたのか、もうだいぶ前のことです。OBでは与利一さんや南里さんと親交がおりでした。若い方も、私だけでなくずいぶんみんなをかわいがって下さいました。藪内君の事故の際に、回生病院の院長室にお邪魔しましたら、役に立てくれとご援助をいただきました。

芦屋の大原町の会合の頃は日産のシルビア、それからロータリーエンジンの赤いマツダ、ヒマラヤ10年の頃は好みの色に塗り替えたBMW、回生病院には英国超高級車、車の思い出もたくさんあります。藪内君存命の頃、彼との酒席のバイク談義から650ccのバイクを衝動買いして、「乗らんのにエライもん買うてもた」なんてこともあったと思います。

西宮回生病院のホームページ、今は変わっているかも知れませんが、理事長の菊池先生の髭の写真が出ていました。何年か前にそのことを年賀状に書いた思い出があります。

菊池先生のひいおじいさんが菊池常三郎軍医総監で、大阪回生病院もご一族、旧制の甲南卒業生にも何人も菊池姓のドクターがおられます。

昨日・本日で父親の転院に忙しく、ホームページを見ておりませんでした。

お通夜には間に合いませんが、明日の告別式にはお別れに伺いたいと思います。

8月16日追記

告別式に参列しました。

100年続く病院を常に発展向上させ、地域に根ざすものにするためのご努力は大変なものだったのだろうと思います。出身大学が関西系ではない菊池先生にとって、医師の確保もご苦労があったでしょうし、有能な看護師・技師・事務職などの安定確保もなかなか大変でナア、と夜の芦屋辺りで伺った覚えがあります。

菊池先生は「ちょっとワガママなドクター」のお姿を基本に、しかし時に相手の気持ちを推し測るやさしさも持ち合わせておられました。気の合う方々とお酒を交わしながらの山の話しを楽しみにしていました、とご子息のご挨拶にありました。

何ヶ月か前に要君たちと、1979年の二次隊からもうすぐ30年、記念に一度集まりましょう、その時は菊池先生もおいでいただいて、という話になったのですが、叶わないことになってしまいました。

菊地先生

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008年8月15日(金)09時08分6秒

菊地先生、ご冥福をお祈りします。

菊地先生とは、ヒマラヤ遠征隊とのつながりで何度かお会いしたことがあります。初めてお見かけしたのは、大学1年でした。遠征隊の壮行会だったと記憶しています。菊地先生の思い出は、3年の月見コンパです。確か高座の滝の上で菊池先生にOBも交えバカ騒ぎをしていました。夜中になっても騒ぎは収まらず、隣のテントからは「うるさい！」と注意され言い争いになりました。また、菊地先生からは「うるさいとは何事や。寝られへんのは昼間にしっかり山登りしてへんからや！」と。我々はこの一言で図に乗り更に騒いでいました。数日後、この件で学生部から呼び出しを受け、エライ怒られました。どうも近くにいた、甲南の関係者からのクレームらしかったです。菊地先生とはこの時以来お会いしていません。

数日前、中学の同級生がガンで亡くなりました。今年の新年会では元気だったので驚きでした。このところ、会社や取引先も含め若い方が亡くなることが続いています。寂しいお盆です。合掌！

失礼しました！

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008年8月15日(金)09時06分41秒

菊地先生のお名前が間違っていました。池⇒地。申し訳ありません！

菊池先生

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008年8月15日(金)08時59分7秒

菊池先生、ご冥福をお祈りします。

菊池先生とは、ヒマラヤ遠征隊とのつながりで何度かお会いしたことがあります。初めてお見かけしたのは、大学1年でした。遠征隊の壮行会だったと記憶しています。菊池先生の思い出は、3年の月見コンパです。確か高座の滝の上で菊池先生にOBも交えバカ騒ぎをしていました。夜中になっても騒ぎは収まらず、隣のテントからは「うるさい！」と注意され言い争いになりました。また、菊池先生からは「うるさいとは何事や。寝られへんのは昼間にしっかり山登りしてへんからや！」と。我々はこの一言で図に乗り更に騒いでいました。数日後、この件で学生部から呼び出しを受け、エライ怒られました。どうも近くにいた、甲南の関係者からのクレームらしかったです。菊池先生とはこの時以来お会いしていません。

数日前、中学の同級生がガンで亡くなりました。今年の新年会では元気だったので驚きでした。このところ、会社や取引先も含め若い方が亡くなることが続いています。寂しいお盆です。合掌！

アラスカの氷河

投稿者：福田信三 投稿日：2008年8月15日(金)03時25分16秒

規模はパタゴニアの氷河に劣るものの、その数は10000以上のアラスカ。

完全に後退して海から離れているもの、カールに雪渓というもの、なお海に流れ落ちているものなどさまざまです。そしてその崩壊を見ようと、クルージングは世界からの客でいずれも満員です。そのひとつをアップしました。



熊野川下りと南紀の旅

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008年 8月 14日(木)23時 44分 49秒

山から趣向を変えて、下の娘とファルトボートで熊野川を下ってきました。

11日北山川の瀬八丁を、ジェット船の最終便が下った後、田戸から下る。夕方の瀬八丁は静寂そのもの、いくつかの1級の瀬をこなし、2時間ほど下って、小川口の川原で夕闇と競争してキャンプ。焚き火は時間的に準備できず、残念。近くの清流荘でビールを買出し（温泉にも入れる）、夜は満天の星空。

12日、朝食をゆっくり摂り、8時前頃出発。熊野川の水は、一昨年訪れた四万十川よりもかなり透明度が高く、かなり深い淵でも底が見えるほど美しい。途中の川原に上陸し休憩しながら、時々現れる瀬は時に波高く水をかぶっては大騒ぎ。北山川は十津川と合流し熊野川と名前が変わる。もう河口の新宮まで行く気は無く、約4時間ほどで志古のジェット船乗り場付近に上陸。ジェット船で車を回収し、湯の峰温泉へ。有名な壺湯は1時間半の時間待ちとのことできすり湯へ入った。

発心門王子から本宮までの熊野古道を3時間ほど歩いたり、熊野三大社（本宮大社、速玉大社、那智大社）を詣でたり。ただこれは車で回ったのでご利益無いか。

新宮の砂浜で海亀の誕生に立会い、娘は大感動。太地では鯨博物館で腹びれのあるイルカを見学。

潮岬本州最南端のキャンプ場でキャンプし、磯でシュノーケリング。いろいろなソフトコーラルが面白い。

白浜で、南方熊楠記念館を見学し、今日帰ってきました。

訃報

投稿者：南里章二 投稿日：2008年 8月 14日(木)13時 07分 33秒

1977年の第一回甲南キシュトワルヒマラヤ登山隊に付き添いドクターとしてご参加いただき、その後も当時の現役山岳部学生に何度となくご自宅を開放し、気前よくお酒をふるまわれていた菊地正和先生が昨日（12日）午前10時、ご逝去されました。お通夜、告別式の日程は以下のとおりです。

お通夜：8月15日（金）午後7時～

告別式：8月16日（土）午前10時30分～

いずれも西宮山手会館 西宮市城が堀町 1-40 Tel.0798-35-1151

以上です。私事ながらここ数年酒席をご一緒することが多く、つらいお別れとなってしまいました。石垣島に土地を購入され、好きな海を眺めながら静かな余生をおくることを楽しみにされていた矢先でした。享年 61 歳。心よりお悔やみ申し上げます。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 8 月 12 日(火)05 時 41 分 44 秒

越田さんの写真をアルバムにUPしました。

写真

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 8 月 11 日(月)15 時 20 分 49 秒

・塩崎さん

塩崎さんの鋸岳は40年以上前のことだと思います。登山道も整備不十分で悪かったのではないのでしょうか？それにしても光岳から鋸岳とは凄いですね。特大キスリングに重登山靴。大変だったと思います。鋸岳のルンゼ登りは重荷では結構悪いと思います。“鹿の穴”ご記憶ありませんか？ちなみに私が1年の夏山は、雷鳥沢～前穂でした。連日の晴天でしんどかったです。毎日がバテバテで、登りは這っていました。

・大森さん

写真、新しいメルアドに送りました。覚え易いアドレスですね。大学の住所ですかね。

夏山便りを楽しむ

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 8 月 11 日(月)14 時 40 分 49 秒

会員諸兄の活発な山行報告を結構楽しんでます。

大雪山、塩見岳、西穂→奥穂高、剣岳、カムチャッカ、由良川源流、甲斐駒→鋸岳、アラスカ、などなど・・・曾遊の地もあれば、未だ果たせぬ憧憬の地もあることはHP閲覧の各位も同じでしょうね。

中高年あるいは熟年の方々がこれだけ楽しんで居られるということは、なんやかんやいうても、やっぱりいい時代なんだと感じます。何時まで続くか判りませんが、ちょっと上の世代の先輩方には申し訳ないような。

さて、小生は夏の初めに南スイスと北イタリアに出かけて、あまり人の行かないようなアルプス南麓の谷や山里の風情を満喫してきました。遊び疲れと、帰路の長時間フライト、帰国後の酷暑にはまいってしまい、以来体調優れずひたすら在宅静養中です。罰アタリかも。

すこし涼しげな写真を数葉アルバム用に送りましたので、ご笑覧下さい。

鋸岳

投稿者：塩崎将美 投稿日：2008 年 8 月 11 日(月)10 時 45 分 38 秒

川野くんの鋸岳を読み現役時代を思い出しました。

1年の夏山、南アルプス全山縦走。大井川から1日で稜線に立てない厳しい登りで光岳、後甲斐駒まで。リーダーさんは荷物の軽量を目指し事もあろうに食料を極端に切り詰め、昼の行動食は乾パンのみ、それも確か10個もあたらなかったはず。現役時代の中でもぴかーにひもじい合宿。何処かの小屋で誰かが残した

米を見つけた時の嬉しさ。思いでは空腹と水汲み。テント場に着くと毎日 1 年生は皆の水筒を集め水汲み、北岳では稜線から 1 時間以上下ったはず。甲斐駒で下山すれば良いものを前年のパーティに勝たねばと距離を伸ばすためおまけのように鋸岳へ。稜線に岩場があった事はわずかに憶えてますがキスリングの大きな荷を背負っていたにもかかわらず緊張したような記憶は無し。ともかく早く下って腹いっぱい食いたいと思いながら歩いた鋸の稜線でした。

メール

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008 年 8 月 11 日(月)09 時 14 分 11 秒

川野様

メール、下記にお試ください。

(私がサブで使っているアドレスです)

okamoto 八九一@hotmail.com

八九一は 891 で入力してください。

岡本 8 丁目 9 - 1、覚えありますか。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 8 月 11 日(月)07 時 25 分 10 秒

川野君から写真の投稿がありました。

アルバムにUPしました。

写真

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 8 月 11 日(月)02 時 06 分 55 秒

・大森さん

取材写真 17 枚を大森さんのパソコンに送りましたが、送付出来たのは最初の 3 枚だけで残りは『送信先のメールが一杯で送れません。』とのエラーメールが届きました。どうすればよいでしょうか？

・山本さん

おおー！バイクですか！それにしてもガソリンは高いですね。松本では 186 円／L 前後もします。10 年前の 2 倍です。

扇の山？残念ながら何処にあるのか分かりません。静かな所そうですね。この時期に誰もいないとは！快適ですね。私は筋肉痛です。鍛え方が足りません。太腿が特に痛くて階段の下りが堪えます。参りました。

扇の山山頂避難小屋

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 8 月 11 日(月)00 時 23 分 32 秒

金曜の夜、思いつきで扇の山山頂避難小屋に泊ってきました。

ガソリン代をケチってバイクで出かけたのが失敗。神戸はこんなに暑くて晴れていたのに、遠阪トンネルを抜けると雷雨、路肩の気温表示は 21℃。沢足袋に雨具を着てひた走り、小雨降る真っ暗な畑が平駐車場に。車で来ていたら車中泊するところですが、しょうがないので山頂まで急いで駆け上がりました。何度も通った勝手知ったる登山道のはずが、下草ボウボウで暗闇の森はなかなか恐ろしかったです。自然と同化するには、ま

だまだ修行が足りませんね。

小屋は独りで貸切、2階建てなので熊などが出てきたとしてもなんとなく安心感があり、四方に大きな窓があるので快適です。西には鳥取の夜景、東は遠くで一晩中雷光が雲の中で光っていました。朝になって気づいたのですが、虫が多くこうもりまで飛び始めたのは、窓がひとつ開きっぱなしになっていたせいでした。

ゆっくり朝食をとって、いつもの谷を結構下の方まで下り、途中で林道に上がって、駐車場に戻りました。別荘気分で、良い気分転換になりました。

川野くん、ご無事でなにより。また、都合があればどこかへ一緒に行きましょう。

特派員報告

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008年8月10日(日)19時40分56秒

川野特派員殿

写真取材、手間をお願いしてしまいました。ありがとうございます。

元気もおカネも水も空気も、あるときはそれがアタリマエです。

無くなって・またはなくなりかけて、あ、結構貴重なものだったんですね、となりそうなので、古いのは手に入るうちに。

山のお疲れの残っているときに済みません。

休みの残り、奥さんサービスとクーラー・ビール・オリンピック観戦でお過ごしてください。

大関さん！

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008年8月10日(日)16時58分12秒

・大関さん

御無沙汰しております。先程、記念館を訪れましたが、月曜日は休館のような気がしました。記念館にお問い合わせ下さい！

旧制高校写真

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008年8月10日(日)16時49分38秒

・大森さん

松本の旧制高校記念館に行ってきました。甲南に関係あるものは全て写真に収めていました。なお、これらは大森さんのP Cへ送付します。現在作業中です。

展示は記念館の1階で行われていました。入場は無料です。甲南をはじめ富高などの資料がありました。甲南の部報は“創刊号1927年発行”“2号1929年発行”などがあり、創刊号はガラスケースに展示されています。2号は記念館の方にお願ひして出してもらいました。2号は記念館の方が古本屋で買求めたそうです。どちらも今から80年も前のものです。このころの本は、まだ紙質が良くて保存状態も良く、戦争の前後のものは紙質の低下で、時が経つにつれボロボロになるそうです。従って現存するものは殆どないそうです。

皆さんも機会がありましたら是非お訪ね下さい。資料だけでなく、古いザイルや登山靴・ザックも展示してあります。なお、記念館は我が家からクルマで10分の所にあります。

アラスカへ

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 8 月 10 日(日)12 時 34 分 35 秒

只今関空、中華航空を待っています。台北経由でアンカレッジへ向かいます。
マッキンレーに登るなんてとんでもなく、その勇姿を見ることができれば最高。
氷河崩壊やオーロラ観察も運がよければ可能です。
26 日に戻ります。

南アルプス

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 8 月 10 日(日)06 時 08 分 5 秒

生まれて初めての南アルプスでしたが、二日間とも天気に恵まれて良い山行となりました。甲斐駒ヶ岳は北沢峠から 4 時間ほどで気楽に登れるので“混んでる”と思っていましたが、北アルプスに比べるとかなり少ないです。“コンニチは地獄”はありません。山も聞いてはいましたが大きいですね。穂高や後立のように峰々が連なっています。独立峰です。縦走はしんどそうです。南にあるためか森林限界も高く 3000m 峰でも頂上近くまで樹木が生い茂っています。熊も結構居そうです。皆さん鈴を付けていました。私は息子が集団登山でつけていた小さい鈴でしたが、音が小さくて不安でした。カウベル？が良いと思います。標識・鎖等も不完全です。北アのように“ペンキ印だらけ”ではありません。鋸岳は南アでは最難ルートらしいですが、踏み跡もしっかり付いていて、テープ等の標識も要所にあるので言われているほど危なくはありません。ただ、核心部の第 2 高点～第 1 高点間は岩が脆く緊張します。特に鹿ノ穴ルンゼの登りがガラガラで後続がいる時は注意したいです。ザイルですが初心者が居る場合や荷が重い時は必携です。岩場は 2～3 級程度ですが、荷を背負った岩登りはシビアで緊張しました。今回、宿泊は無人小屋の六合岩室に泊まりました。一昨年改装されたようです。窓がなく暗いですがツエルトを張ると快適でした。このルート辿る人も少なく、今回出会ったのは 3 人だけでした。静かな山登りが出来ます。今朝は筋肉痛です。一応トレーニングはしていたのですが足りなかったようです。

・山本さん

夏休み！いかがお過ごしですか？上の廊下・赤石岳 etc！良いですね。行きたいですが、今回の山登りで体力を使い切りました。来年は何処かに出掛けたいですね。私はこの夏休みはオリンピックを観て過ごします。のんびりした“寝夏休み”です。

甲斐駒ヶ岳～鋸岳

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 8 月 9 日(土)16 時 59 分 35 秒

先程、南アルプス、甲斐駒ヶ岳～鋸岳から帰って来ました。大森さんお世話になりました。以下報告です。

・8/8（金）松本⇒戸台口⇒北沢峠 6:55⇒甲斐駒ヶ岳 11:20⇒六合岩室 12:30（泊）

A M3:00 に松本の自宅を出発。1 時間半で戸台口に到着。北沢峠までのバスは 6:00 発なので仮眠。始発のマイクロバスで北沢峠に向う。所要時間 50 分で 1300 円也。バスは補助席まで使い満員状態。臨時便も 5 台出ている。ガイドは運転手で結構面白い。知識がある。車窓からは、これから辿る鋸岳方面もよく見えた。北沢峠から甲斐駒ヶ岳までは、尾根伝い。双子山までは樹林帯。日も当たらず、体力の消耗も少ない。これを過ぎると駒津峰・甲斐駒本峰までガレ場と岩場になる。本峰まで直登ルートを取ったが 2 級程度の岩場が出てきて楽しめた。ここから鋸岳へ向う踏み跡を辿るが、はっきりせずに迷った。ケルンや赤布に注意しながら 1 時間ほどで六合岩室に到着。この岩室は無人であるが 10 人程度は泊まれる。水

汲みに沢を下ったが、今年は雨が少なかったためか、いつも水が出ている所は涸れていて、更に下流のスラブまで下った。往復に1時間も掛かった。夕方、おっちゃんが独り現れ、今夜は2人が宿泊。夜、雷が鳴ったが雨は降らなかった。夜中は結構寒く、持っている衣類を全て身に付けた。シュラフカバーだけでは辛かった。

・8/9（土）六合岩室 4:10⇒中ノ川乗越 6:00⇒第2高点 6:40⇒第1高点 7:40⇒戸台川出合 10:10⇒戸台大橋 12:40

暗い中ヘッドランを点け出発。三ツ頭まではほぼ稜線通しで幾つかコブを越えた。途中、踏跡が途絶えるので注意が必要だ。赤布を見落とさないように辿る。中ノ川乗越までは急な下り。乗越からは第2高点までガラ場から尾根を辿った。第2高点は鉄の剣が刺さっているだけである。この剣は抜けないと聞いていたが簡単に抜けた。頂上からの展望は素晴らしく360度の大パノラマ。頂上からは鹿ノ穴ルンゼ目指してひたすら下る。ルンゼに立ってからはボロボロの鹿ノ穴ルンゼを登る。赤のペンキ印がある。途中から真新しい鎖が付いていて、ゴボウで登る。まあ、鎖を使わなくても2級程度の岩登りで問題ないが…。鹿ノ穴を抜け小ギャップへ向う。小ギャップの下降も鎖が付いていて、これを掴んでゴボウで下った。ここからは目の前の10m程の岩場を登る。ここも2～3級で問題ない。鎖も付いている。ただ、逆ルートでは懸垂であろう。これを過ぎると10分位で第1高点。ここも棒が1本立っているだけである。鋸岳は標識が殆どない。どこにいるのかよく分からない。急な下りを終えると角兵衛沢のコル。ここからはガレ場を1時間。更に樹林帯を1時間少しで戸台川出合。このガレ場では転びまくって参った。池ノ谷ガリーのような感じだった。戸台川の河原で水浴び。気持ち良い！この後、河原歩きを2時間。更に林道を20分で戸台大橋に到着。暑さでバテた。大橋からはバスで戸台口へ。バテバテで松本へ戻った。疲れた！

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2008年8月9日(土)07時17分13秒

浪川君から写真が届きました。

アルバムにUPしました。

教会学校キャンプ

投稿者：福田信三 投稿日：2008年8月8日(金)22時52分24秒

5日～8日 教会キャンプで兎野高原へ行ってきました。

好天気にも恵まれハイライトのキャンプファイアも大成功。

小学1年より6年生。最新の餓鬼共感覚を知り、驚いたり、

納得したり。今の激しい環境でも、子供たちの根底には

やはり純な気持ちがあり、かわいいです。

そして、そのパワーのすごさを知り、己のパワーの無さを

思い知らされました。

朝晩は涼しく、みどりの濃い高原で久しぶりにきつつきの音を聞き、

草木の香りに浸ることが出来ました。

剣岳夏スキー

投稿者：浪川 投稿日：2008年8月8日(金)17時38分3秒

先週関学の小西さんに剣に夏スキーに誘われ即実行してきました。

7/31 小西さん、中島君（殆ど現役の新OB）と私、神戸発関学立山山の家泊。

8/1 中島君 50kg を担いで雷鳥沢をスイスイと登る、我々息絶え絶えに剣御前へ、剣沢小屋の下に新

剣沢小屋が建築中、そこからかなり下った剣沢で小西さんに貸してもらったフリーライド 90cm のショートスキーで滑ってみるが雪渓表面がでこぼこの洗濯板とてもショートスキーで滑れる状態には無く、何とか長次郎出合まで行くがギブアップ。この後スキーはボッカ訓練用の重しになってしまう。真砂沢 15 : 30 着現役諸君（上級生 2 人・新人 3 人）と合流、持参のテント泊。

8/2 真砂沢（小西・浪川）6 : 30 発長次郎谷右股を熊の岩まで登り、此处で八つ峰 6 峰 A・C フェースに登る現役諸君を見学、見てると血が騒ぎ出すが残念ながらもう年だと思いなおす。

熊の岩の上をトラバースし左股を長次郎のコルから本峰向かう、私はアイゼンを付けるために兼用靴しかなく、本峰までの岩稜の歩きにくいこと。本峰に着くと新祠の取り付け作業の真っ最中、此れで剣岳も 3000 m になるらしい。12 : 30 帰りはカニの横バイをから平蔵のコル
ー平蔵谷ー真砂沢 4 : 00 着

8/3 源次郎 1 峰側壁に中島君・リーダー山本君はアタック。我々と残りメンバーは休養を兼ねて二股まで、近藤岩で昼寝を堪能して帰幕。夕方今回最大ビッグイベントスイカ割りをする。

8/4 朝から土砂降りの天気の中、現役の皆さんに見送られ、室堂へ。

今回の山行での最大の反省点、世の中に 8 月にスキー（ショートスキー）を持って行くバカはおりません。
（早川さんもうに止めてる）

最後に関学の現役皆さん（今頃縦走中）中島君大変お世話になりました。

熊野川下り

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 8 月 7 日(木)20 時 04 分 11 秒

川野くん、西穂の帰りに松本へよったらよかったですね。

私も明日から夏休み。甲斐駒が岳、良いですね。もう少し早く掲示板を見ていたら、今晚車を走らせて松本まで駆けつけたのですが、もうすでに一杯吞んでしまいました。

ちょっと前まで、お盆休みは家族で登山 and キャンプに出かけていたのですが、最近はそれぞれの都合が優先。

来週天気が良ければ、下の娘に付き合ってもらってカヤックで熊野川下りに行こうかと思っています。

白山東面の沢登りや黒部上の廊下、赤牛高天原周辺、赤石岳など行ってみたいところはいろいろあるのですが、誰か一緒に行きませんか。

夏山登山

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 8 月 7 日(木)10 時 51 分 11 秒

阿部さんのご冥福をお祈り致します。

明日から夏休みです。南アルプスの甲斐駒が岳から鋸岳に登る予定です。

【計画】単独

・8 / 8（金）松本→戸台→北沢峠→甲斐駒が岳→六合岩室無人小屋（泊）

・8 / 9（土）→鋸岳第 1 高点→角兵衛沢下降→戸台口

・8 / 10（日） 予備日

* エスケープルート：①六合岩室から引き返し②中ノ川乗越→熊穴沢下降→戸台口

③七丈ノ滝尾根→赤河原→戸台口

* 装備：夏山装備・メット・ツエルト・コンロ・食料 5 食分 + 非常食

大森さん！

登山計画は以上の通りです。よろしくお願いします。下山したら掲示板で報告します。
それから、武田さんの書き込みの松本の展示は見に行きます。写真撮って送付します。

山本さん！

西穂・沢登りと楽しそうですね。西穂は、たまたま私も松本に帰っていたので“合流しようかな？”と思っていましたが、出張続きの疲労と夏バテで諦めました。行きたかったのに残念でした。それから奥さんもお元気そうで何よりです。また何処かに行きたいですね！

日本アルプスに挑んだ旧制高校生

投稿者：武田 雄三 投稿日：2008 年 8 月 5 日(火)13 時 09 分 41 秒

大関兄

先にお知らせした展示書籍他が（甲南学園広報部より貸し出し）如何いった方法で展示されているのか、事後報告の為分かりません。

お問い合わせの福デンさん関係資料取り扱いは不明ですが、創部 75 周年記念号山嶽寮 43 ページの同氏取り纏め『平成 9 年 旧制高等学校記念館特別展―展示パネルから―』が抜粋されているかも？

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 8 月 4 日(月)05 時 17 分 58 秒

山本恵昭君から写真が届きました。

アルバムにUPしました。

伊藤愿氏遺稿集書影

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 8 月 3 日(日)18 時 06 分 48 秒

先ほどの文末に書影を入れようとしたのですが、上手くいきませんでしたので改めてやってみました。



新刊速報：伊藤愿氏の遺稿集

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 8 月 3 日(日)17 時 51 分 20 秒

伊藤愿先輩（1908－1956 昭和 4 年旧制文科卒）の遺稿集がこのほど刊行されました。

編集：松方恭子（愿氏次女）

書名：妻におくった九十九枚の絵葉書・伊藤愿の滞欧日録

発行：清水弘文堂書房 2008 年 7 月

定価：2100 円

21.5×15cm, 335 頁の大冊です。書名からは山関係の中身は見えませんが、甲南高校山岳部時代の北穂滝谷の単独行をはじめ、若き日の山関係の貴重な記録が採録されています。

没後 50 数年経った今、何故このような本が出されたかについては、沢山のひとと人の偶然出会いが重なったという経緯がありました。小生が出版に少々のお手伝いをした関係上、その経緯の概要を書く積もりで、次号「山嶽寮」に間にあわすべく、大森君にスペースの確保をお願いしてあります。本日のところは取り敢えず速報とさせていただきます。

Re: お知らせ

投稿者：大関 和夫 投稿日：2008 年 8 月 3 日(日)15 時 34 分 36 秒

> [No.485\[元記事へ\]](#)

武田 雄三さんへのお返事です

> 7 月 16 日より 31 日まで長野県内を旅行していた為、阿部さんのご葬儀欠礼し残念な思いです。ご冥福をお祈り致します。

>

> <各位へのお知らせ>

>

> 平成 5 年開設の旧制高等学校記念館（信州松本在）開館 15 周年記念事業として「日本アルプスに挑んだ旧制高校生」と題した特別企画展が 7 月 10 日より 8 月 31 日まで開催されています。

> 興味お有りの方は資料を送りますので当掲示板ないし武田宛連絡下さい。

>

> なお旧制の皆様には、甲南学園同窓会より案内が有ります。

>

> <展示内容>

> 『日本アルプスに挑んだ学校』のブースに「甲南高校山岳部報告」創刊号、

> 『旧制校生が開拓したバリエーション・ルート』のブースに甲南高校の多彩なルートとして

> 昭和 10 年発行「涸沢生活の記録」、平成 13 年発行「山岳部創立 75 周年記年号」、昭和 11 年発行「部内雑誌」、昭和 6 年発行「北穂滝谷概念図(複製)」

> が展示されているそうです。

8 / 11 に、行きたいと思います。

福デンさんの資料が、展示されているのでしょうか。

芦生、由良川源流下り

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 8 月 2 日(土)22 時 08 分 18 秒

クーラーの無い我が家としてはあまり暑いので、またまた妻と京都芦生に納涼川下りに行ってきました。

1 日、合宿に行く娘を駅まで送り、それから慌てて山準備をして 9 時過ぎ出発。須後の京大芦生演習林事務所で入林許可願いを書いて、13：00 発。暑い中、内杉谷の林道をひたすら歩き、長治谷キャンプ指定地に 15：50。芝生の広がる気分の良いところである。水場もあり、トイレもある。時期的にブユなどの虫が多いのが欠点か。今日は貸切。鹿の声が鳴り響く。

2 日、7：00 発で林道を中山まで戻り、沢足袋に履き替えて由良川源流の平瀬ををジャブジャブ下る。谷は曲がりくねって現在位置が分かり辛い、9：00 に岩谷出合。ここから谷相が少し険しくなり、兩岸が迫る。三の壺の 4m 位の滝をジャンプして滝つぼを泳ぐ。二の壺、一の壺がどれなのかよく分からないが、次々現れる小滝や瀬を飛び込んで泳いだりへつたり。やっとのことで大谷出合に 11：00。ここからは所々現れた道を辿ったり、渡渉したりを繰り返す。七瀬谷出合に 13：00、初めて人と出会う。しばらく行くと道がハッキリして、沢足袋を登山靴に履き替え、ひたすらトロッコ道を歩くと須後駐車場へ戻った 16：00。

久しぶりの沢泳ぎで快適納涼のはずでしたが、沢もその後のトロッコ道もあまりに長く疲れました。でも原生林に囲まれて、シカやイモリや魚たちが癒してくれました。できればもう少し涼しくなってからの方が良いようです。

お知らせ

投稿者：武田 雄三 投稿日：2008 年 8 月 1 日(金)22 時 55 分 18 秒

7 月 16 日より 31 日まで長野県内を旅行していた為、阿部さんのご葬儀欠礼し残念な思いです。ご冥福をお祈り致します。

<各位へのお知らせ>

平成 5 年開設の旧制高等学校記念館（信州松本在）開館 15 周年記念事業として「日本アルプスに挑んだ旧制高校生」と題した特別企画展が 7 月 10 日より 8 月 31 日まで開催されています。

興味お有りの方は資料を送りますので当掲示板ないし武田宛連絡下さい。

なお旧制の皆様には、甲南学園同窓会より案内が有ります。

<展示内容>

『日本アルプスに挑んだ学校』のブースに「甲南高校山岳部報告」創刊号、

『旧制校生が開拓したバリエーション・ルート』のブースに甲南高校の多彩なルートとして

昭和 10 年発行「潤沢生活の記録」、平成 13 年発行「山岳部創立 75 周年記年号」、昭和 11 年発行「部内雑誌」、昭和 6 年発行「北穂滝谷概念図(複製)」

が展示されているそうです。

阿部純一さんの思い出

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 7 月 30 日(水)18 時 39 分 6 秒

小生大学4年のとき、暮の横尾尾根合宿が早くかたずいたので正月を乗鞍の位ヶ原山荘で迎えた。その折既に社会人4、5年生の阿部さんとご一緒出来、帰りには小生1人が松本でご馳走になった。食べ盛りの合宿帰りが、先輩の懐具合も考えずに、遠慮なく飲み食いしたのはびっくりハラハラされたのではないか。

阿部純一さんといえば、皆がどういうわけか渾名をつけずに「アベさん」という。六甲学園山岳部のご出身、もう1人の阿部先輩（つまりベエさん）とは対照的に物静かで、敬虔なるクリスチャン。八ヶ岳をこよなく愛し、その良さを力説されていた。

近年は木曽福島で駒王集会でなんとかお目にかかったあと、体調を崩されたとかで欠席続きだった。訃報に接して寂しき限り。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

阿部純一先輩の訃報に接して

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年7月30日(水)08時38分5秒

1953年の甲南中学／高校／大学山岳部合同の冬山合宿の時のチーフリーダーでおられました。個性の強い部員集団、そして吾々ヒヨコの中学生グループ参加の大部隊を纏められました。さぞ、御苦労された事と拝察申し上げます。昨夜の御通夜に出席しました。知っている賛美歌を歌い、純一さんをひととき、偲ばせて戴きました。合掌

訃報

投稿者：福田信三 投稿日：2008年7月29日(火)15時43分21秒

阿部純一さん(大S31 経)が7月28日夕刻、帰天されました。御冥福をお祈りいたします。

葬儀の予定は下記の通りです。

通夜：7月29日 19時～

葬儀：7月30日 11時30分～

場所：カトリック六甲教会

http://www.rokko-catholic.jp/contact_us/map_near.html

福田信三

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2008年7月27日(日)22時30分48秒

山本君の穂高夫婦登山の報告に感動しました。夫婦で山登りができるというのは、ほんとうにいいですね。今年6月末から7月始めにかけて越田夫婦、タトラ報告でご存知の大橋さん夫婦、私ひとりとで、モンテローザ東南麓マクニャーガ村で生活しました。私の妻は山国出身なので、なんで山登りが娯楽になるのか、まったくわからないようです。

50歳記念穂高ツアー

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008年7月27日(日)21時53分7秒

妻と二人で、西穂から奥穂へ岩稜散歩して、今朝かえって来ました。

7月25日、無料の村営駐車場に車をとめて、9:00の新穂高ロープウェイに乗り、西穂山荘10:20着。天気がもうひとつなのでここでストップか迷いながら、西穂まで行ってみることに。西穂高岳12:45着、途中雷鳥親子が遊んでくれる。ガスっているがしばらくは大きく天気も崩れそうも無いので、天狗のCOLを目指す。

天狗の頭15:00着、雷一発少し雨。急いで下って天狗のCOL15:30着。今年は上部の雪が多いそうで、COLのすぐ下まで雪渓が残っており、5%もの大量の水を持って上がる必要は無かった。避難小屋跡にテントを張り終わると、雷雨。光って1秒かからない間にバリバリドーンと。まあCOLに落ちることは無いだろうと、夕食を食べて即寝。夜中に目覚めると、満天の星空、明日に期待。

26日、期待は裏切られ、ひどいガス。5:30出発し、○印を頼りにクサリ場などを超えながら、奥穂高岳8:15着、展望まったく無し。穂高岳山荘8:55。

南岳に向かう予定であったが、翌日の天気予報は雨なので、下山することにする。白出沢の途中で例年に無い雪渓が現れた。アイゼンなしのトレッキングシューズなので、補助ロープで妻をドレイシしながらゆっくり慎重に下降、やっとのことで林道に14:00、新穂高15:50着。

残念ながら無料の村営温泉は15:30受付までとのことで、村営駐車場横の深山荘の温泉に¥700。高山のスーパーで買出し、東海北陸自動車道のひるがの高原SAで小宴会、仮眠。4時に起き、深夜割引料金で神戸へ。

妻も私も50歳、二人で100歳。子育てでしばらく一緒に行けませんでした、久しぶりの夫婦登山でした。これからは、子供に手がかからなくなる分、体力的に年々行ける所が限られてくるのでしょうか。

二十数年振りの山行

投稿者：無茶人北川

投稿日：2008年7月26日(土)22時42分38秒

甲南山岳部のOBの皆様のパーティーに入れて頂き久しぶりに南アルプスへ行きました。森本様をはじめ皆様と楽しい山行でした。二泊、三伏小屋でして無理のないスケジュールで良かったです。塩見岳の山頂近くで野点をすることが夢でしたが、実現できたのはうれしかったです。また、このような山行にご一緒出来ればと思います。皆様の日ごろのトレーニングには恐れ入りました。私も日ごろから心がけて足腰を鍛えねばと思いました。



3000m の野点

投稿者：kannroku 森本 投稿日：2008 年 7 月 24 日(木)04 時 26 分 53 秒

梅雨明けの塩見岳に

メンバー 山本(大阪ぼっぽ会)L・井本・竹中・浪川・北川・瀧・竹中勇一郎・森本の 8 名

7/19 土 晴 東京、大阪を出発した各々が 13 時鳥倉林道ゲートにて落ち合い、三伏峠小屋に。ゲート前は沢山の車におどろく。案の定小屋は満員(110 名程)状態であったが、予約した特権か、眠るに苦労するほどの寿司詰ではなかった。(ゲート 13 時～三伏峠小屋 16 時 30 分)

7/20 日 晴 小屋の朝は早い。3 時頃から起き出し出発する人も。我々は 5 時 30 分出発。昨日体調くずしていた竹中君は嘘のように快調。浪川君の先導で登ったが老人組にあわせゆっくりとした ピッチで進む。塩見小屋当たりから視界が開け、荒川岳から仙丈、甲斐駒、農鳥、間の岳と南アルプスの 3000m 級の山々が見られ大満足。西に目をやれば中央アルプス、遠くには槍、穂高連峰 が。10 時 30 分塩見岳 3052m の頂上に。頂上直下の登りは人、人で槍の登りを思い出す。塩見東峰と西峰との中程で昼食。驚いたことに茶道具をあつかって北川さんが、お湯を沸かして の野点を。疲れを癒してくれるひと時を過ごす。ここ南アルプスで見かけなくなりつつある雷鳥 も見る。ここから下ること小 1 時間の塩見小屋(2750m)に。昨日は満杯(収容 30 名程)で身動き取れなかったらしい。左右の景観を楽しみながら三伏峠小屋に。(小屋 5 時 30 分～塩見岳 10 時 30 分 ～小屋 15 時)

7/21 月 晴 5 時 30 分過ぎに出発してゲートに 9 時着。天候に恵まれ 35 才～67 才までの 8 人の面々、初めての方、1 年振りにあった方、また来年お会いしましょうと。松川清流苑にて解散。

7 月の梅雨明け『海の日』の休みを利用した山行を、15 年程前に竹中君を中心に始まったのが、この山行と聞いております。その間色々な方々が参加したと。こんな山行あっていいのではと思います。私も昨年から参加しました次第です。これには山本さん(大阪ぼっぽ会)の企画立案があったと聞いております。いつも参加していた水渡・柏岡君がいなかったのは寂しく思いました。どんどんと輪が広がりのんびりとした山行をしたいものです。

来年は初めて浪川君も企画に参加いたします。楽しい山行になりますように。またどんな方の顔が見られるかと。

50 歳記念登山

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 7 月 23 日(水)23 時 54 分 12 秒

昨日でとうとう 50 歳になってしまいました。精神年齢はもっと若いつもりなんですが、なんともいえない感じです。

というわけで、同級生の妻と 50 歳記念登山に行ってきます。

明日の夜発、新穂高からロープウェイ利用で西穂高から奥穂高へ。余力があれば北穂、南岳あたりまで行って、日曜日に下山予定です。

ツェルトで行くつもりだったのですが、天気がもうひとつのようなので、テントを担ぐか小屋泊まりか、体力と財布に相談中です。

Re: 平生飢三郎とブラジル移民

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 7 月 19 日(土)21 時 40 分 32 秒

> [No.474\[元記事へ\]](#)

標記に関して来る 7 月 26 日に栗田政彦氏（昭和 38 年新高卒）が甲南大学の公開講演会で話をされます。小川守正先輩もコメンテーターとして参加されます。詳細は下記へ

<http://www.konan-u.ac.jp/news2/080714.pdf>

また、東京の外務省資料館で開催中の平生氏のブラジル関係の展示会は 10 月 31 日まで。
詳細下記へ

http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/shiryo/j_brazil/index.html

ご興味のある方は是非どうぞ。

Re: 平生飢三郎とブラジル移民

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008 年 7 月 19 日(土)15 時 10 分 7 秒

> [No.449\[元記事へ\]](#)

山嶽寮の編集をしています。

越田さんの日経の記事を読んでではと思い当たったのですが。

私の通った小学校、阪急今津線の逆瀬川と宝塚南口の間にあります。校舎から道路や川を挟んでお向かいにプールのある邸宅が。昭和 30 年代にです。

子供のころの記憶ですから定かではないのですが、そこが確か水処理関係の社長さんのお宅で、そんな関係でプールがある、と聞いたような聞いてないような。

日経記事の筆者、栗田政彦氏は私より 10 歳くらい年長、ひょっとしてあの邸宅の住人だったのでしょうか。

どなたかご存知ありませんか。

山嶽寮とはカンケイないことなんです、試験勉強のときにほかの事が気になって、というアレです。

現役のHP

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 7 月 16 日(水)14 時 43 分 25 秒

この歳になっても現役山岳部のことが気になるので、時々現役のHPを開いて見るのですが、ここ数ヶ月新しい書き込みがなく寂しいです。現役諸君どうなってるんですか。

今年二回目の氷ノ山

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 7 月 10 日(木)16 時 09 分 34 秒

JACの集いが八チ高原の神大OBの山荘で有り、「SPANISH WINEを飲み乍ら、SPA INの話を聞く会」と言う見出しに、思わず引き込まれ、7月8／9日と涼しい2日間を過ごして来ました。初めて鉢伏山に登れるかと思ってましたら、氷ノ山行きに決定。（去る6月1日に森本カンロク兄達と辿った全く同じルート。）

管理人の神大山岳部OB高田誠氏のプロなみの料理とワインを楽しみつつ、
余り聞けないスペインに関するお話を興味深く拝聴。
就中、闘牛に関して話、面白し。) 講師は神大山岳部OB本澤武次氏、
スペイン在住7.5年の元バンカー。御参加の御一人、同OBの森田暁氏は確か小生が
甲南中学三年の時、平井仙吉たちと春の杓子岳登攀の時、一緒に登った
神大メンバーの一人の筈。ホロ酔い加減で確かめえず、誠に残念。

旭岳（大雪山系）

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年7月10日(木)15時28分55秒

7年前の6月21日に行った時の写真を見てます。あの時は、ずいぶん雪が少ないです。
温暖化の影響？このときは、登山目的でなかったため、ロープウェイの姿見駅付近の散策のみ。貰った観光
客向けのパンフレットには（カムイミタラ：神々の遊ぶ庭
の散策、と記されてます。）

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2008年7月9日(水)08時00分12秒

川野君から旭岳の写真が送られてきました。
アルバムにUPしました。

関集三先輩の近況

投稿者：越田和男 投稿日：2008年7月8日(火)11時48分40秒

JACの大島輝夫氏（阪大山岳部OB）経由で関集三先輩（昭和10年旧制理科卒、阪大名誉
教授）の近況が入りましたのでお伝えします。

ご令息の・関一彦氏（名古屋大学大学院理学研究科教授）が先週亡くなりました（享年60歳）。
集三氏ご自身はご高齢ながらもお元気で、先月は日本化学会の化学遺産委員会のインタビューに応えら
れ、近くこれが冊子となって刊行されるとのことです。関さんは佐野源一さんとともに今や甲南山岳会の最長
老です。いつまでもお元氣なご長寿をご祈念申し上げます。

旭岳（大雪山系）

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008年7月6日(日)20時34分17秒

昨日、北海道の旭岳に登ってきました。以下、報告です。

・7月5日（土）曇り⇒ガス 姿見11:00⇒7合目12:00⇒旭岳頂上13:00⇒姿見13:50
宿泊先の旭川東横インで“おにぎり”5個を食べ、旭川駅前を9:30発のバスで旭岳登山口のロープウ
ェイに向う。1時間10分で到着。1320円也。ロープウェイに乗り換えて10分で姿見へ。往復で2
800円。このロープウェイは平成12年に開業したそうで、まだ新しい。中は観光客と登山客でほぼ満員
であった。曇り空の下、直ぐに歩き出す。10分程で姿見の池展望台へ。ここからはこれから登る尾根と地
獄谷の噴煙がよく見える。ただ頂上付近はガスっていて見えない。この先は、ハゲ山の火山岩の尾根道とな
る。頂上へ向う登山者で一杯である。7合目（姿見は5合目）までは曇り空で視界は良好であったが、こ

こから先はガスって殆ど視界ゼロ。また、空気も冷たくて半袖では寒い位だ。丁度、オホーツクの冷たい空気と太平洋の暖かい空気が交わる所であろう。四角い金庫岩を過ぎると間もなく頂上（2290m）であった。残念ながらガスで視界ゼロ。また風も加わり寒い。記念撮影後直ちに下山。頂上では写真を撮ってもらったおっちゃんから“ゆで卵”をもらった。塩が効いていて結構美味しかった。下りは駆け降り40分で姿見へ戻った。汗だく。帰りのバスの中でうたた寝。疲れた！

* 先週は北海道へ出張でした。いい機会なので、ついでに旭岳に登ってきました。旭岳はご存知のように、北海道で最も高い山です。人気もある様で登山客やハイカーが大勢いました。なお、このロープウェイは年中無休で冬も楽に旭岳に登れる様です。北海道はG8サミットのため、やたら警官が目につきました。私服警官も入れると相当な数だと思われます。何事もなく無事に終われば良いですね。

ところで皆さん！この夏はどちらへお出掛けですか？私は、南アルプス鋸岳・北鎌から前穂・笠ヶ岳 を考えています。まあ、全ては天気・体力・根性だと思いますが。

(無題)

投稿者：飯田 進 投稿日：2008年6月29日(日)09時36分22秒

ツラギ山 見つけました。背景のマナスル、その右 ピーク29 そのマナスルの手前の山が、ツラギです。

東京公演あったら教えてください。



マナスル/エリヤ報告会

投稿者：鈴木頼正 投稿日：2008年6月28日(土)20時18分30秒

2008年にマナスル/エリヤの未踏峰ツラギ峰7059mに挑んだ若者たちの報告と写真・スライド・スッチェン展 7・21pm3報告会、スライド、ビデオ、7・22, 7・23とツラギ峰、語る会、飲み会になります。会費無料。お問い合わせは大阪狭山西山2-27-3大西保さんまで 090-7106-7286 会場：チャクラ 大阪北区菅原6-12 TEL 06-6361-2624 Typhoon-dolpo@jomo.zaq.ne.jp、高校の同級生、阪大山岳部西川元夫君からの案内です。西川元夫、大西保 ふたり展のご案内です。

久し振りの大甲山

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年6月22日(日)12時44分39秒

昨日、J A Cの方と裏六甲の逢が山（722m）に登り、一旦下山し、
後、シュライン路に登り、表六甲に出ました。最後まで同道頂いた、75歳の宗實二郎さん
の馬力に脱帽。雨に逢わず良かったです。

乗鞍岳

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年6月19日(木)07時19分41秒

位ヶ原山荘の事を""""くらいのこや""と呼んでました。飯田兄がスキーが
上手いのは亡きトシの教示の賜物ですか。只今、この小屋のホームP A G E見てますが、俄然ここに
泊まって春スキーをやってみたくなりました。""シールはずして、パイプの煙
輝く尾根に春風そよ""と歌い乍らでも、晴天の下、大斜面を滑降出来たらナア。

(無題)

投稿者：飯田 進 投稿日：2008年6月18日(水)09時28分40秒

トシさん亡くなっておられましたか。
現役のころ、月夜の位ヶ原山荘の前で、パラレルクリスチャニアを教わりました。
おかげさまで、今日もスキーを楽しんで居られます。
遅まきながら、ご冥福お祈り申し上げます。

乗鞍山麓のこと

投稿者：越田和男 投稿日：2008年6月17日(火)22時39分17秒

機会があってJ A Cの仲間2人と乗鞍山麓鈴蘭地区の金山ヒュッテに泊った。梅雨の晴れ間に恵まれ、シ
ャトルバスを利用して「肩の小屋口」（大雪溪の下でこの季節はここまで）まで上がり、大雪溪、肩の小屋
経由で雪上散歩というよりは一寸しんどかったけど、3000mの頂上を踏むことが出来て大満足して帰っ
てきたところです。

ところで、昔といっても昭和30年代のことですが、鈴蘭や位ヶ原で我々と同年輩の若い衆だったトシさんこと
斎藤甫達さんは約十年前に亡くなったとのことでした。酒好きの好青年だったとの印象を宿の主人が語って
くれました。このことをお伝えして故人のご冥福を祈る次第です。

なお、位ヶ原山荘は去年から某大学のW V O Bのひとが住み込んで通年営業で頑張っているらしい。バス
で通りかかったただが、宿泊客を送りに出てきた新主人は人柄の良さそうな感じで、一度泊りにでかけたい
な、と思った次第。誰か付き合いませんか。

東鹿見山

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008年6月16日(月)00時57分49秒

本日、久しぶりに丹生山系へ行ってきました。
標高500mほどの藪山ですが、小沢が入り組んだ複雑な地形に、廃道になった昔の山仕事の道が縦横に走
り、気まぐれ徘徊するにはもってこい。六甲に比べて砂防ダムが無いことがうれしいです。
バイクで兵庫ゴルフ場から東鹿見山電波塔まで行き、そこから藪の中の踏跡を適当につないで天保池へ。ここは、
いつ来ても静かなお気に入りの場所です。ブラックバスが泳いでいるのが玉に瑕ですが。

天保池から沢伝いに下り、下の谷に合流したところから上流へ登り返し。道無き沢をつめるつもりが立派な道がついていてがっかり。

道ばかり歩くのも面白味が無いので、途中から適当に小沢をつめて藪をこぎ、東鹿見山 5 5 3 m へ。その名に反して全く展望なし。

この周辺、山城が有ったり古戦場が有ったり。この名前、昔の御猟場の名残りでしょうか。

ついでに、この時期の秘密の山菜？を手に入れ、今夜はそれを肴に一杯！

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 6 月 12 日(木)06 時 16 分 17 秒

越田さんから安房山と中尾平の写真が届きました。

アルバムにUPしました。

安房山

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 6 月 11 日(水)15 時 37 分 14 秒

信飛国境安房峠の東南東にある 2219m の山です。頂上からは穂高の眺めが良かろうと前から気になってた山です。この度、雨さんの発案でやっと登ってきました。峠からの標高差わずか 4 5 0 m。道はないけど、J A C の南川氏の情報では何とか踏跡たどれば行けそうだと。

先週土曜日(6/7).メンバーは雨宮、鳥居、二谷、塩崎、越田の 5 名。

安房峠に駐車。いきなりの急登で、何やら怪しげな縄梯子にぶらさがったり、かすかな踏跡、テープ、工事用の虎口ロープに助けられて登ること 2 時間半。9 0 %は藪コギでした。

残雪の頂上からの眺めは予想通り、穂高南面を真正面から、右に霞沢岳、左に焼がヤケに大きく、その奥に笠。更に槍、水晶などなど…。今日は下りが一寸やばかろうと、珍しくもアルコール無しの昼飯だったが、絶景と達成感で大変美味しくいただきました。

頂上直下南西面に巨大な建造物がありびっくり。マイクロの中継所とのことだが、資材一切をヘリで空輸して建てたのだろう。一寸興ざめだが山を眺める視界の邪魔にはならなかったのも、まあええか。

安房峠をはさんで焼岳との間にある白谷山、アカンダナ山も魅力的だが、対面から見た感じでは、積雪期、残雪期以外はダメ。とても我々のオジンの技術と体力では無理と判断しました。

本の紹介

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 6 月 11 日(水)07 時 04 分 49 秒

K A C の故茂木光隆先輩の御子息、源人氏が

「絵で見る石油ビジネスのしくみ」と言う本を出しておられます。

荒れ模様の原油市場を新聞等で見ていて、この分野の事をもう少し知りたいと思ってましたので、早速購入しました。分かりやすく書かれています。

(日本能率協会マネジメントセンター発行)

氏は 1 9 5 9 年生まれ、東大工学部卒、現在、茂木研究室をもたれています。

興味ある方は茂木源人(げんと)で検索してみてください。

富士山で滑って来ました

投稿者：東 哲也 投稿日：2008 年 6 月 10 日(火)07 時 57 分 40 秒

今シーズン最後の滑り納めに、富士山に滑りに行って来ました。

5 合目から 10 合目まで 7 時間のきつい登り。

希薄な空気の所為か前日の飲み過ぎの所為かへロへロに成りたどり着きました。

滑る沢は吉田大沢です。

下降路に使われる沢なのでそれほど急では無いのですが、

凍っている時、滑落すると何処までも落ちて行きます。

流石にこの時期、雪は腐り安心して滑る事が出来ました。

雲海に飛び込むように、雲へ繋がる広大な斜面を滑るのは最高です。

6 合目まで沢を滑り、歩きと休憩を含めて 5 合目まで 2 時間ほど。

今年最後のスキーになりました。

登りは確かにきついのですが、来年どなたかと一緒に残雪の富士山をすべりに行きませんか？



立山

投稿者：浪川純吉 投稿日：2008 年 6 月 10 日(火)00 時 30 分 56 秒

関学の小西さんに誘われて立山例会山行に参加させてもらい山スキーをしてきました。

4 日小西さん石原君と室堂へバスターミナルで青木さんと合流、雷鳥沢から剣御前小屋まで雷鳥沢をスキーで滑降雷鳥沢ヒュッテ泊

5 日ヒュッテ-室堂からスキーで関学ヒュッテ泊

6 日石原君と関学総務の方々下山、室堂山荘へ一日沈殿、関学田中会長・南井・中西・門脇・大日（門脇さんの友人）達と合流。

7 日全員で山崎カールヘ大日・浪川雄山から滑降、室堂山荘泊
8 日門脇・大日さんはタンボ平から南井さんケーブルで、我々大阪組は浄土山展望台に上り帰阪
梅雨の最中でしたが 1 日だけの沈殿で今シーズン納めの山スキーを楽しんできました。
関学 OB・総務方々に色々お世話に成り有難う御座いました。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 6 月 9 日(月)17 時 22 分 14 秒

平井さんからの写真をアルバムに U P しました。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2008 年 6 月 8 日(日)23 時 09 分 7 秒

いまでも元気なハインリヒ・ハラーの未亡人の写真。二度目の夫人です。最初の妻には子種を仕込んだだけでチベットの 7 年になってしまったのはご存知の通り。隣の比較若い女性是我的弟子。

氷ノ山

投稿者：森本 投稿日：2008 年 6 月 4 日(水)12 時 01 分 38 秒

6 月 1 日快晴 大段ヶ平駐車場より広瀬・塩崎・浪川・恵昭・森本の 5 名にてネマガリダケ(スズコ) を取り持って山頂に 初冬に登る扇の山もきれいに見える この 8 月で 70 歳になる広瀬ポンさんは元気一杯 時間ありすぎる donnkichi 君はテニスをやりだしたとか 若い東君に会ったり 久しぶりの雄さん、大森君の元気な顔 楽しいキャンプでした
恵昭君ありがとう



写真の U P

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 6 月 3 日(火)10 時 13 分 19 秒

飯田さんから下記コメントで写真が送られてきました。
アルバムにＵＰしました。

エベレストが話題になってますので、よかったです。こんな如何。
エベレストと言えばこの人が主役です。在りし日のヒラリー。
クリントンでなく、エドモンド。(飯田)

エベレストでのパフォーマンス

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2008 年 6 月 2 日(月)22 時 49 分 27 秒

越田君

ご教示のページ見ました有難う。ミン・バハドゥール・シェルチンという、この人。
ネパールで老人ホームの構想とは、かなりの金持ちでしょう。

北京五輪の聖火リレー、最高齢のエベレスト、と世界一高い山は、
かなり新聞を賑わわしましたが、あまり報道されなかったこの山を巡る
パフォーマンスを、思いつくままに年度不問で列記します。

頂上付近からスキー滑降、パラグライダーで滑空下降。シェルパ伝統衣裳で、
ベンガル湾から歩いて、スウェーデンから自転車でやって来て、それぞれが登頂。
2003 年、ヒラリー卿の息子とテンジンの息子・ジャムリン・ノルゲイが
参加した、英国の初登頂 50 周年記念登山隊（登頂？）——そして
今回最高齢と、まあ、いろ、いろ。あとはアホらしくて書く気しません。

正統派・エベレストでの究極のパフォーマンスは、1980 年。
R・メスナー（36 歳）の無酸素・ソロ登頂です。

平生鈇三郎とブラジル移民

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 6 月 2 日(月)21 時 31 分 25 秒

ブラジル移民百周年とかで、新聞記事が多い割には平生さんのことに言及する記事がないなと思っていまし
たところ、今朝の日経文化面で栗田正彦さんが「移民救った天衣無縫さ」－実業家・平生鈇三郎、排日
下でブラジルとの関係改善－なる一文を寄せられています。

平生さんの知られざる一面です。ブラジル事情をご進講のあとの天皇陛下の質問に「そんなこというたかてあ
んた……」と答えたというエピソードも愉快。一読お勧め。

また、小川守正先輩の下記の著書のことにも触れられています。
小川守正・上村多恵子共著「大地に夢を求めて－ブラジル移民と平生鈇三郎の軌跡－」
神戸新聞総合出版センター（2001）

スズコ料理

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 6 月 2 日(月)20 時 27 分 25 秒

我が家の今夜のおかずは、スズコのサラダとスズコの納豆汁、葉ワサビのお浸し。まだしばらくスズコ料理が続きます。

山菜は鮮度が命！やっぱり現地で食べた方が美味しいような気がするの、皆さんの楽しいお話のおかげかな！

「冷凍保存で」と言ったのを撤回します。妻によると、タケノコは冷凍するとシャキシャキ感が無くなり風味半減とのこと。お土産に沢山持って帰られた方、湯がいた後、タッパーに水をはって冷蔵庫保存が良いようです。今日から梅雨入り。氷ノ山の山頂の快晴が嘘のようです。ぎりぎり梅雨入り前のグッドタイミングでしたね。山スキーシーズンもそろそろ終了。これからは沢登りシーズンです。

削除 修正 とスズコ キャンプの追記

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 6 月 2 日(月)19 時 26 分 40 秒

塩崎兄、研究します。サンキュウ。若手の東君の参加で平均年齢がヤット 60 歳。次回は彼について 30 歳代の会員の参加があればいいですね。

山に理解のあるテニス仲間に（75 歳で、なかなかのハードヒッター）山菜採りで鹿の残骸に出合ったと言うと""今度は鹿をしとめて鹿肉、焼き肉パーティをやれば""と言われました。中東でラクダや羊の残骸は見たますが、国内では初めてでした。

投稿の削除・修正

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 6 月 2 日(月)18 時 58 分 36 秒

投稿してから読み返し、しまったと思ったらこのページの最下段にある"自分の投稿の編集・削除"のボタンをクリックしてください。

写真のUP

投稿者：塩崎将美 投稿日：2008 年 6 月 2 日(月)18 時 50 分 49 秒

大森君が送ってきたスズコキャンプの写真をアルバムにUPしました。

兵庫で生まれ兵庫で 65 年、兵庫県の最高峰"氷ノ山"に初めて登りました。自分で採ったスズコに感激、美味かった。恵昭君、お世話になり有難う。

エベレスト登頂

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 6 月 2 日(月)15 時 49 分 33 秒

三浦（父）さんもギネスブックに載りそこなったので、又 記録を狙うのですかね？そんなにまでしてと思いますが。しかしともあれ凄い事です。同氏と 1972 年に昼飯を中ノ島の和食屋にてとった時の事を思い出しています。当時のグランドホテルのロビーでお会いした瞬間スウット立たれて、

三浦 ですと 大きな活字の名刺を差し出されました。大変
恐縮した覚えがあります。非常に書生ばい印象。その名刺を探してますが、出てきません。

Re: 最年少と最高齢のエベレスト

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 6 月 2 日(月)11 時 58 分 59 秒

> [No.438\[元記事へ\]](#)

雨さん

最高齢登頂者 Min Bahadur Sherchan (76 歳ネパール人) についてはあまり詳しいことは判りませんが、タパニ出身の退役軍人で、長距離徒歩記録ではすごい人らしいです。高山の経験はあまりなし。今回のネパール隊は国の事業ではないが、国威発揚的なものであったらしく、著名人多数の後援と、在外ネパール人からの資金援助があったようです。

隊長はエヴェレスト最速登頂記録 (8 時間 10 分) 保持者のペンバ・ドルジェ、隊員として最年少登頂記録 (17 歳) 保持者のクリシュナ・タマンら 12 名のシェルパが参加。すごいメンバーだそうです。

隊名： Sinior Citizen Mt.Everest Expedition, Nepal:2008 (SECEE,Nepal:2008)

下記に概要があります。

<http://www.mteverest2008.org.np/>

登頂日は 5 月 2 5 日。三浦さんの一日前です。三浦さんとは 16 日に B C で会いエールを交換したとのこと。今後講演に各国をまわり (最初は韓国) 、その後老人ホームを作る構想。

御礼

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 6 月 2 日(月)06 時 29 分 12 秒

山菜を採り乍らのユツタリ登山、カッコウ鳥の鳴き声が""""カッコウ カッコウと皐月の空に――""、前夜の満天の星空、一杯やって、山仲間との歓談？これぞアウト ドアー
無論、採りたての山菜良し。(就中、山菜のてんぷら、これは旨い！！)

早速の写真をサンキュウ。C A P A B L E な山本リーダー他の愉快的な K A C の皆さん、お蔭様で 7 0 歳になんなんとする老人もスッカリ若返り。

取り敢えず御礼まで。

スズコキャンプ

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008 年 6 月 1 日(日)22 時 32 分 34 秒

氷ノ山のネマガリダケの筍とり、あいにく雨降りでしたが楽しく過ごせました。

リーダー山本に感謝。

スズコは散らし寿司の具になりました。

明日には写真を塩崎マスターにお送りしますので、掲出よろしくお願いします。

(集合写真だけ貼り付けておきます)



スズコキャンプ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008年 6月 1日(日)22時 20分 52秒

30日金曜夜、真っ暗な沢にライトをつけて入り、以前見つけたポイントで葉ワサビ収穫。

深夜に大森さん、東くんが到着し、プレ宴会。

31日土曜日早朝、武田さん到着。生憎の雨の中、東屋で雨宿り。しばらくして、廣瀬さん、森本さん、塩崎さん、浪川さんも到着。

小止みになるのを待って、大森さんと東君と私で横行溪谷の源流部へハイク。まだ時々雨に降られるが、新緑の森の中で深山幽谷の趣を楽しみ、ついでに山菜採り。塩崎さん達は林道沿いでスズコ採り。

昼頃、横行溪谷を下りながら、時々車を止めて山菜採り。天の滝近くへ移動し、山菜宴会&談笑。

メニューは、葉ワサビ・ミツバのお浸し、アザミ・タラノメ・ミツバ・イタドリ为天婦羅、スズコのマヨネーズ和え・からし酢味噌和え、山菜味噌汁。武田さんが釣って来られたニジマスの塩焼き。自然の恵みを美味しく頂きました。

1日日曜日、廣瀬さん、森本さん、塩崎さん、浪川さん、私の5人で大段ヶ平へ移動。のんびりスズコを採りながら、氷ノ山山頂へ。快晴の中、360度の展望。下りもスズコを採りながら、お土産いっぱい、ザックが重い。大段ヶ平で解散。

なんだかんだと、いろいろ楽しみました。ご参加の皆様、有難うございました。

最年少と最高齢のエベレスト

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2008年 5月 31日(土)22時 08分 33秒

最年少は15歳ネパール人女性のミンキパ・シェルパで、2003年5月

チベット側から登頂と報道されました。どこの国の遠征隊に雇用されて、

登頂の機会を得たのでしょうか。ネパールは16歳男性シェルパの登頂

以後、16歳未満のエベレスト登頂を禁止したので、彼女はわざわざチベットに行き最年少を達成したのです。

最高齢は、76 歳ネパール人男性のミン・バハドゥール・シェルチンで、08 年 3 月 2 5 日登頂と記事で見ましたが、いったいこの人は何者か（？）登頂の写真、感想など地元で報道されてるのでしょうか。

以上二つの登頂は新聞のベタ記事からの引用です。かたや普通の登山者が登頂したエベレストは新聞の片隅にも載りません。いまさらエベレスト（その他高峰も）報道価値などないのです。

カトマンズで三浦 雄一郎は記者のインタビューに応じて、

「次は 80 歳で北側からのチョモランマ」と言ってます。

興起高嶺者はますます元気です

Re: 三浦 雄一郎 エベレスト登頂

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 5 月 29 日(木)22 時 17 分 46 秒

> [No.430\[元記事へ\]](#)

無事に B C まで下山の報。息子さんも快復とのことで何より。やっぱりたいしたもんやね、というのが率直な感想。あまりに超人過ぎて参考にも出来ない我が身を思うに、ただただ脱帽です。

マロリーとアービンやヒラリーとテンジンの時代と較べて、山が昔より易くなったはずはない。装備が良くなったことや、サポート体制の完璧さなどが大きな要因でしょうが、何といっても人間が、それも年寄りが強くなったのですね。近頃の年寄りにはほんまに強い。

今後もっと強くなるのか。多分最高年齢記録はもう少しは上がるのでしょう。問題は 3 0 年、5 0 年後にも 7 5 歳の登頂者が出るのかどうか。強くはなるが、こんなあほな事をする人がいなくなるのか、その辺を見届けることが叶わず残念。

小生今週は東北まで足を伸ばし、安達太良山と吾妻山に遊び、残雪の上を歩いたりして真っ黒に日焼けして帰宅。歳の割りに元気やね、などといわれて、まあいいかと満足してます。

氷ノ山

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008 年 5 月 29 日(木)21 時 13 分 53 秒

東様

折角のお誘いだし、同乗お願いします。4 時起き、大丈夫かな。まあよろしく。

メールか電話で連絡をお願いします。

jh○rxh@f7.dion.ne.jp 頭から 3 文字目丸印は「3」を入れてください

氷ノ山の件

投稿者：東 哲也 投稿日：2008 年 5 月 29 日(木)07 時 53 分 44 秒

山本先輩へ

ランタンとコンロ、ちょっと大きいですが、スクリーンタープを持って行きます。

あとは適当に持って行きます。

大森先輩へ
金曜日深夜出発は僕も ok です。
日曜日はお昼に姫路で用事があるので、早く帰ります。
朝の 4 時、5 時に引き上げませんか？
如何でしょうか？

お礼 アソート

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008 年 5 月 29 日(木)00 時 44 分 54 秒

順不同で

山岳寮の原稿ありがとうございます。

雨宮様

今年も論文拝見しました。思うことをまとめて仕上げるには、ずいぶんな蓄積が必要だと思います。お仕事、ご家庭といろいろある中で、毎年続けてのご寄稿大変ありがとうございます。

矢吹様

ひょんなことからお願いいたしましたが、ご趣味の一端をご披露いただきお礼申し上げます。私にはまねのできないことですが、ご苦労と楽しみと、感じ入って拝読いたしました。

平井様

朝倉さんの追悼、思いでいっぱいにご披露くださり読み進みました。朝倉さんと平井さんの声が耳に浮かぶようでした。

大勝おにいちゃん

少し上級生の無理にお応え下さりありがとうございます。ロードレーサーの今のスタイルはよくわかりませんが、ハイテンションからクロモリあたりのフレームは、経験しています。持ったら重さが違うもんね。このごろはチタンとか言うのもあって、天井知らずの世界とか。このへんはネパール西浜の世界ですか。

少し面倒と思う編集も、皆さんより早く読めるのが役得です。

中味ですか？お教えしません。秋まで待ってください。

原稿お寄せいただいた皆さんにお礼申し上げて、続くご寄稿をお待ちします。

編集 大森

Re: 氷ノ山、是非参加させてください

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 5 月 28 日(水)21 時 09 分 48 秒

> [No.431\[元記事へ\]](#)

東くん 久しぶりの再会、大歓迎です。

土曜日、晴れる予定が雨模様の予報にかわっています。
タープ、ランタンをお持ちの方があれば、持ってきていただくと助かります。

この季節、土日は山菜狙いの人でいっぱいですが、雨ならかえてライバルが少ないかもしれません。
本格的にスズコを採られる方は、藪の中に入っても大丈夫な服装・軍手のご用意を。
また、タケノコの皮剥きに小さめのナイフがあると便利です。

氷ノ山国際スキー場からの林道は落石で通行止めようです。
横行溪谷から行くのがよさそうです。

私は、金曜夕方に職場から直接氷ノ山へ向かうつもりでいます。
何か連絡が有る場合は、木曜の夜までをお願いします。
土曜日の早朝は、天気と相談しながらどこかの森をぶらぶらして、10時前に大段ヶ平にいる予定です。

東様

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008年5月27日(火)00時58分53秒

てっちゃん、アウトドア久しぶりですね。子連れのキャンプ、千種のスキー場でばったりの頃以来では。
メンバーが増えて楽しそうです。当日よろしく。

ところで、小生金曜夜遅くに一仕事(泥系ではありません)、深夜神戸発・土曜一日楽しんで夕食後帰神の
予定です。日曜は10時に須磨で用事です。
変則的な参加ですから、付き合ってもらうのが申し訳ない。続きの委細はメールで。

木曜夜にパソコンが壊れて、ようやく復旧。思うように進まずいらしたり、うまくいったらちょっと嬉しかったり。
今週も仕事忙しそうですが土曜を励みにせこせこ片付けます。

氷ノ山、是非参加させてください

投稿者：東 哲也 投稿日：2008年5月26日(月)23時18分4秒

山本先輩、氷ノ山キャンプ是非参加させてください。
ただ、日曜日はお昼から用事が有るので、朝一に帰ります。
構いませんか？

各自泊まりの用意はokです。
キャンプ道具もソコソコ有りますので、
椅子とかテーブルとか、ランタン、ガスコンロ等必要な物が有れば連絡ください。
車の屋根に積んで行きます。

大森先輩へ

日曜日に早く帰られるのであれば、土曜日に相乗りで行きませんか？
近くなので、送迎します。
もし宜しければ、是非！！

三浦 雄一郎 エベレスト登頂

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2008 年 5 月 26 日(月)12 時 33 分 59 秒

5 月 2 6 日。現地時間 7 時 30 分。日本時間 10 時 48 分。

詳細は以下

<http://www.qomolangma2008-kddi.com>

国宝見学

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 5 月 25 日(日)22 時 20 分 33 秒

この週末は、妻と奈良で沢山の国宝を見てきました。

土曜日は息子の大学の案内で平等院へ。

雲に乗った雲中菩薩はみんな楽しそう。雲海の山頂にいる気分かな。

夜は息子の下宿泊、主は学会で東京へ行っていて留守。

日曜日は市役所の無料レンタサイクルで、興福寺へ。

阿修羅像の眉間のしわに現代の病んだ高校生を重ね合わせ、龍燈鬼立像の短足な邪鬼に妙に親近感を覚えたり、外来種のミシシッピーアカミミガメに占拠された猿沢の池に興ざめしたり。

最後は平城京跡へ。広々した向こうに朱雀門、彼方に若草山。

7 1 0 年ナント綺麗な平城京！でした。

スズコキャンプ。現在連絡をいただいているのは、大森さん、浪川さん、塩崎さん、森本さん、広瀬さん、の 5 名です。

大段ヶ平に 1 0 時集合ということで。今年は、近場タケノコの成長が早く 2 週間ほど時期がずれているようです。どうなるかは行ってからの楽しみということでよろしくお願いします。

3 1 日夕食と 1 日朝食は適当に用意します。昼食と泊まり用品、食器等各自ご用意ください。

大段ヶ平へは、氷ノ山国際スキー場から行くのが一般的なようですが、大屋町の横行溪谷から行く方が早いと思います。ただ、横行林道は雪崩や台風でよく崩れて通行止めになっていることがあります。

下見には行けていませんが、ネットで見える限りは今のところ大丈夫そうです。

もし通行止めになっていたら、加保坂経由で 9 号線に入り、関宮町の出合川の林道をつめて上の林道に合流するほうが氷ノ山国際スキー場経由より近道です。

ズスコキャンプ 参加

投稿者：森本 投稿日：2008 年 5 月 25 日(日)10 時 46 分 10 秒

恵昭さん 山菜で一杯、氷ノ山にも登る予定 よろしく願います

参加します

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 5 月 25 日(日)10 時 31 分 22 秒

山本兄、何年ぶりかのキャンプ、今から楽しみです。

山菜、いいですね。氷ノ山は数年前の 6 月に家内と登りましたが、
雨で視界殆ど無しでした。今回は晴れますように。

何かとお世話に成りますが宜しく。

Re: ズスコキャンプ

投稿者：塩崎将美 投稿日：2008 年 5 月 24 日(土)06 時 48 分 54 秒

> [No.423\[元記事へ\]](#)

山本 恵昭さん

私もズスコキャンプに参加させていただきます。

根曲がり竹は食べた事がありますが自分で採った事はありません。

楽しみです。

剣岳 映画化されます

投稿者：鈴木頼正 投稿日：2008 年 5 月 23 日(金)18 時 25 分 36 秒

新田次郎原作剣岳点の記、日本地図完成のために、明治 40 年前人未踏の霊峰に挑む作品が来年 2009 年初夏全国ロードショウで上映されます。、長次郎が案内する剣岳はきっと素晴らしく、懐かしい感じがすることでしょう、期待しています。

Re: ズスコキャンプ

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008 年 5 月 22 日(木)21 時 12 分 43 秒

> [No.423\[元記事へ\]](#)

山本様

ズスコキャンプ、参加します。 大森

ズスコキャンプ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 5 月 22 日(木)20 時 16 分 16 秒

5/31（土）、6/1（日）で氷ノ山にズスコ（根曲がり竹タケノコ）採りに行きませんか。小さいけれど、あくが無くても美味しいですよ。うまくいけばゴミなど、他の山菜も手に入るかも！

31日（土）10 時頃氷ノ山の大段が平に集合。周辺でズスコ採り、気が向けば氷ノ山登山。
その後、横行溪谷の林道分岐広場か大久保の親水公園で山菜料理？など、車中泊 or キャンプ。

1 日、時間に余裕のある方は、氷ノ山登山か横行溪谷で山菜採りしながら帰路に。

私は例によって金曜夜発で、土曜の早朝、森の徘徊予定です。

参加される方は、掲示板などでご連絡ください。

白山新緑徘徊

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 5 月 19 日(月)19 時 55 分 4 秒

関学の麻植様、ファイントラックの金山社長、橋本取締役、テレマークスキーグループの方々、とても楽しく遊ばせていただき、有難うございました。本当にお世話になりました。

結局 2188m 東面台地までしか辿り着きませんでしたが、上部は快適スキー、下部は巨木の森。岩魚に遊ばれ、ピリ辛の行者ニンニクをかじりながら新緑の森の徘徊はスキーシーズンとはまた違った魅力がありました。帰りの温泉で、昨年 5 月に真砂沢乗越で会話をし真砂沢の出合で我々がツエルト泊していた近くで雪洞泊されていたことが判明し、驚きました。

また、紅一点参加の藤田さんは、甲南大理学部地学の藤田教授のお嬢様とのこと。
世の中狭いものですね。

5 月の終わりか 6 月の初め頃に、県北の山に根曲がり竹のタケノコ採りキャンプに行こうかと思っています。まだ詳しい日程は決まっていますが、一緒に行かれる方はおられますか。

白山東面台地

投稿者：浪川純吉 投稿日：2008 年 5 月 19 日(月)11 時 40 分 46 秒

17・18 日関学の麻植様のお誘いで森本さん山本君と白山東面に白水湖から台地に上がり白山頂上をスキーで登る予定で行きましたが、残念ながら板を担いでのプッシュ漕ぎで時間を取られ、頂上まで行けませんでした。山スキーでは 2 週間ほど遅く、匂を外れてました。今回麻植様とファイントラックの金山社長様ほかグループの皆様方に非常にお世話になり有難う御座いました。今度は山スキーが匂の時に是非白山東面台地に行って見たいです。

白山東面へ

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 5 月 17 日(土)00 時 08 分 33 秒

明日の朝から、カンさん浪川さんと白山東面に向かいます。明日、白水湖から登って御前峰ピストン。下のほうはもう雪がなくなっているかもしれませんが、一応スキーを持っています。

慰霊祭・茂木さんからの御礼

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 5 月 14 日(水)21 時 11 分 46 秒

故茂木光隆さん（昭和 18 年旧制理科卒）の奥様佐緒子さんから下記のような御礼のお便りありました。誰かが送ってくれた写真の纏めを大変喜んでおられます。何よりでした。

「4 月 20 日の慰霊祭は息子が突然参加させていただき有難うございました。私も 2、3 日いてから、主人が『お気に入り』に入れてあった甲南山岳部のホームページを見て、息子が写っているのを見て安心いたしました。やはり私にはとても行けないところのようです。

お送りいただきました数々の場面をまとめて下さったお写真も、息子が持ってまいりましたので、早速主人の仏前に飾りました。

お心使い嬉しく感謝いたしております。不順な気候が続いておりますが、何卒お元気で、まだまだ山へいらして下さいませ。」

剣、乗鞍スキー登山など

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年5月10日(土)13時54分3秒

名ガイド；川野兄に頼って、雪の剣に登ってみたい気にもかられますが、所詮無理でしょう。
ただ、甲南ACの老若男女こぞっての北ア登山等もイイナア、これ提案です。張り切ってた
今日の西六甲谷歩きは中止、諸兄の掲示を楽しんでいます。
乗鞍の山スキー、これはやってみたいです。山嶽寮、ヒロ松下に今年は
依頼してみてくださいね。

山嶽寮原稿のお願い

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008年5月10日(土)12時04分50秒

◎ 山嶽寮の準備にかかっています。原稿をお寄せください。

原稿の締め切りは6月末。

(一部5月末とお願いした方々も一月余裕を見ますので、ぜひご寄稿ください)

毎年おなじみの方も、ワシもいっちょ書いてみようかという方も、原稿お待ちしております。

ワープロ原稿の方、お知らせいただいたら、印刷原稿のゲージをお送りします。B5二段組で印刷イメージ
がつかめます。(写真の配置を確認できます)

ゲージなんか要らん、適当にまとめてくれという方は、手書きでもワープロファイルでも。

営業一本釣り

○ 東さま。

乗鞍のんびり山スキー、原稿にしましょ。札幌時代、仕事帰りに競技スキーのトレーニングを続けていたあなたですから、ゆとりで滑ったでしょう。え、山スキーは勝手が違うって。その辺のハナシでひとつ原稿をよろしく。

○ 山本さま。

県北山菜ツアーは5月中ですか。でしたら6月の締め切りには間に合います。自分で書くのは・・・、ということなら、主催者権限でツアー参加者に強くお勧めください。

○ 川野さま。

ガスの中の剣登頂記はこの掲示板から原稿にさせていただきます。記録写真、ご同行の転倒シーンはたぶん使いませんが、その他の勇姿は取り入れたいと思います。

Re: 写真のUP

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008年5月10日(土)09時07分52秒

> [No.413\[元記事へ\]](#)

塩崎さん

いつもお手数をおかけしています。有難うございました。

そろそろ山スキーシーズン終盤。どこかへもう一回くらい行きたいです。
県北の山は、山菜シーズンです。雪山も良いですが、山菜採りをして焚き火キャンプなんていうのも良いですね。

乗鞍岳に行ってきた。

投稿者：東 投稿日：2008 年 5 月 9 日(金)23 時 56 分 2 秒

川野先輩、山本先輩。
ゴールデンウィークの後半は乗鞍岳に山スキーに行ってきた。
剣岳や白馬主稜とは全く違った、のんびり山行です。
しかし、山スキー初心者の私には結構大変で、
山頂手前では、スキーを脱ぐか、このまま登るかで結構逡巡してしまいました。
何とか山頂までシールで登り、次の問題はドロップイン。
初心者にはやはり斜面に滑り込む瞬間は怖かったです…。

少しずつ、山の感覚を取り戻して行きます。
是非、お誘いください。

いつもありがとうございます

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 5 月 9 日(金)20 時 07 分 35 秒

・塩崎さん！
写真UPありがとうございます。

・廣瀬さん
来年の5月は剣岳に登りませんか？雪のたくさんある山はいいですね。甲南ACの皆さんで頂上を目指しましょう！好天で状態が良ければ最高ですよ！

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 5 月 8 日(木)07 時 11 分 3 秒

川野君と山本恵昭君から写真が届きました。
アルバムにUPしました。

私は連休前から昨日まで新緑の大山の小屋に籠ってました。
山菜を摘んだり畑を耕したり薪割りに汗をながしたりと楽しんできました。
毎日グングン伸びるアスパラを畑からキッチンに直行しそのまま軽くバター炒め、他では味合えぬ最高の味でした。
家族で弁当持って船通山(1,143m)へカタクリの花を見に登ってきました。
<http://www.geocities.jp/biotop21/sentsu.htm>

川野君/山本君

自宅を長く離れていた為、届いた写真の掲載が遅れ写真の鮮度を落とし申し訳ない。

主稜・白馬沢左保

投稿者 : DONNK I C H I 投稿日 : 2008 年 5 月 6 日(火)13 時 21 分 28 秒

山本君もちろん早川さんです。多分君達が追い抜いた 2 人組の後ろパーティだと思います、猿倉から主稜・白馬沢左保を滑降 6 時間半で猿倉に戻ってきてます。世の中には凄い人がいるもんです。

諸兄の活動拝見中、結構です

投稿者 : 廣瀬健三 投稿日 : 2008 年 5 月 6 日(火)10 時 01 分 16 秒

70 歳からみると、50 歳は凄く若い。でもその年の頃、川野／山本兄のような連続登攀、アイゼンを付けての岩など

とてもとても。 ""御同輩、そうだよネ。""この週末に西六甲の有野川沿いを歩いてきます。(JAC 関西支部の山歩き)

その昔""六甲アルプス""と呼ばれた付近？大変楽しみです。今日は、今から市民コート行きです。

(近い、安い、年金生活者向き。)

鵜の木の手、気になってました。一応安心なり。

遍路と鵜木君

投稿者 : kannroku 投稿日 : 2008 年 5 月 6 日(火)03 時 31 分 30 秒

4 月 27 日から 5 月 4 日まで四国 88 箇所区切り遍路結願目指しましたが、時間切れで 80 番札所香川高松市国分寺にて今回は打ち切りとなる。番外として石鎚山も寄ってきたが、ここだけはゴンドラをつかわせてもらった。天候に恵まれ愛媛 60 番横峰時～番外石鎚山～65 番三角寺～香川 66 番雲辺寺～67 番大興寺～68 番神恵寺～69 番観音寺～70 番本山寺～71 番弥谷寺～72 番曼荼羅寺～73 番出釈迦寺～74 番甲山寺～75 番善通寺～76 番金倉寺～77 番道隆寺～78 番郷照寺～79 番高照院～80 番国分寺と 17 札所周って来ました。今年中には、残り 8 札所を周る機会を持ちたいものだと。

帰り岡山により鵜木君を訪ねる。名前忘れていたらショックだなと思いながら訪ねたが、危惧であった。食堂でテレビを見ている鵜木の後姿を見つけ、おもわず『うき』『オーカンロク』と。それから取りとめもないこと 2 時間ばかり馬鹿話をするが、時たまピントはずれな事言うこともあるが、よその人が聞いたら普通の会話と思うだろうし、僕も昔の鵜木と思い、何ほけたこと言ってるんやと嗜めたりするだけで、会話の腰を折ることもなく楽しい語らいをした。特老施設と言う環境の中だけに、まだこの中で一生終わるには早い気がした。また来月位に来るからな、その時は外で飯でも食べようかと約束をして分かれる。遍路で歩くのが気にならず、JR 赤穂線大多羅駅～鵜木いる特老アミーゴ西大寺～JR 西大寺駅まで 1 時間半程歩く。毎日 6 時ごろから 16 時ごろまで歩いての生活の慣れに驚く。帰りは年金生活を考え、西大寺から普通電車で大津まで車窓を楽しみながら 4 時間ののんびりとした時を過ごす。

Re: 白馬沢左保

投稿者 : 山本 恵昭 投稿日 : 2008 年 5 月 6 日(火)00 時 32 分 57 秒

> [No.408\[元記事へ\]](#)

浪川さんがおっしゃているのは、早川さん達のことでしょうか。

たぶん、朝に我々が追い越した二人パーティの後に登ってこられたのではないのでしょうか。

時間的に言って、山頂で出会っていたかもしれませんが、あまりに沢山のスキーヤーが居たので気づきませんでした。

写真のシャッターを押してもらった人がそうかもしれません。なんとなく山慣れた人でした。

大雪渓はもちろん、杓子岳の長走沢にもスキーヤーが結構居ました。なかには、プラスチック製の団扇のお化けみたいなものをハーネスにぶら下げて、尻制動している人が居ました。なかなか快適そうでした。

白馬沢左侯

投稿者 : **DONNK I C H I** 投稿日 : 2008 年 5 月 5 日(月)21 時 34 分 43 秒

山本君 白馬主稜・双子尾根の連続登攀ご苦労さまでした。P 2492 から頂上の間でスキーを担いだ 2 人組に会いませんでしたか？彼等は頂上から白馬沢左侯を滑降してます。山本君羨ましいかったのでは、金沢の超人 2 人組でした。

連休終了

投稿者 : **川野幸彦** 投稿日 : 2008 年 5 月 5 日(月)17 時 08 分 19 秒

・山本少年

白馬主稜！お疲れ様でした。好天で何よりでした。

先程、東京に戻ってきました。連休も終了です。明後日から仕事。切り換えが大変です。次の長期休暇は夏休みです。何処に行こうかなあ？と考えています。北京オリンピックもありますし山どころでは無いかも知れませんね。

白馬主稜

投稿者 : **山本 恵昭** 投稿日 : 2008 年 5 月 5 日(月)09 時 02 分 50 秒

昨日、白馬から下山し、今朝帰って来ました。2 日間とも、晴天で暑かったです。

3 日に猿倉駐車場から白馬主稜の P 2492 迄上がってテント泊。

4 日は難なく白馬山頂まで抜けて、大雪渓を白馬尻まで下山。スキーヤーが羨ましい。

あっけなく、これで終了かと思いきや、もったいないのでもう一本と言うことに。

泊まり荷物をデポし、杓子岳双子尾根をピストン。天気も下降線なので、そのまま猿倉の駐車場まで下山しました。

主稜は順調でしたが、双子尾根は登りでは息が切れ、下りでは膝に痛みが出てきました。私も、今年誕生日が来れば 50 歳、歳ですね。

一緒に行った神戸大 O B の矢崎君は 33 歳、ちょうど私とカンさんのとの年の差くらいです。カンさんの「ここで待っとくから、登っておいで」と言う言葉を何度も思い出しました。

有難うございました。

投稿者：柏 敏明 投稿日：2008 年 5 月 4 日(日)19 時 21 分 11 秒

そうでした。すっかり忘れていました。春山合宿だけは参加しないという条件で山岳部に入部・在籍していました。1 年の夏の知床・利尻偵察に参加しておきながら、家との約束で本番の利尻春山合宿に参加出来ず、しょんぼりしていた時に声を掛けて頂いたのですね。有難うございました。越田さんと一緒なら安全だろうと家も行かせてくれたのだと思います。小生は現役時代、一回も春山合宿に参加していません。皆さんにご迷惑を掛けたり、色々な事情があったとは言え、家との約束をよくぞ守っていたと思います。

Re: 遠見尾根

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 5 月 4 日(日)17 時 37 分 2 秒

> [No.403\[元記事へ\]](#)

柏へ

小生との遠見行をすっかり忘れていたとは何たること！！

地蔵の頭にスキーをデポ。あとはずっとアイゼンで、遠見小屋から五竜頂上まで 5 時間と楽勝だった故、さしたる印象も残さなかったんでしょう。

まあええけど、貴君現役で春山合宿に参加できずにしょんぼりしていたのを、せめて遠見尾根ぐらいはといって、連れ出したのですぞ。

遠見尾根

投稿者：柏 敏明 投稿日：2008 年 5 月 2 日(金)22 時 27 分 0 秒

バブさん、センキチさんと半世紀振りの遠見に行かれた由。思いもよらず、4 5 年前の話が出てきましたので、早速、当時の山日記を引っ張り出しました。越田さん、ありました。遠見に行っていました。小生はすっかり忘れていました。

1 9 6 3 年の山日記より

3 月 2 0 日（水）

神前に会う。ちくまにて遠見尾根出発 with 越田

3 月 2 1 日（木）快晴

神城下川宅—遠見小屋—小遠見

3 月 2 2 日（金）快晴

遠見小屋＝小遠見＝大遠見＝白岳—五竜

3 月 2 3 日（土）晴

遠見小屋—小遠見—スキー—遠見小屋—スキー—神城スキー場—下川宅

3 月 2 4 日（日）曇

下川宅—松本—神戸

川野君の様にきっちりとした記録もなく、タイムもありません。感想もない素っ気ない記録のみでした。しかし、ちゃんとスキーを持っていますね。

ちなみに前の週の17日（日）には、越田さんと二人で芦屋ロックガーデンに行き、19日（火）は、横山来宅、ハイライトへ。イカワ、長谷川スポーツ、スターポスター貼りとありますが、何のポスターを貼りに行ったのか記憶にありません。神前君、横山君二人共、もう、いないんですね。

余談ですが

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年5月2日(金)07時35分47秒

甲南高時代、全日本のトップクラスのテニスプレイヤーだったS兄が昔に経営していたクラブでプロに成りたての伊達公子が、男子相手にハードな練習に励んでいた由。此の時のヒッティング パートナーの一人に先月、少し教えて貰いました。――伊達選手は男子並みに打球に対する反応が素早かった、この点、女子の中ではずば抜けてたと。――S兄は亡きKAC 福永コブク兄と親しかった仁（現在、コブクの御子息が彼の会社に勤務中）娘ほどの相手に立ち向かっている当選手を、只今応援してる次第です。登山と関係なき事で済みません。

連休（小生にはピンときませんが）

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年5月2日(金)06時46分39秒

剣、白馬主稜線、遠見尾根、元気な中高年組、いいですね。当方、恥ずかし乍ら、4/27日、地元の猪名川源流近くの600m程の低山を地図と磁石を手に登って来ました。同じ池田市在住の同行のJACの人は、凄く緻密な方で、久しぶりに地図とにらめっこ、楽しかったです。（テニスばかりでは、せっかくハリコンデ買った山靴が泣くので、今月はもう少し高いところの登りたく思ってます。）
ps：先般の総会で、我がKACにもテニスをやっている人が居る事判明、嬉しかった。又誘いますので、宜しくね。此の掲示みてはる？

連休・遠見尾根

投稿者：越田和男 投稿日：2008年5月1日(木)23時54分33秒

剣に登った浪川・川野組の真似はとても出来ないけど、一昨日は好天に恵まれ、地蔵の頭から小遠見まで登って来ました。小生サラリーマン2年生の3月に、現役の柏君と2人で遠見小屋から五龍を往復して以来45年ぶりでした。遠見へ登ってカクネ里を覗いて見たいとの希望に付き合ってくれた同行のバブさんもセンキチもそれぞれ約50年ぶりとかで、中遠見、大遠見、白岳と続く稜線の何と遠いこと。五龍東面の何とりっぱなこと。

連休でもここまで登ってくる人は少なく、出遭ったのは単独行2人、2人組み二組のみで静かそのもの。かって甲南の先輩方が活躍されたカクネ里、鹿島の北壁をじっくり眺めて来ました。下りでは、ちょっとした雪稜でも緊張。地蔵の頭まで下りて来てやっと乾杯。とても剣には行けないです。

こんなささやかな山行きでも、ゴンドラが動き、麓の山荘に飯田シェフが待っててくれるからこそ出来たことです。改めて御礼申し上げます。

Re: 連休

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008 年 5 月 1 日(木)22 時 33 分 33 秒

> [No.398\[元記事へ\]](#)

川野さま

岩登りの予定メンバーに入れてもらってどうも。

トップは東に頼んで私は確保に回ります。歯を喰いしばらないルートでよろしく。

懸垂下降、おニューのザイルで、ちょっともったいない気もしますが、お励みください。

ザイルといえば。

この間の慰霊祭の帰りに、蓬萊峡に行ってみました。

会計山本が別パーティのトレーニング中で、冷やかに。

ついでに私も小屏風を 1 本登らせてもらいました。このルートはセカンドの確保訓練によく使ったところですよ。

で、いつものハナシになります。

ある日の練習中、仕上げに落ち役が「ため」をちょっと多めにとって落ちたら「あっちっ」と叫んでザイル離れた人物が居ました。サブで確保していた私もあせりましたが、落ち役の泉（納富）はもっとあせったことでしょう。

連休は山には行かず、古いバイクの手入れをします。亡くなった藪内とよくツーリングに行ったオフロードです。20 年を越えると部品に欠品が多いので大きな修理は出来ません。バイクの歳より若い長女が「乗ってみようか」というので、少しきれいにしてみます。

神戸は今つつじの花盛りです。

連休

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 5 月 1 日(木)19 時 51 分 43 秒

・山本少年

明日から白馬主稜ですか。気を付けてお出掛け下さい。天気も良さそうです。楽しんで下さいね。今度は大森さん・八木君・東君を誘いどこか岩登りに行きたいですね。剣のVI峰やチンネがいいですね。

1 2 連休を楽しんでいます。ここぞとばかり休暇をフル活用です。今日は善光寺に行ってきました。観光客で一杯でした。そばが美味しかったです。明日は裏山でランニングです。ついでに昨日買ったザイルと A T C で懸垂下降の練習します。皆さんも連休を楽しんで下さい。ところで松本ではガソリンは 1 6 0 ～ 1 6 5 円／L です。高いですね！

Re: 剣岳

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 5 月 1 日(木)08 時 20 分 46 秒

> [No.392\[元記事へ\]](#)

川野君、浪川さん、無事に下山でなによりです。12 時間行動など、元気ですね。
こっちは天気が良かったのですが、山の上は結構天気が悪かったのですね。
私は、明日の夜発で白馬主稜へ向かいます。
お互いに、元気で楽しく山にいけることは幸せです。

剣岳

投稿者：浪川 投稿日：2008 年 4 月 29 日(火)22 時 55 分 12 秒

43 年ぶりに積雪期の剣岳の頂上に立つことが出来ました。残念ながら平蔵谷・弥陀ヶ原の滑降が出来ず（本人のレベルのせい）、大森君のお世話にもならず、無事 1 日遅れで帰宅しました。5 月にしては近年に無い悪天候のなか頂上に立てたのは川野君の名ガイドのお陰です。川野君ありがとう、大森君心配かけました。

Re: お礼！

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008 年 4 月 29 日(火)21 時 22 分 39 秒

> [No.391\[元記事へ\]](#)

川野様

お疲れ様です。ここしばらく残念続きの剣、頂上おめでとうございます。
天気がもっとよかったら、とか、ほどほどにトレースがあったら、とか、思うことはいくつかありそうですが。
ともあれ、私の出番がなくて何よりです。
たぶん無事下山をあなたのご家族の次くらいに、ほっとしてます。

追加

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 4 月 29 日(火)09 時 01 分 23 秒

筋肉痛です。今日は寝て過ごします。

・今年の剣岳の状況

例年より“春”が遅れているようです。まあ、数日好天が続くと春に戻ると思いますが。我々が登った時は稜線は 3 月のようでした。寒気が入りクラストしてました。

・登山技術

当初単独で登る予定でしたが、独りなら途中で引き返していたかも知れません。トレースのない雪面、アイゼンを着けての岩登りは結構緊張しました。ルートはカニの縦這いを登りましたが、横這いの方が数段易しいです。登りも降りもこっちならザイルは不要でしょう。

・ガイド登山

これの数が多いのには驚きでした。以前のように大学山岳部や社会人山岳会は殆ど見かけませんでした。まあ、休みの続く連休後半には増えるかも知れませんが。ガイドの実力は相当なものだと思われます。コンテで初心者連れて悪場に行くのは余程の自信がないと無理でしょう。実力の全く分らないおっちゃんやおば

ちゃんを連れて行くのは私に出来ません。

来年は単独で別山尾根から岳を目指したいですね。

剣岳報告訂正

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 4 月 29 日(火)08 時 13 分 55 秒

4 / 2 8 の出発時間が剣山荘 4 : 2 0 です。1 時間ズレてました。よって行動時間も 1 2 時間です。

剣岳

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 4 月 29 日(火)04 時 04 分 37 秒

昨日、剣岳から戻りました。浪川さん色々ありがとうございました。以下、報告です。

・ 4 / 2 6 (土) 曇り→吹雪 室堂⇒剣山荘

扇沢 6 : 3 0 発のトローバスで室堂まで。県警に立ち寄り計画書提出。浪川さんと合流。6 8 0 円の立山そばを食べてから出発。連休初日で大混雑を予想していたが思ったより観光客は少なかった。長期の休みが取れないためか？剣御前までは 3 P 弱。私はツボ足。浪川さんはスキーで登った。登山客は少なく大半がスキーヤーだ。御前の手前より吹雪になり最悪。天気は下り坂に向っている。剣山荘まではガスの中、ポールを目印に進んだ。浪川さんはスキーでみるみる間に見えなくなった。独り寂しく小屋を目指す。剣山荘は一昨年の豪雪による崩壊で新しく建て直されていた。部屋も布団も新品で快適。トイレも水洗だった。夏山用のシャワー部屋まである。一泊 2 食で 9 0 0 0 円。小屋には我々以外にガイド連れの 3 人パーティがいた。彼らは明日スキーで長次郎谷を滑るらしい。

・ 4 / 2 7 (日) 吹雪→曇り→吹雪 剣山荘⇔平蔵谷出合

別山尾根から剣を目指す予定があいにくの吹雪。朝食後天気の回復を待っていたら、9 時前に視界が利きだした。早速、平蔵谷目指して出発。浪川さんはスキーですっ飛んでいった。私はツボ足でゆっくり下る。2 0 分ほどで平蔵谷出合。今年はデブリが多いようで谷の上部 2 / 3 まで埋まっていた。3 0 分ほど登り偵察。気温も上がり、前剣東尾根からのブロックが不気味で引き返した。出合まで戻り、浪川さんは近藤岩目指して滑っていった。私は独り寂しく小屋に戻る。所々、ポコッともぐる雪に苦労した。途中、浪川さんに追い抜かれた。バテバテ。昼過ぎより再び吹雪となった。小屋に戻ると更にガイドパーティが 2 組増えていた。女性を含む 6 人と 3 人のパーティでどちらも源次郎尾根に向う予定。ガイド以外はともかく初心者である。時代は変わった。我々以外は全てガイド隊である。

・ 4 / 2 8 (月) 吹雪→曇り→快晴 剣山荘 3:20⇒平蔵谷⇒剣岳頂上 8:50⇒平蔵谷⇒剣山荘 12:40⇒御前小屋 14:40⇒室堂 16:10

3:00 に起床。別山尾根に登る予定が吹雪なので平蔵谷経由に変更した。今シーズンはまだ別山尾根はトレースがなくラッセルが予想され時間が掛かりそうなので止めた。真っ暗な中、ヘッドランとアイゼンを着け出発。ガイド隊は我々より 1 時間以上前に出ていった。平蔵谷は氷っていて順調に高度を稼いだ。遥か前方にはガイド隊が見える。彼らは源次郎尾根の末端から取り付くのを諦め、側壁から登るようだ。我々も後を追った。時折晴れ間も見えるが谷の上部はガスがよく見えない。平蔵のコルを目指したが、ガスのため源次郎尾根側に寄り過ぎ戻る。ガイド隊は源次郎Ⅱ峰の先に直接突き上げるルンゼに登ったようだ。急な斜面をトラバースしてやっとこさ平蔵のコルに達した。カニの縦這いを登る。しっかりと鎖が付いているが、鎖の表面が

氷り、手袋が滑るのには参った。また久しぶりのアイゼンを着けての岩登りがシビアで緊張した。この後は頂上まで尾根通しである。27年ぶりの剣のテッペン。残念ながらガスで周りの景色は殆ど見えなかった。祠は埋まり何処にあるのか分からない。また頂上は思ったより狭く感じた。記念写真と黙祷後直ちに下る。帰りはザイルを出し、早月から来た先行パーティ（ガイド連れ）に導かれ、カニの横這いを下った。ここも結構シビアであったがカニの縦這いよりは易しい。上りもこっちにすれば良かった。鎖や梯子を慎重に降り平蔵のコルからはシリコもまじえ快適。剣山荘の登り返しでバテバテ。荷物を回収して室堂を目指す。この頃より晴れ出し剣が美しい。御前で浪川さんと別れ、雷鳥沢をシリコで下りやっこさ室堂へ到着。16:30の扇沢行きの最終に何とか間に合った。本日13時間行動。疲れた！

お礼！

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008年4月29日(火)02時48分6秒

福田さん・井上さん

御無沙汰しております。“山岳保険証”受け取りました。毎年、ありがとうございます。それから、井上さんには御丁寧に郵送して頂き申し訳ありません。重ねてお礼の申し上げます。今年も保険を使わないように安全登山に努めます。

大森さん・山本少年

昨日、無事に下山しました。色々ありがとうございました。また、どこかに出掛けましょう！

おじさん5月合宿

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008年4月27日(日)22時54分53秒

エヌ川様・川野様

今頃は御前小屋の布団の中ですか。今日の剣はどうでしたか。

明日も安全行動をぜひ。

“事故の際に救助する人”は書類上ということでよろしく。

Re: あ！さくらの会

投稿者：マンタ 投稿日：2008年4月27日(日)07時12分26秒

> [No.349\[元記事へ\]](#)

村田へ 先日はお世話になりました。会費の件振込先連絡ください。

また何かあったら集合かけてください。ゲタさんの還暦記念品のこと等計画遂行したいです。いつかある日。

井上正憲さんの事

投稿者：越田和男 投稿日：2008年4月25日(金)17時59分57秒

先日の山岳会総会で渡された資料で井上さんの訃報に接しました。多分ご存知の方は少なからうと思いますので、慰霊祭でも若干話しましたが、小生の知る範囲を下記いたします。

確か田口二郎さんの少しあと位の年輩で渾名はイノキン。高校在学時にご家族の満州への転居に伴い転校されました。戦後引き上げ後はずっと富山にお住まいでした。

一度20数年前、東京の甲南山岳会の集まりに出てこられ、何十年ぶりかで古い方々と感激的に再開され、旧交を温めて居られたのを思い出します。田口さんの涙の出るような名スピーチも印象的でした。恰幅の良いお元気な方で、雨飾山へ信濃森上から歩いて行かれたことなど話されていました。

部報の創刊号や第2号の随所にお名前が見られ、錫杖の烏帽子岩初登攀のパーティに参加され、写真付きで記録をを公表されています。

なお、小生はその時お目にかかりませんでしたが、昭和32年の剣岳での遭難事故の折、陣中見舞いに駆けつけられたことがあったそうです。

これで昭和一桁ご卒業の先輩が全て亡くなられたことになります。寂しき限りです。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

剣岳

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008年4月25日(金)12時57分42秒

大森さん・山本少年

明日から予定通り、浪川さんと剣岳に出掛けます。よろしくお願いします。

・日程

4/26(土) 室堂⇒剣山荘

4/27(日) ⇒別山尾根⇒剣岳⇒平蔵谷下降(浪川さんはスキー滑降)⇒剣御前小屋

4/28(月) ⇒①奥大日岳 or ②立山三山⇒室堂(浪川さんは弥陀ヶ原までスキー滑降)

4/29(火) 予備日

*ザイル40m ツェルト持参

慰霊祭

投稿者：茂木源人 投稿日：2008年4月24日(木)23時53分6秒

このたびは突然の参加だったにもかかわらず、格別のご配慮をいただきありがとうございました。このサイトに写真が掲載されていると母から聞き、早速拝見させていただいた次第です。当日は皆さんの和気藹々とした雰囲気に対し、父もさぞかし居心地がよかったんだろうと思うと、何かとてもうれしくなりました。本当にありがとうございました！

谷君、就活で東京に来る機会があったらいつでも連絡してください。どうかメシでも食いに行きましょう！

総会 慰霊祭

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年4月24日(木)10時06分10秒

お世話になりました。めったに逢えない方達にも会えて、よかったです。次回から自己紹介有ればイイナ(時間足らぬ?)。慰霊祭では茂木先輩の御令息の参加もあり、キッ茂木さんも喜んでおられましよう。あらためて御冥福をお祈りします。

便利な世の中、その日の内に写真がメールされて来る、どれくらいの手間/時間で操作されるのかナア、ともあれ有難う。当方は未だバカカメ愛用者にて進歩なしです。

HPのUP

投稿者：管理人 投稿日：2008年4月22日(火)07時11分20秒

大森君が送ってきた写真をアルバムにUPしました。

総会 慰霊祭

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008年4月22日(火)00時05分28秒

土日の総会・慰霊祭、幹事の皆さんご出席の皆さん、いろいろとありがとうございました。
当日の写真を先ほど塩崎マスターにお送りしましたので、またアルバムをご覧ください。

総会では大学顧問の西川先生に初めてお目にかかりました。久しぶりに出てこられた方もおいででしたし、谷君のチベット報告も興味深くて時間があっという間に経ちました。

慰霊祭は去年とは打って変わって快晴。集合写真は何の話題ででしょうか皆さん笑顔でいい感じです。

またにぎやかに集まる機会を楽しみにしています。

つるぎ岳

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年4月19日(土)07時34分29秒

映画「剣岳 点の記」のHPを見てると、はちみね（八峰）らしき峰を歩いている動画あり、何回も見直しているも、そうかどうか判然としない。
わかる方あれば、教えてください。剣は矢張り魅力的ですね。
チンネの正面壁の何処かのルートを手8年に、伊藤（収）／比企先輩が開いておられます。これは〃〃〃正面左方カンテ？正面左下カンテ？正面中央チムニー右フェイス？何れも剣の岩場の中で難易度A／B。（A－Eにグレード分けをした、昔の剣の岩場の本を見てます。Aはクライマーとして傑出した人によりのみ許されるヴァリエーションルートと記されてます。

山岳総会

投稿者：柏 敏明 投稿日：2008年4月19日(土)07時02分32秒

本日の山岳総会 欠席で返事をしておりましたが、都合がつかしましたので、出席させていただきます。

幹事の皆々、急な事で申し訳ありませんが、宜しく願い致します。

次回の山行

投稿者：東 投稿日：2008 年 4 月 19 日(土)00 時 49 分 11 秒

川野先輩、是非次回もお誘いください。

ゴールデンウィークの後半は雷鳥沢・剣沢に行くか、
のんびりキャンピングトレーラーを牽いて、温泉めぐりをするか悩んでいるところです。
やはり、山でしょうねえ…。

少しずつでも、山の感覚を取り戻さなくてははいけませんね。

5月登山

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 4 月 17 日(木)12 時 23 分 5 秒

東君、承知しました。また、次の機会にご一緒しましょう！

今週は研修で大阪にいます。カンヅメ研修で嫌になります。

出版の品格

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2008 年 4 月 17 日(木)10 時 29 分 8 秒

どこかで見たような題名「既刊。父の詫び状・向田 邦子」を思わせる
【母への詫び状・新田次郎・藤原ていの娘に生まれて】は、販売促進から、
（新田次郎）の名前を挿入したのでしょうか。
イタリアン・レストランのメニューに、“きつね うどん”とあるような山と溪谷社からの出版。

品格シリーズはまったく読んでませんが、もし悪乗りの極み「出版の品格」なる本が刊行されても、決して買ってはなりません
侵略した側、された側のハザマで、翻弄された、藤原ていさんは、気の毒でした。

流れる星は生きているについて

投稿者：平井吉夫 投稿日：2008 年 4 月 17 日(木)00 時 56 分 0 秒

藤原ていさんの『流れる星は生きている』は私の少年時代に映画化されたこともあり、よく知っています。大陸からの引揚者のご苦労は、身近にそういう人がいっぱいいて、悲惨きわまる体験談が子供心にしみ込んでいるので、わが身のように理解できます。でもその頃の私は、日本人の中国大陸移住が、元の住民の土地を奪って行なわれたことに、思いが至っていませんでした。甲南学園創立者の平生先生は満州移民が国策になった頃から、そういう押し込み強盗のような移民政策に猛反対し、ブラジル移民を推進されました。そのあたりのことは小川アヒルさんの著書に詳しく書かれています。

ちなみに、藤原ていさんの息子の正彦を私は嫌悪しています。「品格ブーム」に火をつけた男で、やはり嫌悪すべき女の垂れ流す品格本もたいそう売っていますが、どういふバカがそんな本を買うのか、私にはさっぱりわからない。品格なんてことを人に説教する奴は、品格のない奴にきまっています。

剣

投稿者：東 哲也 投稿日：2008 年 4 月 16 日(水)00 時 10 分 18 秒

川野先輩、大変ご無沙汰しています。

山本先輩に川野先輩がゴールデンウィークに剣岳に行くから、連絡してみてはと案内して貰いました。

剣岳はとても魅力的なのですが、日程が合いません。

今回は参加できません。是非、次回の山行に同行させてください。

最近はアルプスに年 2 回程行く程度で、山から離れていました。

チャント登るには、少しずつ感覚を取り戻して、傾斜や高度感に馴れてゆかなくてははいけませんね。

それと、装備のレトロ化？もあり、買い替えも必要です。

現役復帰？を目指し、トレーニングに頑張ります。

是非、声を掛けてください!!

(何故か一人暮らしなので、フットワークは良いです…何処でも行きますよ～。)

親子 4 人でモノ書き

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2008 年 4 月 16 日(水)00 時 02 分 57 秒

新田次郎「藤原 寛人」の夫人、藤原ていのベスト・セラーを
ご存知ですか。【流れる星は生きている】中公新書・1976・¥ 720

以前、山での奇跡の生還について調べていた時、たまたま、この本
読んで、(調べる) 気が失せました。

山での遭難、そして、その生還は、結局山に行ったことから起きた。

極論すれば登山したヒトの勝手であります。

反対に、旧満州の新京から、6 歳の正宏・3 歳の正彦・1 歳の咲子と 3 人の
幼な子を抱えて、日本へ生還した道中の出来事―【流れる星は生きている】に語られた、親子 4 人の生還
は、当人が起こしたのでなく、突如攻めこんできた、旧ソ連によって起こされた。

その道中での、悲惨、困難には、涙がでます。

これが山からの生還について書く気の失せた最大の理由であります。

藤原 正彦 【国家の品格】他著作多数

藤原 咲子 【母への詫び状・新田次郎・藤原ていの娘に生まれて】

【父への恋文・新田次郎の娘に生まれて】

藤原 咲子の本は、山と溪谷社からの刊行で、彼女が、新田 次郎の娘だったからでしょうか。

剣岳 点の記 映画化決定

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 4 月 15 日(火)21 時 09 分 37 秒

新田次郎著の「剣岳 点の記」の映画化決定。2009 年ロードショー 詳しくはこちら。

<http://www.tsurugidake.jp/>

六甲学院 山岳部

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 4 月 15 日(火)21 時 05 分 57 秒

六甲の山岳部は阪上先生に始まり終わったと言う感じです。同期の井川、松永君のパタゴニア遠征時が最盛期かもしれません。五百旗頭氏は2年後輩で小柄でしたが、パワーがありました。確か60km競歩大会で2回優勝。同期の寺尾氏と競合していました。寺尾氏はまだ六甲山全縦の現役です。当時の阪上先生はかなり厳しかったですが、学校自体スパルタ教育で部員は普通に受け入れていました。悲しい思い出は30代でエベレスト帰還時に滑落死亡した同期の松田氏。梅里雪山の雪崩で亡くなった井上氏、5、6年後輩で兄貴は同期です。

こんなときの阪上さんは恐ろしいような人でした。

五百旗頭氏は男5人兄弟、すべて六甲で、当時同時期の在学生の3人目の学費は無料でした。親はいぶん助かったらいいと良く話していました。現在、同窓会"伯友会"の会長でもあります。かなりの多忙で会誌などの原稿の催促に苦労しています。

HPのUP

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 4 月 15 日(火)11 時 20 分 12 秒

越田さんから甲南山岳部の歴史の改訂版が届きました。

ホームページの山岳部の歴史にUPしました。

<http://homepage2.nifty.com/konan-alpin/rekishi.html>

追記

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 4 月 14 日(月)17 時 33 分 43 秒

""重い荷物を背負って、一步一步進んで行く登山の経験が、仕事に対する姿勢の原型""と語る、五百旗頭 真氏。氏の著書「米国の日本占領政策」は大きな注目を浴びたらしいです。

六甲学園 山岳部

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 4 月 14 日(月)07 時 51 分 25 秒

大森兄、早速のレスポンス サンキュウ。家内の兄も当山岳部OBです。高2の時、いおきベ氏は中2だったようです。60キロレースでは本人も11番に成った。山岳部は強かった。陸上部は此の手の長距離ではさほど活躍せず、むしろ山岳サッカー部員が頑張った由。

(確か700人以上の参加と聞きました。)

甲南高校でも全校生徒参加のマラソンがありました。我が山岳部は、亡き山下シンシが上位に入ったぐらいで、余りパットしませんでした。

剣岳

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 4 月 13 日(日)22 時 11 分 44 秒

大森さん・山本少年

度々申し訳ありません。浪川さんが参加です。ルートは変わりません。よろしくお願いします。

お礼！

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 4 月 13 日(日)10 時 24 分 29 秒

大森さん・山本少年ありがとうございます。安全第一で無理はしません。悪そうだったら中止します。それからザイルは用意しますね。

今回は独りで登るつもりですが、どなたか御同行される方がいらしたらＯＫです。八木君・東君！いかがですか？

Re: 5月連休登山

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 4 月 13 日(日)09 時 32 分 23 秒

> [No.361\[元記事へ\]](#)

川野君、連絡先の件、ＯＫです。

ただ、29 日 30 日は新入生のオリエンテーション合宿で家に居りません。

去年の 5 月の剣、4 月に雪が沢山積もっていやらしそうでした。

単独でも補助ロープ 6 mm× 2 0 m くらい有ったほうが安心かも。

私は、5 月の連休に白馬主稜に行く予定です。

お互いに、もう結構、高齢の域に仲間入りなので気をつけて楽しみましょう。

廣瀬様

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008 年 4 月 13 日(日)09 時 24 分 13 秒

六甲の出身、大庭君と今井君は昭和 50 年半ばごろの卒業で、仰るとおり当時の仲間です。

大庭君は岡本出身で生物学科。成績優秀だったと思います。今は薬品会社の研究職で徳島にいます。

今井君は学生時代明石市民。現在福岡在住。この間日経に名前が載っていました。成績はたぶん優秀だったんでしょう。

二人ともパワーがありました。どちらもいいお人柄で、これは六甲の校風でしょうか。

川野様

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008 年 4 月 13 日(日)08 時 40 分 39 秒

剣の計画拝見しました。

名前はどうぞお使いください。

私、1 年のときの五月が剣でした。別山尾根から剣に行ったような記憶がありますが定かでは・・・。

平蔵のくだり、時刻的にも上部からのブロックにご注意、なんて釈迦に説法ですね。

いい天気になりますよう。

当方の五月、諸般の事情で神戸にいそうです。

大森

5月連休登山

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008年4月13日(日)04時40分48秒

大森さん・山本少年

ご無沙汰です。この連休は剣岳に行く予定です。富山県警への登山計画書の連絡先に大森さんと山本少年の名前をお借りしたいのですがよろしいでしょうか？勝手なお願いで申し訳ありません。県警には、この時期、5年間で3回ほど登山届を出していますが、今年から形式が変わり“事故の際に救助する人”の欄が追加されています。なお、届出を拒否されたことはありません。計画は以下の通りです。

〔剣岳周辺〕単独

- ・4／26（土）扇沢⇒室堂⇒剣山荘（泊）
- ・4／27（日）⇒別山尾根⇒剣岳⇒平蔵谷下降⇒剣御前小屋（泊）
- ・4／28（月）⇒ ①立山三山めぐり または ②奥大日岳往復 ⇒室堂⇒下山
- ・4／29（火）予備日

山小屋泊まりです。剣山荘は4／22から。御前小屋は4／25から営業開始です。冬山装備。ツエルト持参。食料は非常食も合わせて3食分。ザイルはなしです。26日からの入山を考えていますが、悪天が数日続くようであれば遅らせるつもりです。ルートのポイントはカニの横ばいの登下降です。30年前の5月に30kg以上の荷物を担いでに下降していますが印象なしです。以上です。よろしくお願いします。

皆さん！この連休はどちらにお出掛けですか？なお、今年の北アルプスの積雪は例年並らしいです。

井上先輩へ

投稿者：げて 投稿日：2008年4月13日(日)01時44分5秒

メールを送っていただいた由。

まだ、届かないのですが郵便の事でしょうか？

それとも私がジャンクメールと間違えて、削除してしまったんでしょうか？

日経の昨夕刊記事「明日への話題」

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年4月12日(土)21時59分50秒

「60キロレース」と題した“いおきベ学長”の文、興味深く読みました。六甲学園の体育祭に数回行きましたが、昔の神戸一中（現在の神戸高校）の体育祭と少し似ていると思った記憶が有ります。六甲から甲南大山岳部に入った若手？二人

は大場義郎／今井啓介兄であり、大森／山本／川野兄の時代の後輩達と思いますが。
間違っておれば乞御容赦。

六甲学園

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 4 月 12 日(土)19 時 51 分 42 秒

越田さん

ご無沙汰です。

六甲学園から甲南は、私より 2 期上の大庭さんと同期の今井です。

六甲学園山岳部

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 4 月 12 日(土)11 時 08 分 40 秒

昨日の日経夕刊のコラムに防衛大学校長の五百旗頭さんが母校の山岳部のことを書いておられた。スパルタ教育や、恒例の六甲山麓一周の 60 キロ耐久レースなどで鍛えられたことなど、いい話でした。

六甲の山岳部といえば、高校山岳部の OB 会の昭和 40 年代のパタゴニア氷床横断の快挙を思い出し、優れた環境で鍛え上げられた人たちだったのだなあ、と坂上秀太郎氏の著書を取り出したりしました。山道具のイカワの息子さんが登場したりして。

六甲から甲南の山岳部へは阿部純一さん、福田信三さん、確かもう 1 人か 2 人来られてますね。どうぞこの記事お見逃しのないように。

(無題)

投稿者：大関 和夫 投稿日：2008 年 4 月 9 日(水)13 時 32 分 13 秒

今年の花見会

天気が、良く地続きの、弥生神社の祭りと重なり賑やかになりました。

水渡さん手作り

のスモークチキン評判良くサラダに盛り合わせました。

庭に薪ストーブ

を、設置しました。野外での焚き火には、安全

で快適でした。ノンキ、グリーン

先輩は、変わらずお元気でした。

雨の丹沢

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 4 月 9 日(水)11 時 21 分 57 秒

花見会の翌日、最悪の天気予報にもめげず、平井先生、大橋晋さん、武田ユ-さんと予定の丹沢行きを決行しました。海老名名のホテルを出る頃はまだ晴れ間もあったので、取り敢えず山麓までと車を進め、満開の桜のトンネルをくぐりぬけ、やがて小雨ぱらつくなかをヤビツ峠へ。さらに菩提峠まで来て見ると、なにやら歩く元気が出てきて、雨天武装でまたまた取り敢えず出発と相成った。

二ノ塔にいたる頃、やっぱり降ってきたが、引き返して車の中で食事するよりも、三ノ塔頂上の非難小屋を目指す誘惑に勝てず衆議一決、さらに登る。幸運にもドシャ降りとなったのは非難小屋到着後のこと、赤ワインとコンビニ弁当の昼食は前日の馳走とのバランス丁度良く、雨音を聞きながら、質素ながらも満足納得のいく昼食となった。

小屋を去る頃には雨も止み、平均年齢 70 歳超の一行は歳をわきまえ慎重に下山した。雨雲たなびく丹沢山塊の水墨画を愛でながら、一同、雨の山もええもんやね、との結論でした。
平井先生お疲れの出ませんように。

Re: 花見会

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 4 月 9 日(水)10 時 51 分 29 秒

> [No.297\[元記事へ\]](#)

海老名・大関邸の花見会、大関への感謝の意を込めて報告いたします。

花見日和の日曜の午後、16 名の老老男女が参集。2 時から 7 時過ぎまでの 5 時間超、手馴れた大関の野外セッティングと手料理で大いに飲み、食い、だべりの盛況でした。内外の山の話から女性談義まで、このごろの年寄りは元気です。ただし会社とゴルフの話が皆無なのは、さすが山岳会。

参加者は、遠路関西から平井一正先生と武田会長。JAC の友人では大橋晋、南井、田村、鈴木敬吾（当会特別会員）、国見嬢。当会からはご長老の伊藤文三、福井グリーン両氏をはじめ、米山、平井吉夫、大関、飯田、水渡、森岡、越田の顔ぶれ。また来年も期待。

最後に、あとかたづけに残ってくれた武田ユーさんに感謝。

Re: あ！さくらの会

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 4 月 9 日(水)10 時 26 分 50 秒

> [No.349\[元記事へ\]](#)

[スライドショー](#) 拝見。良くお会いする方、久し振りに顔を拝見する方、ちょっとお顔と名前の一致しない方など、ご多忙の年代の方々がご婦人方も同伴されてこれだけ多数集まったということは、まさに岳友の吸引力だと感じ入りました。

あ！さくらの会

投稿者：げて 投稿日：2008 年 4 月 9 日(水)00 時 10 分 57 秒

ありがとうございました。村田さん……

現役の頃はクールな人だと思ってましたが、これほど「熱い」人だとは思いませんでした。現役の時の合宿計画書と、報告書をセットで保管されていました。

そして朝倉さんへの想いを深く受け留めました。

高校～大学と朝倉さんの写真を探しましたが、1 枚しかありませんでした。

日曜日は、改めて朝倉さんの「人となり」に参加された皆様からいただきました。
ありがとうございました。

ネパール側からエベレスト

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2008 年 4 月 8 日(火)18 時 26 分 44 秒

三浦 雄一郎・東京事務所発表。

現在、ネパールで待機中の三浦 雄一郎隊は、4 月 6 日

ネパール政府に登山申請。4 月 2 1 日頃、5300mに BC 設営。

5 月 2 0 日以降に登頂予定。

・・・喫茶店でたまたま見た、スポーツ報知記事からの引用です。

正直このイベント「登山」には興味ありませんが、今年、北側から、チョモランマを目指した他の登山隊も、急遽計画変更、または中止と大変です。

桜の会

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 4 月 7 日(月)23 時 35 分 31 秒

村田さん

会ったことも無い貴方、そして朝倉さん、

何があったかも知れませんが、

スライドショーで皆さんの思いが伝わってきました。

その方は幸せな方でしょう。

あ！さくらの会

投稿者：村田 信一 投稿日：2008 年 4 月 7 日(月)22 時 17 分 9 秒

昨年末に亡くなった朋友 朝倉満君を偲んで同期を中心に集まりました。

お忙しいところご参加有難うございました。来て戴けなかった方にもこれを

<http://www.imagegateway.net/a?i=3DuCXZV3r4>

スライドショーでご覧ください。

総会慰霊祭

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 4 月 7 日(月)15 時 28 分 26 秒

井上さん

掲示板をお借りして表記の返事いたします、

両方共に参加いたします。

よろしくお願いいたします。

事務担当より総会・慰霊祭について

投稿者：井上 知三 投稿日：2008 年 4 月 6 日(日)09 時 27 分 40 秒

総会・慰霊祭の参加者をお知らせいたします。(4/6 現在)

雨宮 宏光・小川 守正・村上 与利一・武田 雄三・南里 章二・安井 正・芦田 匡平・北方 龍一・美田 靖夫・小原 耕治・鈴木 正・要 裕晶・大森 雅宏・藤安 賢一・石原 浩二・越田 和男・鳥居 威男・伊丹 徳行・西川 耕平・平井 幹男・浪川 純吉・國府 雄次郎・二谷 和成・高橋 けい子・井本 洋・西村 清・横山 嘉壽子・廣瀬 健三・井上 知三 以上 29 名(順不同敬称略)
尚、出欠につきましては返信メールにて至急ご連絡下さい。

エベレスト

投稿者：飯田 進 投稿日：2008 年 4 月 2 日(水)09 時 00 分 31 秒

今朝の新聞に、野口 健が エベレスト清掃登山を中国側からやりたいので、許可願出したら、ゴミが沢山あるのが明るみに出たら、オリンピックのイメージが悪くなるので、駄目。臭いものには蓋をするのが我が国の方針です、と拒否されたと載っていました。来年再提出するそうです。

ところで、三浦 雄一郎エベレスト登山隊の持ち込む資材が一トンあるそうです。

帰りにもう一度計量してもらいたいですね。計ったら 200 キロしかなかった。てなことになったら、800 キロは何処へいったのでしょうか？てなことにならなければいいのですがね。

エベレスト・北京五輪・三浦雄一郎

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2008 年 4 月 1 日(火)10 時 03 分 57 秒

3 月 13 日。プロスキーヤー三浦 雄一郎は都内で会見を開き、次男の豪太(38)らと中国側から、エベレスト登頂を目指すと発表。

3 月 20 日出発、5 月中旬頂上到達を目指す。成功すれば、最高齢登頂(75 歳)となります。

おりしも 3 月 14 日。ラサで騒乱発生。騒乱のラサに、入国可能か？

微妙。

中国の、1960 年？1970 年のチョモランマ登頂から、半世紀。世界最高峰は、北京五輪の広報の舞台として登場か。

かたや——今までその冒険演技ショーによって、プロとしての存在を示した、三浦 雄一郎。

まさかとは思うが、エベレスト山頂付近での聖火リレーと、彼の登山のタイミングが一致したとき。これは、プロとして最大の演出となるかもしれません

訂正します

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 3 月 31 日(月)06 時 37 分 24 秒

1962 年は昭和 37 年ですね。""アナ恥ずかしや""誤字を含めての間違いに後で気づいています。

S32 年はデカさんが剣で亡くなりました。小生甲南大に入学した年、山岳部に入るかどうか、真剣に悩んだ年、余り良い思い出のない年でした。

(ヨット部入部を考えてました。)

山スキー／中高年合宿

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 3 月 30 日(日)06 時 52 分 53 秒

山スキーの醍醐味を、アップされた写真を見ながら堪能してます。アア、一度乗鞍の広い斜面を大滑降してみたいナア。1962（S32年）12月末、勤務してた会社の同僚を誘って、乗鞍肩の小屋迄行きました。途中から猛吹雪に会いましたが、全員元気、小生以外は山スキーはほとんどやった事無く、今から思えば極めて無謀。その一人と昨年OB会で一杯やりましたら、親父払い下げのフットフェルトのスキーで行った事、小生のスキーは華麗とは言えないが、中々転ばなかった等思い出を語ってくれました。（同人は京大相撲部出の豪快な仁、親父が阪大の前身の専門学校で山岳部にいた由）遠い昔の話なり。

有為の人材ですね。

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年3月28日(金)13時16分57秒

山岡、田口両KAC大先輩、凄い！！

是非山岡先輩にお会いしたいものです。田口先輩はすでに""亡き数に""、残念。

Re: 田口二郎さんのこと

投稿者：越田和男 投稿日：2008年3月28日(金)10時19分7秒

> [No.340\[元記事へ\]](#)

3月25日の夕刊の記事は小生も読みました。すごい論文ですね。早速国会図書館で現物にあたるあたり、さすがは平井。是非原文読んでみたいです。コピーをお願いします。

それにしてもこの論文のことが、これまで甲南関係でもJAC関係でも話題にならなかったが不思議なくらい。ご本人から語られることもなかった。田口さんの著作集に掲載できなかったのは残念。

14年前、朝日新聞（1994.6.7付）が「ノルマンディー上陸」50周年特集記事を載せたとき、50年前に欧州からの第一報を打電した田口さんの顔写真つきのインタビュー記事があり、当時の紙面にはじめて接した田口さんが「自分の送った記事が日本でどのように載っているかを知ることができなかった。」と語っておられるように、ひょっとしてご自身もこの論文掲載紙をご覧になって居ないのかもしれない。

田口二郎さんのこと

投稿者：平井吉夫 投稿日：2008年3月27日(木)22時35分1秒

朝日新聞夕刊が、自己の反省を込めて「新聞と戦争」という記事を連載しています。3月25日の同シリーズの文は、

「（19）45年9月18日の朝日新聞1面に『戦争責任と国民の態度』と題する長文の記事が載った。

筆者は、スイス駐在の特派員田口二郎。元首相東条英機らが戦犯容疑で相次いで逮捕された時期に、田口は『（戦犯問題は）本来ならば---日本自身が解決に当たるべきであった』と主張した」

という書き出しで始まっています。この田口さんの記事を載せるか否かをめぐり、終戦直後の朝日新聞社内

で論争があったそうです。

私はさっそく図書館でこの記事を検索し、コピーしてきました。その記事には、前記の表題と並んで、「軍部右翼を処分」「封建勢力の存続を許すな」という見出しがあり、言いたいことを言えなかった苦しい時代を脱した田口さんの考えが、熱っぽく吐露されています。私がつねづね思っていることを、すでにあの時代に主張した田口さんへの尊敬の念はいやますばかりです。

連合国によるニュルンベルク裁判のあと、自国の戦犯を自国で裁きつづけたドイツとちがい、日本では戦前戦中の指導層とその係累の後継者が依然として国を統治しており、田口さんが憂慮したとおりの醜い国になりました。いまや東京と大阪の二大都市で純然たるファシストが知事になるという、絶望的な事態を迎えています。こうなったら私は、この国から逃げ出すか、古希の体に残る力で昔とった杵柄をもういちどかかえあげるしかありません。

山岡静三郎先輩の記事

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 3 月 27 日(木)15 時 43 分 14 秒

あるきっかけで山岡先輩（昭和 11 年旧制理科卒）のことが書かれた新聞記事に出くわした。
今年の 1 月 8 日毎日新聞朝刊に載っていたとのこと。山の話ではないが、我々の先輩の世代の深い思いの読み取れる記事なので紹介しておきます。ぜひ次の H P を開いて読んでみて下さい。

<http://www.tokyobuyokai.com/2008.01.08mainichi.pdf#search='山岡静三郎'>

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 3 月 26 日(水)11 時 36 分 23 秒

浪川君と山本君から頸城山スキーの写真が投稿されました。
アルバムにUPしました。

頸城 中同年合宿

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 3 月 25 日(火)03 時 21 分 50 秒

3 月 20 日夜発で、カンさん、浪川さんと頸城に行ってきました。

21 日朝、焼山温泉での仮眠が熟睡となり、8：00 にゆつくり出発。20 数 k g の重荷にひたすら耐えてスキー登行。アケビ平には林道ができていて歩きやすくなっていた。昼間谷を越えて、吉尾平の谷の手前の台地に B C 設営 11：30。烏帽子岳、阿弥陀山を目前に絶好のロケーション。

13：00 から偵察をかねて、前烏帽子岳へ向かう。西向きの谷をつめて緩い斜面を登ると前烏帽子岳着 14：30。快晴のもと、火打、焼山、昼間、吉尾平、阿弥陀、烏帽子とまるで頸城の展望台。烏帽子岳へのルートは雪底の乗り越しがいやらしそう。快適に滑って B C へ 15：30。テント前に雪のテーブルを作ったのんびり夕食。

22 日 7：20、小さな難峰、鉢山を目指す。B C 前のブナの巨木がある尾根を登り、900m 付近から右の谷へ入り、980m 付近から右の緩い尾根に取り付いて、鉢山のコル 10：30。浪川さんと雪底の張り出したいやらしい雪稜雪壁をザイル確保で 5 ピッチ。その後、傾斜の落ちた雪稜をコンテで鉢山山頂 12：30。雪が緩んで雪崩れそうな雪面を慎重に下って、カンさんの待つコルへ 13：40 に戻る。ひさしぶりのザイルワークに緊張した。

アイゼンをスキーに履き替えて吉尾平へ。岩峰を眺めながら、広い緩中斜面を快適に滑る。最後に谷を渡

ってBC 15:00。雪テーブルでお茶、夕食。

23日6:45、昼闇山へロングアタック。昨日と同じルートで鉢山コル上に9:00。鉢山と昼闇山の間のピークを越えた二重山稜の雪原でスキーをデポ10:00。アイゼンをはいて、時々踏み抜きに苦労しながら、5月のような雪稜をひたすら登り昼闇山11:45。焼山が近いが生憎の曇り空。スキーデポまで戻り12:45、ピークを超えた1590m付近でシールをはがし滑降準備。

ピークの北西斜面は樹木も少なく、快適な中斜面に登りに使った谷まで続いている。雪の安定を確認してスタート13:30。適当に先頭を交代しながら、斜面の変化を楽しんでいると、あっという間に谷の900m付近。登り2時間半、下り15分、これぞ山スキーの醍醐味。あー楽しかった。

ここから下は谷割れがあるので、尾根コースに戻りBC着14:00。

もう1日あるが、天気も下り坂なので、撤収下山15:00。重荷にたえてひたすら滑ると焼山温泉駐車場へ到着15:30。焼山温泉で汗を流し、糸魚川でご馳走をよばれ、雨の北陸道を仮眠しながら24日早朝神戸着。

重荷と連日のハードな行動は、まるで合宿でしたが、好天にも恵まれて、山スキー＋雪稜を堪能しました。いつもながら、熟年チームのパワーには感心しました。日ごろのご努力の成果でしょうか。

今晚は、カンさんにいただいた小鮎の佃煮を肴に、買って帰った超辛口の糸魚川の酒「月不見の池」と家族の笑顔で疲れを癒しています。



頸城の山

投稿者：kannroku 投稿日：2008年3月24日(月)09時40分37秒

山本恵昭君主催の“山スキーを楽しもう”3/20夜～3/24早朝に参加してまいりました。

糸魚川頸城山域の鉢山(1575)、昼闇山(1840)、前烏帽子岳(1040)に登り又山スキーを楽しんできました。鉢山頂上直下は急なる雪面の登攀となり下から見上げて、こら67歳の年寄りが登る山では無しと悟り、Donnkichi、恵昭両君におまかせし、下のコルより観戦。

昼間山はただ長い長い道のりで疲労困憊のていで頂上にたどり着く。そこから見た金山、雨飾の女性的な容姿にうっとり。

三日間ハードな行程であったが、好天に恵まれ頂上を登ってからの帰りのスキーには大満足で、我等 3 人がおもしろいおもしろいスプールをえがきテントサイドに。

山スキーの醍醐味を堪能した 3 日間でありました。

計画立案から装備・食料とすべてをやっていた山本君、心よりありがとう。

田部井淳子関連

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 3 月 16 日(日)13 時 40 分 58 秒

去る 1 4（金）・1 5（土）と同女史の講演を聴いたりし乍ら、興味深い話を聞きました。

4. 1 4：NHK の夜のラジオ番組“”いとしのオールデイズ””から：

曰く、

「山登りの楽しさは、登る前の下調べと、登山そのもの、そして帰ってから、地図などをトレースしながらの復習。と三つあり。」

「自分は登山家に非ず、登山愛好家。登山で生計を立てていないので。」

4. 1 5：「1 9 7 5 にエヴェレストに登ったが、その 1 1 日前に中国隊が登った、その中に女性隊員が一名が居た。」ー

小生今住んでます、池田市のインスタント ラーメン発明記念館での講演より。ー

関西学院大山岳部部員のヒマラヤ未踏峰初登攀

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 3 月 16 日(日)06 時 18 分 12 秒

今朝の朝日新聞の社会版に大きく報道されています。遭難記事でなく、このような明るいニュースが報じられるのは久しぶり。その中で目に付くのは

“”山岳部冬の時代復活込め””と言う文字、そして甲南大の名が「クビカンリ登山隊」関連で載っている事です。K G A C の御活動に敬意を表したいと思います。

山野井夫妻の講演会のご案内

投稿者：現役 谷 勇輝 投稿日：2008 年 3 月 10 日(月)22 時 20 分 53 秒

知人の方から連絡ありましたので、ご案内致します。

山野井夫妻の講演会についてご連絡します。

日時： 2 0 0 8 年 4 月 1 9 日（土）

場所： 京都テルサ 3 F 大会議室
（京都市バス九条車庫南側）

時間： 1 9：0 0～2 1：0 0

参加費： 日山協山岳共済会に入会している方 ５００円
それ以外の方 １０００円

今回は日山協山岳共済会の協賛支援事業となります。
先に指導委員総会が実施され、その後に引き続いて講演があります。
その為の開演時には既に指導委員の方々が席をある程度は占めています。
残席は約１００ということですので早めに会場に行かれることをお勧めします。
予約は出来ません。
悪しからずご了承ください。
尚、席がなくても立って入室することはできます。

銀杏峰

投稿者：DONNKICHI 投稿日：2008年 3月 10日(月)11時 26分 1秒

銀杏峰でお会いした地元の方のホームページに我々の写真が載ってました、銀杏峰のことが詳しく載ってます。<http://www11.plala.or.jp/genanpo/>

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2008年 3月 10日(月)10時 24分 49秒

浪川君が送ってきた写真をアルバムにUPしました。

滑降写真

投稿者：DONNKICHI 投稿日：2008年 3月 10日(月)09時 14分 50秒

10日山本君と福井の銀杏峰に行きました。相変わらずの名ガイドでした、彼のすばらしい山スキーの滑降写真を投稿します。

銀杏峰

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008年 3月 9日(日)21時 30分 23秒

本日、浪川さんと銀杏峰へ行ってきました。
土曜日夜発1時頃着で車中泊。朝になると車が次々とやってきて沢山の人が登っていきました。ゆつくり準備をして北尾根経由で山頂に。
この半年、仕事が忙しくトレーニング不足だったのですが、体は正直、息ゼイゼイでした。
それに引き換えネパール帰りの浪川さんは絶好調。「山本の息の乱れを聞いていると嬉しくなってくる」そうです。先行パーティが見えると俄然ハイペースとなり追い越しまくりでした。
下りは銀杏峰北斜面から小葉谷へ。重い雪でしたが、急斜面にシュプールを刻み、昼には駐車場に到着。
なかなか良いコースでした。
大野市で下ろしそばをご馳走になり、あったかランドで垢を落とし、いつものスーパーで焼き鯖寿司を買って、岐路に。

山岳遭難保険申込完了

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 3 月 7 日(金)15 時 22 分 59 秒

山岳保険申込が完了しましたので報告いたします。

4 月 1 日から有効となります。

現在の加入者は 4 月 1 日から継続的に有効となります。

保険加入者証は総会のときにお渡しします。

尚、2008 年度の申込者は下記の方々です。(敬称略、順不同)

柏、浪川、武田、井上、森本、山本(正)、大森、川野、塩崎、山本(恵)、谷 以上 11 名

来年度からは個人情報保護法の絡みで、申込者の印鑑(申込内容の確認のため)

が必要となり、個人での申し込みが主流となるようです。

以上

講演と寄贈本の公開

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 3 月 4 日(火)10 時 22 分 45 秒

――図書の虫干しと著者を語る会――（J A C 関西支部よりの案内）

日時：平成 20 年 3 月 18 日（火）13：30－16：00

場所：大阪府立中央図書館 二階会議室、東大阪市荒本北 57－3

TEL 06－6745－0170

近鉄けいはんな線（地下鉄中央線乗り入れ）荒本駅下車（1 号出口）

北西へ焼く 400m

講話：エベレストから百名山へ

講師：重廣恒夫氏

主な著書：エベレストから百名山へ

今年の「図書の虫干し」は、J A C 関西支部の蔵書の大半を寄贈した

大阪府立中央図書館にて、上記のとうり開催します。寄贈本の特別公開は、3 月 14 日

から 3 月 23 日迄。――

J A C 会報 2 月号を見てますと””復活会員””：甲南大学体育会山岳部

（会員番号 1039）紹介者は平井一正先生と重廣恒夫 J A C 関西支部長
と記されてます。

3 月になりました

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008 年 3 月 2 日(日)23 時 28 分 51 秒

3 月になりました。学生の頃、3 月といえば春山合宿。

今頃は準備に追われていました。

私、このごろ仕事に追われていますが、少し落ち着いたら山を眺めに出かけてみたい、などと思います。

ところで。

今日は後立山もそこそよいお天気だったようで、こんなページがあります。

不帰・鹿島の姿が紹介されています。

(実は学生の頃、後立山の稜線なんか楽チン楽チンと生意気なことを思っていたんですが、写真はなかなかスリリングです)

<http://kitanotabibito.blog.ocn.ne.jp/kinyuu/>

(日がたってから見るときは 3 月 2 日のページを探してください)

このページ、山関係で検索していたたまたま行き当たったのですが、神戸大の山岳部 O B 氏の手によるものみたいですね。(私より 4 つ 5 つ年かさ・井上さんあたりと同期かな・・・)

普段は金融関係のことが多くて、サブプライムもフィナンシャルタイムズも私の梃子には合わないのですが、不定期に山のことが出てきて、なんか気になります。

結局ほとんど毎日見に立ち寄っています。

ウプサラ氷河

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 3 月 2 日(日)10 時 23 分 33 秒

氷河崩壊からの冰山。こんなブルーがあったとは。



パイン〜ペリトモレノ

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 3 月 2 日(日)10 時 21 分 34 秒

世界最南端の町、ウシュアイア着。なんと背景が山の坂の町、神戸に酷似、違うところは山に氷河あり。なんとなく懐かしみを感じます。これまでのトレスデルパインの写真送ります。



HPのUP

投稿者：管理人 投稿日：2008年3月2日(日)06時56分26秒

川野君が学生時代の写真を送ってきました。

個人投稿集の彼の山日記の表紙の背景を差し替えました。

当然の事ながら皆さん若いです。

お知らせ

投稿者：武田 雄三 投稿日：2008年3月1日(土)23時46分35秒

2 / 29日のララー集会には、雨宮・村上・安井・石原・井上・西村・谷の諸兄に参加いただき有難う御座いました。

当日の打ち合わせにて次の通り

* 山岳会総会：4月19日（土）午後5時より平生会館2Fにて

* 慰霊祭：同 20日（日）阪急芦屋川10時集合、芦屋ロック・ガーデンレリーフにて

決まりましたのでご予定下さい。

尚、総会当日現役谷君の「クビ・カンリ初登頂の報告」が有りますので楽しみにして下さい。

ところで

投稿者： **げて** 投稿日：2008 年 2 月 28 日(木)15 時 02 分 3 秒

参加されるのはどなたでしょうか？

ラルーの件

投稿者： **げて** 投稿日：2008 年 2 月 28 日(木)14 時 58 分 22 秒

武田様

昨日、井上先輩からお電話をいただき、29 日の件を知りました。

当日、社内会議があるので終わり次第、駆けつけます。(19:00 此花区発)

私は酒が飲めませんので、車を飛ばしますので多分 19:40 頃には現着かと思われます。

念のため、私の番号は

090-3672-6275

です。ご参加の方から携帯電話いただければ返信します。

投稿

投稿者： **管理人** 投稿日：2008 年 2 月 26 日(火)06 時 50 分 0 秒

川野君が 2 年生時代の山日記を送ってきました。

個人投稿集に U P しました。

シビレ山夕刻ハイク

投稿者： **山本 恵昭** 投稿日：2008 年 2 月 25 日(月)23 時 47 分 51 秒

最近、週末にもいろいろ仕事が入って遠方にいけませんが、近場で遊んでいます。

昨日は用事の合間を縫って、丹生山系シビレ山で遊んできました。標高は 4 0 0 m ほどですが、先日の寒波で雪化粧、夕方 1 時間ほどハイキングコースを駆け上がり、暗くなる森の中でプレッシャーを楽しみながら沢どうしに下り、思いもかけない滝場であせりながら、何とか下山。何度もこけながら泥だらけになりましたが、気分は爽快。

オソルノ山

投稿者： **福田信三** 投稿日：2008 年 2 月 25 日(月)20 時 01 分 33 秒

俗にチリ富士と言われるとのこと。多分意味は日本人しか判らないでしょう

パタゴニアの最北に位置します。

機材の落雷で 5 時間、チリ国境で 2 時間、森の自然発火で発生した煙が原因の濃霧で、

昨日は 5 時間遅れなど、大変でしたが、これを越えると大きな贈り物。

ペンギンコロニーでは産まれて間もない赤ん坊が、産毛でぶくぶくでした。



報告

投稿者：武田 雄三 投稿日：2008 年 2 月 25 日(月)01 時 04 分 59 秒

去る 2 3 日（土）開催の、平成 1 7 年度甲南大学課外活動表彰式に於いて谷君が「同窓会課外活動会長賞」を水野正人同窓会会長より授与されました。

この受賞は、「谷君個人の活躍」は勿論、「会員各位の支援」有ってのものと大変誇らしく思います。

諸兄弟のご支援を、此処に改めて厚く御礼申し上げます。

ブエノスアイレス着

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 2 月 22 日(金)10 時 16 分 31 秒

2 7 時間の飛行でブエノスアイレス着。やっぱり遠いです。

気温 3 4 度、蒸し暑く日本の夏を思い出しました。

南半球のヨーロッパといわれるだけあってフランス様式の建物が多くしゃれた都会です。

いよいよ明日からパタゴニア、最初は北のパリロッチェ。ここでは富士山もどきのオソルノ山が見られます。が、お天気次第。晴れを念じておやすみなさい。

魚屋道

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 2 月 18 日(月)22 時 38 分 2 秒

昨日仕事が入って、今日は代休。予定では、夜に車を走らせてどこかのパウダースノーを堪能するつもりだったのですが、疲れてダウン。今朝ゆっくり起きると、もう後の祭り。

このまま家でゴロゴロするのももったいないので、「下山後の温泉と飲み屋」で長女をたぶらかし、芦屋から山頂経由で有馬温泉へ行ってきました。

凍結した有馬四十八滝を見に行きたかったのですが、芦屋を 12：30 出発となったので夕暮れと競争しな

がら雪道の魚屋道を下り、5：30 有馬着。金の湯に入って、湊川で今年成人式を済ませた娘とお好み焼きで一杯。結構疲れしました。

雪の摩耶山

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 2 月 16 日(土)22 時 45 分 12 秒

福田さん、毎年お世話になりありがとうございます。保険を使うことにならないように心がけます。

今日、雨宮さんからいただいた登山靴の試し履きをかねて、摩耶山へ行ってきました。

車を穂高湖の近くに止めて、シェール槍の西斜面を下り、新穂高の北斜面から南斜面へ、黒岩尾根の北斜面を適当に登って摩耶山頂へ。この寒波で、場所によっては足首上の積雪があり、適当に道はずれて歩くとなかなか雪山気分が味わえました。

クラストした雪の上に点々とキツネ？の足跡、その横にズボズボ踏み抜いたイノシシの足跡。なんか現役時代の住友さんと今は亡き藪内さんを思い出しました。毛勝の冬山合宿で、体重の軽い住友さんがトップでトレースをつけると、その後ろで筋肉質の藪内さんがズボズボとトレースを踏み抜いていました。時には木の根もとの空洞に胸まではまり込んで、日ごろ体力自慢の藪内さんが困り果てていたのが、昨日のようにみえます。

ここ数年、山スキーを楽しむようになったのは、元はといえば雨宮さんから山スキー用具を頂いたのがきっかけです。この度は雪山用登山靴をいただき、久しぶりに固い靴の感触を楽しみました。これから先、この靴で懐かしも新しい世界がどんな風に広がるのか自分でも楽しみです。雨宮さん、ありがとうございました。

私も甲南 Today を見ました。発生生物学のパイオニア：岡田節人先生より、谷君が前に紹介されているに驚きました。谷君の後に続く学生が出てきたら良いですね。

甲南 Today

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008 年 2 月 16 日(土)11 時 23 分 30 秒

数日前に届いていた甲南 Today、開いてみたら巻頭に谷君のクビカンリが大きく取り上げられています。いろんなところで取り上げられて山岳部の P R になるといいですね。

最終ページ、中井先生の「鳩杖」毎号楽しみに拝見していましたが今回で終了とあります。少し残念。

お礼！

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 2 月 15 日(金)18 時 57 分 17 秒

福田さん、保険の手続きありがとうございます。

パタゴニア旅行！良いですね！お土産話を楽しみにしています。

パタゴニアの雲丹

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 2 月 14 日(木)18 時 29 分 45 秒

越田さん、

アドバイスありがとうございます。

まさかと思う雲丹の缶詰、ですね。ぜひ、食べて持って帰ります。

ジャムはいろんな種類がありますか？
私は、せいぜいマテ茶くらいかなと思っていました。

パタゴニアの雲丹

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 2 月 14 日(木)12 時 12 分 10 秒

福田さん
ワインもいいけど、是非雲丹の缶詰をご賞味の上、買って帰られるようお勧めします。
それからカラファテのジャムも。カラファテを食べた人は必ずパタゴニアに戻ってくるとの言い伝えあり。
越田

山岳保険

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 2 月 14 日(木)10 時 03 分 17 秒

表記の件、申込者は下記の皆さんです。

Bタイプ：柏、浪川、井上、森本、山本(正)、大森、塩崎、山本(恵)

Cタイプ：川野

軽登山Ⅱ：武田、(順不同敬称略)

もし、漏れのある方はお知らせください。

申込、まだの方は、本日(2 月 15 日)が締切です。

山岳遭難保険

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 2 月 13 日(水)22 時 06 分 59 秒

表記の申し込み締め切りは 2 月 16 日(入金)ですので、
未だの方はお急ぎください。

ラルー集会欠席

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 2 月 13 日(水)22 時 04 分 53 秒

ラルー集会、パタゴニア旅行(2 月 20 日～3 月 6 日)のため、欠席いたします。
決定事項は掲示板にてお知らせください。

色々お世話になりました。

投稿者：青木 宏安 投稿日：2008 年 2 月 12 日(火)12 時 52 分 42 秒

甲南の皆様その雪には色々お世話に成りました。連休も終わりやつと一段落の感じで御座います
昨日 2. 1 1 日は柏様のお見舞いもさせて頂き、その後の経過も良く、安心しています。
次の機会には又宜しく願います。関学山岳会 青木 宏安

芦屋ラレー集会開催案内

投稿者：武田 雄三 投稿日：2008 年 2 月 11 日(月)00 時 12 分 9 秒

頭書の件、下記要領で開催します。幹事役の皆様は勿論、出来るだけ多くの方の出席をお願い致します。

* 日時：2 月 2 9 日（金） 1 8：3 0 より

* 場所：JR 芦屋駅前ホテル竹園 1 F ラレー テレ 0 7 9 7－2 3－3 2 6 0

* 議題：本年度行事内容及び日程（総会は4月19日の予定）打ち合わせ

山岳保険

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008 年 2 月 9 日(土)18 時 44 分 48 秒

福田様、保険の申し込みを忘れていました。

例年通りBコースに入ろうと思います。

近日中に代金 ¥ 6 2 0 0 を振り込みますので、よろしくお願いします。

今日、生徒と星野道夫写真展（神戸大丸）を見てきました。

何度見ても動物の表情がすばらしいです。また、アラスカに行きたくなりました。

息子が2月に入って奈良に下宿し、何かと出費の多い今日この頃です。

何とか休める日を見つけて福井周辺の山に行こうと思っています。

山岳遭難保険

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 2 月 9 日(土)14 時 09 分 0 秒

川野さん

保険の件、了解しました。

申込がまだの方へ

申込締切は2月15日です。

御希望の方はお早めに

福田信三

山岳保険

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008 年 2 月 9 日(土)08 時 14 分 24 秒

ご無沙汰です。なかなかH Pを開く機会がありませんでした。

・福田さん！

山岳保険！毎年、お世話になりありがとうございます。週明けに保険代振り込みます（Cコース：8 0 0 0 円）。遅くなり申し訳ありません。今年も事故しないように注意します。福田さんも旅行には気を付けてお出かけ下さい。

先の話ですが、5月には剣岳に登ろうかと考えています。昨年と3年前に敗退していますが今年は登りた

いです。別山尾根⇒剣岳⇒平蔵谷下降。

今日から三男の大学受験です。どこかに引っかかってくれれば良いのですが……。この年になって親の気持ちがよく分ります。私もあと2ヶ月で50歳です。

感謝！

投稿者：小西啓右 投稿日：2008年2月3日(日)15時00分22秒

塩崎さん、私の山スキーの勇姿、K GのHPにアップしていただいて有難うございます。
本人も想像以上のスタイルをK G会員に披露できました。

JAC 関西支部の新年会と遠征報告

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年2月3日(日)09時31分33秒

1 1 1 「クビ.カンリ初登頂及び学術調査報告」

和田隊長（J A C 東海支部長、同志社山岳会）の報告がスライド付きでなされた。

甲南大山岳部員の谷君、同志社大山岳部員2名、京都府大山岳部員の計4名が紹介されそれぞれのスピーチあり。

平林同志社山岳会会長（元 J A C 副会長）より“此の遠征を契機に、関西の学生が昔の関西学生山岳連盟がやっていた様に、横の連絡を密に取り、合同で活動するようになって欲しい。”
と言うような趣旨の話あり。

2 2 2 新年懇親会 あらためて、上記学生4名が紹介された。又兵庫県山岳連盟の中島会長が初参加との事で紹介された。

最近特に身近に成っています、関学の学生さんが居なかったのは、残念でしたが、当会に出席の学生さんが、しっかりと自分の考えを、どうと話す様子を見ていて、我が国の若者も頼もしいナアと思いました。

谷君、J A C 関西支部報 御担当の柏木宏信氏が“寄稿して欲しい”と貴君に言っておられましたね。是非、そうして下さい。

花見会

投稿者：大関 和夫 投稿日：2008年2月2日(土)16時33分19秒

庭の紅梅が、咲き初めました。

今年の花見会は

4月6日（日）

に開きます。

希望があり、日曜としました。

パタゴニア遠征

の反省、飲み会

で始めたこの会
も、10年目と
なりました。
例年通り、桜の花と山仲間の会
に、お集まり下さい。
近くに、詳しく
ご案内します。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2008年2月2日(土)06時55分17秒

浪川純吉さんから柵池スキーツアーの写真が届きました。
アルバムにUPしました。

JAC 関西支部・新年会

投稿者：現役 谷 勇輝 投稿日：2008年2月2日(土)00時03分9秒

こんにちわ。

皆様の雪見会に関するカキコミを拝見していると、楽しそうな様子が良く分かります。
来年は是非、参加させていただきたいと思っておりますので宜しくお願いします！

さて、一昨日大阪某所で開かれた JAC 関西支部の新年会へ参加してまいりました。
私も一応、同支部員ですし。

新年会は18時開始なのですが、16時より「クビ・ツアンボ源流域学術登山隊」の報告をさせていただきました。
報告会にご来場いただいた方の中に、廣瀬健三さんの姿もありました。

また懇親会にて、JAC 関西支部学生部？についてもご案内させていただきました。

廣瀬さんへ
報告会へお越し頂き有難うございました。

雪見会御礼

投稿者：小西啓右 投稿日：2008年1月30日(水)23時57分37秒

飯田様 甲南の皆様

柵池では大変お世話になら有難うございました。天狗原からの下りの滑りは一年目は10パーセント、2年目は30パーセント、今年は60パーセントの満足度でした。まだまだです。山本恵昭さんのスタイルには惚れ惚れしました。少しでも近づけたらと思いますが無理です。初めて参加させて頂いた私共の田中会長は甲

南の皆さんは非常にお上手でよく飛ばされると感心しておりました。また4日間仲良く楽しく過ごさせて頂いたと感謝しており、皆様によろしく伝えておいてくれと申しております。ありがとうございました。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2008年 1月29日(火)18時14分34秒

飯田さんからアルプスの写真が届きました。

アルバムにUPしました。

雪見会のお礼

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008年 1月29日(火)00時37分39秒

飯田様、急なお願いにもかかわらず、大変お世話になりありがとうございました。

帰りは青木湖で大渋滞に引っかかり、Uターンして更埴IC経由で、今朝2時頃帰宅しました。

26日吹雪の天狗原下では強風と寒さでへこんでいた娘も、すぐ新雪の滑りになれて成城大小屋に着く頃にはジェットコースターより面白いとご機嫌でした。また、27日は初めての信州のゲレンデを堪能していました。

塩崎さんのお嬢さんのスピードに乗ったカッコ良いボード姿を見ていると、ボードもやってみたくなりました。

一泊では慌しかったですが、諸先輩方の酒を囲んでのお話も面白いし、充実の2日間でした。またご一緒させてください。

雪見会

投稿者：山本 眞博 投稿日：2008年 1月28日(月)07時27分6秒

石原先輩へ

有難う御座いました。

前田館で、皆さんと美味しくいただきました。

朝倉先輩の件

投稿者：げて 投稿日：2008年 1月26日(土)00時33分50秒

もはや四十九日ですか・・・

本日、北浦氏から高橋さんへの連絡によりますと、

27日に四十九日とか、昨年告別式に参列した人々が花代を北浦氏に預けましたが、その四十九日のお花を買っても尚、残金がありそれを初盆にも当てるそうです。

久々にお会いした方、松本先輩が言うように、何か集まれる機会はないものでしょうか。

Re: 雪見会

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008年 1月24日(木)14時05分4秒

> [No.286\[元記事へ\]](#)

飯田様

ありがとうございます。

25日は神戸を23時過ぎに出発し、車中で仮眠しながら行きます。

26日朝食は、どこかで済ませてから行きます。

今日明日、ずいぶん大雪のようですね。高速道路が閉鎖されないことを祈っています。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2008年 1月24日(木)09時22分0秒

塩崎君 了解しました。

Re: 雪見会

投稿者：塩崎将美 投稿日：2008年 1月24日(木)09時08分8秒

> [No.286\[元記事へ\]](#)

飯田さん

仮眠したいので部屋をお願いします。

入り口に部屋番号をメモしておいてください。

勿論朝の食事をお願いします。

塩崎

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2008年 1月24日(木)08時35分49秒

山本君了解しました。26日朝飯どうします。

25日 深夜到着組は、ガチャサンと塩崎親娘です。前田館で仮眠するなら部屋とっておきます。

雪見会

投稿者：山本 恵昭 投稿日：2008年 1月23日(水)23時50分19秒

飯田様

急な話で申し訳ありません。

娘（高校生）と二人で26日雪見会に参加したいのですが、宿泊可能でしょうか。

25日深夜発、仮眠しながら26日午前着でスキー。一泊して、27日夕方まで滑って、深夜神戸着と考えています。天気がよければ、軽くスキーハイク、悪ければゲレンデのつもりです。

急な話で無理でしたら、適当に泊まって、宿に覗きにうかがいます。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2008年 1月23日(水)15時21分52秒

青木さん、山本さん了解しました。

日程詳細

投稿者：青木 宏安 投稿日：2008 年 1 月 23 日(水)14 時 11 分 10 秒

失礼しました、関学山岳会の青木です、当方の日程は、小西君と同じく 1 月 2 6 日～ 2 9 日午前か午後の予定です。小西君と同じ段取りで結構です。

雪見会

投稿者：山本 眞博 投稿日：2008 年 1 月 23 日(水)13 時 34 分 55 秒

飯田様。すいません。

仕事が入りました。2 6 日昼頃着でお願いします。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2008 年 1 月 23 日(水)11 時 43 分 22 秒

青木さん 日程は 2 6 日から 2 9 日までですか。

参加宜しく。

投稿者：青木 宏安 投稿日：2008 年 1 月 23 日(水)11 時 06 分 51 秒

甲南山岳会 飯田 進 様

関学山岳会の青木

宏安です。いつもお世話になって居ります。何とか段取りが付き、雪見会

1 月 2 6 日から参加させて頂きたく、宜しく願い致します。

1 月 2 6 日午後 3 . 3 0 ～ 4 . 0 0 の間に梓川パーキングにて雨宮さん小西パーティと落ち合う段取りとしています。宜しく。

落ち合い場所

投稿者：小西啓右 投稿日：2008 年 1 月 21 日(月)22 時 23 分 37 秒

雨宮様

落ち合い場所 了解しました。着きましたら携帯いれます。よろしく。

山岳遭難保険

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 1 月 21 日(月)16 時 23 分 3 秒

表記の 2 0 0 8 年度分申し込みについて 1 月 1 2 日の掲示板に掲載しておりますが、

現在、柏さん お一人が B にお申込みです。前回、申込期限を 2 月 2 9 日としておりましたが、2 月 2 0 日よりパタゴニアへ出発することになりましたので、2 月 1 5 日締め切りとさせていただきます。お申込、お振込の時間は十分にあると思います。

尚振込先が変わりましたので、あわせて下記の通り御案内いたします。

●三井住友銀行 住吉支店 普通 3907390 福田信三

以上、よろしくお願いいたします。

落ち合い場所・時間

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2008年 1月21日(月)16時08分28秒

小西さん

1月26日。

名神、多賀SAで会いましょう。多賀11:40~12:00頃着。

北陸道に行くか、中央道かは、現場で相談。

降雪多い時、中央道とします。

1月26日。雨宮車は西宮を、10:00発。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2008年 1月21日(月)14時16分31秒

小西さん 歓迎します。

26日 盛大に晚餐会やりましょう。

再度 雪見会

投稿者：小西啓右 投稿日：2008年 1月21日(月)12時09分2秒

飯田様

日程調整に成功し雪見会に参加できることになりました。私共の田中外治会長も参加させてほしいとのことですので2人のなりますが良いでしょうか？足は田中の車です。

26日雨宮車と落ち合って行きたいと思います。帰阪は29日です。

行くとか行かないとか、勝手申しましてご迷惑かけましたがよろしくお願いいたします。

新年会

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008年 1月20日(日)22時14分9秒

珍しいメンバーからお誘いがあって先週金曜に梅田で新年会。

予定では、西岡・青木・東・要・住友・渋谷さんと私。当日急な仕事の都合もあり、青木・住友・渋谷さんは欠席でしたが、残り4名で話が弾みました。（皆さんご活躍の様子です）

たぶん西岡とは20年ぶりくらい、東はもう少し短めですがたぶん15年くらい、ご無沙汰の仲でした。久しぶりに会っても昔のノリで話ができるのは、ありがたいことです。

ところで、アクセス数のケタがひとつあがって100000件。個人投稿に情報交換にお役立ちです。お世話の塩崎さんに感謝して、山嶽寮の材料に活用させていただきます。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2008 年 1 月 19 日(土)13 時 44 分 27 秒

大関さん 返事いただいてますが、内容判りません。

Re: 雪見会 25～28

投稿者：大関 和夫 投稿日：2008 年 1 月 19 日(土)11 時 30 分 20 秒

飯田 進さんへのお返事です。

- > 雪見会 参加者 19日 現在の日程です。間違っていたら訂正願います。
- > 25日 深夜 田辺 山本 塩崎親娘
- > 26日 夕刻 雨宮 武田 浪川 岡
- > 27日 帰る人 田辺 山本
- > 28日 帰る人 塩崎親娘
- > 29日 帰る人 雨宮 武田 浪川 岡
- > 以上。小生25日夕刻到着。28日帰ります。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2008 年 1 月 19 日(土)10 時 25 分 11 秒

雪見会 参加者 19日 現在の日程です。間違っていたら訂正願います。

- 25日 深夜 田辺 山本 塩崎親娘
- 26日 夕刻 雨宮 武田 浪川 岡
- 27日 帰る人 田辺 山本
- 28日 帰る人 塩崎親娘
- 29日 帰る人 雨宮 武田 浪川 岡
- 以上。小生25日夕刻到着。28日帰ります。

鎮魂のカラコルムの本

投稿者：鈴木頼正 投稿日：2008 年 1 月 18 日(金)21 時 30 分 10 秒

日バ旅行社の大住恵子さん、ギルギット、杏の里フンザ、ヒスパー氷河等の活字が目に残り以前米山氏、雨宮氏らに連れってもらったカラコルムを懐かしく思い出し、この本を購入しました、2006年初版で、すでにご存知の方もあると思いますが紹介します。著者石川信義氏、東大経済学部、医学部卒業、65年カラコルム遠征隊時遭難した岳友を偲び、ヒスパー氷河遡行時の情景、フンザの城等村の様子、山の情景と懐かしく、面白く読みました。岩波書店、定価2,100円+税です。

部報第二号1929年発行

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008 年 1 月 18 日(金)17 時 03 分 21 秒

此の機に、伊藤げん氏が本書に記しておられる文を改めて読み、旧制高校生のレベルの高さに驚いています。（岩登りの技術レベルもかなり高度だったようですが）

研究二編と題して「五月の山とショートスキー」及び「アルペンプリマに就いての一断片」、そして40数ページ

にわたる訳章「VON DEN LAWINEN」――

「雪崩れに就いて」。

他方、

本格的な登山記に加え、日常的なキャンプ記録なども大変興味深い、例えば

""仁川トレーニングキャンプ、甲陽園ピクニックキャンプ、道場不動岩、

六甲縦走（須磨の伊藤邸に一泊、朝5：20発、ランタンの光で宝塚に着く。

11月16日）""

一読（再読？）をすすめます。

個人投稿のUP

投稿者：管理人 投稿日：2008年 1月17日(木)18時37分17秒

松方恭子さんのエッセイを個人投稿集にUPしました。

Re: 六甲越え有馬下りの道について

投稿者：越田和男 投稿日：2008年 1月17日(木)11時09分59秒

> [No.248\[元記事へ\]](#)

予定外に入り込んだ瑞宝寺谷だったけど、小雪まじりの風情が楽しめた。この谷の名前だけは記憶の片隅にあって、古い部報で田口兄弟が書いていた、と発言したのは思い違いで、帰宅後部報 No.2(1929)を見たら、香月慶太さんによる「十八町谷及び瑞宝谷調査」だった。

香月さんは昭和4年9月22日に単独で杖捨橋から瑞宝谷を遡り「460m等高線上に太鼓滝あり。一寸美しい。……（土砂止めが多く）源までに滝より数えて32を算す。……クライミング・ゲレンデは十八町谷より少なし。瑞宝谷東尾根の西微北面に一大岩壁あり。堅そうだ。……キャンプサイトは650m線の上にある第29土砂止めの上にあり、眺望、水、薪は不足なし。……」などと報告されている。

80年も昔の高校生の観察だが、ふとしたきっかけで、このような古い文章に接し、当時の裏六甲の様子などを想像するというのも山歩きの楽しさのひとつです。

雪見会

投稿者：小西啓右 投稿日：2008年 1月17日(木)10時35分57秒

飯田様 雨宮様

雨宮様 先日は妙高で色々お世話になりありがとうございました。引き続き雪見会楽しみにしていましたが、所用で日程調整がつかず残念ながら断念いたします。今年は関学は零です申し訳ありません。皆様によろしく。大いに楽しんでください。

伊藤愿さんのご遺族のこと<<続>>

投稿者：越田和男 投稿日：2008 年 1 月 17 日(木)10 時 33 分 7 秒

松方恭子さんが昨年のツェルマツト訪問の思い出を綴られた「私の夏休みー 5 6 年振りの慰霊アルプス行」を「個人投稿集」に掲載してもらいますので、是非ご一読ください。

雪見会

投稿者：山本 眞博 投稿日：2008 年 1 月 17 日(木)07 時 30 分 10 秒

飯田様

2 5 日、夜 1 1 頃着をお願いします。

賀茶様

スキー合宿参加できそうです。

筆屋道について御礼

投稿者：平井吉夫 投稿日：2008 年 1 月 16 日(水)23 時 31 分 10 秒

筆屋道のことでいろいろご教示をいただきました。塩崎君のレポートを読んですっかり了解しました。一昨年
に開かれた道そうですね。塩崎君のおっしゃるとおり、遊歩道気分で歩くにはヤバイ道でした。私の勘違いで
こんな道に引っ張り込んでしまい、コッシンとポンにごめんなさい。

Re 雪見会

投稿者：浪川 投稿日：2008 年 1 月 16 日(水)23 時 09 分 38 秒

飯田様 山本さん都合が悪くなり雪見会に参加できないと連絡ありました。

雪見会

投稿者：浪川 投稿日：2008 年 1 月 16 日(水)19 時 47 分 29 秒

飯田様大阪ポツポ会の山本さんが 26 日朝前田館着 27 日昼過ぎ帰阪で参加されます。

訂正 雪見会

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2008 年 1 月 16 日(水)19 時 10 分 23 秒

飯田君

すみません。

1 月 2 6 日発・・前田館 16 : 00 ごろ夕食要

1 月 2 9 日帰阪

雪見会

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2008 年 1 月 16 日(水)18 時 55 分 8 秒

飯田君

1 月 2 5 日。前田館着。16 ; 00 頃「夕食要」

1月28日。午前滑って、帰阪
参加者。雨宮 岡 武田 浪川
もし、小西が参加なら5名ですが、現在返事待ち。
小西参加なら、又、揭示します。

揭示板見えます

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2008年1月16日(水)16時40分17秒

――柏兄、E. ヒラリーのサインは若き日の思い出ですね。序でに昨年の山嶽寮の
図書紹介；エベレスト1935；を読み直してみてください。

――六甲越え有馬下り

昭和8年発行の「六甲」なる書物を見てますが、""魚屋道""成る
文字を見つけました。以下はこれからの引用です；
「徳川時代には、山越えの交通は盛んであった、先ず第一に挙げべきは現今の
魚屋道である、即ち、阪神電車の深江停留所から、山の神、風吹、シノキ山
を経て、六甲山頂の峠を通過して、有馬に出る道である。これは、六甲山中
主要な交通路で有った。この道が魚屋道と称せらるるに至ったのは、六甲南麓
の漁村から、この道を通して、魚を商いに行ったからである。」

――伊藤げん大先輩関連、いい写真ですね。h pの効用大なり。k 2 遠征準備の時の写真や 資料な
ども
是非拝見したいものです。

伊藤愿さんのご遺族のこと

投稿者：越田和夫 投稿日：2008年1月16日(水)12時15分24秒

次女の松方恭子さんからメールで頂いた写真をアルバムにUPしてもらいました。ちょっと経緯を説明いたしま
す。

きっかけはこのH Pで、まことにネットの威力と感じ入った次第です。平井一正先生ご執筆の愿さんについて
の文章がこのH Pに載っていることをご親族の方がみつけられ話題となり、恭子さんが平井先生に連絡を取
られ、お会いになったのが昨年の暮のこと。平井先生経由でご遺族の近況などお聞きしたところです。

丁度、昨年の夏にご一家でツェルマットを訪れ、56年前（昭和26年）愿さんがマッターホルンを単独登頂
された折に写された、マッターホルンをバックにした有名な写真の撮影場所（ツェルマットから2時間ばかり登っ
たところ）を見つけられ、同じアングル、同じポーズで写真を撮ってこられたとのことでした。この写真について
は、小生は見逃したのですが、昨年9月NHKのTV（関東地区）で放映されたそうで、是非甲南山
岳会のH Pにも掲載させてほしいと、お願いし快諾を頂いたものです。

なお、未亡人の房子様は、お元気に卒寿を迎えられ、暮には御一統23名の方が集まってお祝いをされた
そうです。恭子さんのご主人富士雄さんは、元日本山岳会の会長もなさっていた松方三郎さんの次男で、

75歳の今も元気に山やマラソンを続けておられ、娘さん達も山好き、来年はマッターホルン登頂を考えて居られるとかです。

また、愿さんが昭和26年の欧州旅行中に奥さん宛に出された99通のハガキを中心にした遺稿集を近々出版されるところ。このハガキのコピーは平井吉夫、飯田進両君がかって田口二郎さんから預かって保管していたものです。

さらに、愿さんが昭和11年、今西錦司さんらの要請でK2遠征の準備に単身渡印されたときの写真が40枚ばかりお手許にあるとことで、平井先生とも相談のうえ、近い機会に拝見できればと思っているところです。

写真のUP

投稿者：管理人 投稿日：2008年1月16日(水)08時34分15秒

越田さんから伊藤愿さん関係の写真が届きました。
アルバムにUPしました。

Re: 筆屋道 開設経緯

投稿者：塩崎将美 投稿日：2008年1月15日(火)19時08分24秒

> [No.249\[元記事へ\]](#)

私も去年秋最高峰からの下りでこんなとこに道があると迷い込み瑞宝寺で思わぬ紅葉を楽しみました。

有馬には有馬筆というのがあるようです。

かつてはかなりの生産量で有名だったようで、これにちなんで筆屋道と名づけられたのでは？

<http://bansyu.com/0722arima/arima.htm>

<http://arima-onsen.blog.ocn.ne.jp/photos/forest/14.html>

この他炭屋道と言うのが有るようです。

筆屋道 開設経緯

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2008年1月15日(火)16時06分6秒

平井 吉夫くんの質問に答えるべく、文献【神戸スポーツ草創史。

スポーツ人風土記。道和書院・棚田真輔著】と格闘しましたが、結論は不明です。

文献では、1875年～1910年代の、神戸居留外国人、グルーム、ガウランド、アトキンソン、ウエストン、ド
ーント、ワレー他の、六甲山登山道開発の歴史の詳細ありますが、その開発は、

六甲山南面（神戸市内から登山するため）が多く、有馬温泉からの開発はありません。

太閤秀吉が、駕籠に担がれて、湯治にやってきた道は、どのあたりでしょうか。

ご存知ウエストンは1888年～1895年、神戸に教会の見習父師として

住んでおり、背山のMt. ロッコーに、よく登ってます。

ちなみに、再度山への道は、ワレーが自費で、日当、一円五拾銭の

人夫を動員して、開発してます。

他、今も残る“道の名称”には、やたらとカタカナ（英語→カタカナ）が多く、サースロード、ノースロード、シュラインロード、

ゴールドイン・ポイント、アゴニー坂、ドントロック、トゥエンティクロス他、

ヒマある人【昭文社・エリヤマップ・六甲・摩耶・有馬・1997 年版】を見てください。

これらの道名称はすべて、居留外国人が、つけたのです。

日本人が開発した、徳川道、魚屋道。そして“筆屋道”は筆の穂先になる動物を追った、先人たちの、踏み跡が、

現在の道となったと推測します。間違ってたら、すみません。

これ以上の調べは、どなたかにお願いします

六甲越え有馬下りの道について

投稿者：平井吉夫 投稿日：2008 年 1 月 14 日(月)22 時 54 分 18 秒

1 月 13 日（日）に越田、広瀬といっしょに六甲山から有馬温泉に下りました。車も通れそうなほど整備された魚屋道です。先年そこを 1 人で歩いたとき、道の半ばで射場山を右に巻く道と左に巻く道の分岐があり、私は左を下りました。今回は右を歩いてやろうと思っていたところ、やはり途中で分岐があり、左は有馬温泉駅、右は瑞宝寺公園とありました。私はそれを先年の分岐と勘違いして、同行の二人に「こっちだ」と言って右に入ったら、整備された有馬下りの道とちがって、運動靴ではやばそうな山道が各所にあり、オヤオヤと思いました。それなりに土止めをしたハイキング道で、立派な道標も備わっていますが、どうも様子がちがうのです。道標には「筆屋道」とあり、魚屋道とは確実に区別されていました。あとで地図（昭文社・山と高原地図「六甲・摩耶・有馬」2001 年発行）を調べたら、この道は載っていません。どうやら新しくできた道らしい。東京住まいの私はそんな事情をまったく知りませんでした。「筆屋道」の開設の経緯をご存知の方にお教を請いたいと思います。

その瑞宝寺谷沿いの道を歩いていたとき、越田が「旧制甲南山岳部の部報第 2 巻に田口一郎・二郎さんが瑞宝寺谷探索のことを書いていた」と言いました。また、その道を歩いているうちに、私は高校時代に有馬下りで、えらく厄介なルートを歩いて難儀したことを思い出し、これがそうだったのかな、とも思いました。地元識者の皆様のご教示をお待ちします。

ヒラリー卿

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 1 月 13 日(日)18 時 23 分 15 秒

柏さん

画像のアップ、OK

今回のオークランド滞在中、5 ドル紙幣にヒラリー卿の写真を見て意味が良く判りませんでしたが、オークランド出身だったんですね。

サインをもらった件、昔流には“ナイスファイト”でんなあ。

いい思い出ですね。

福田

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2008 年 1 月 13 日(日)16 時 19 分 35 秒

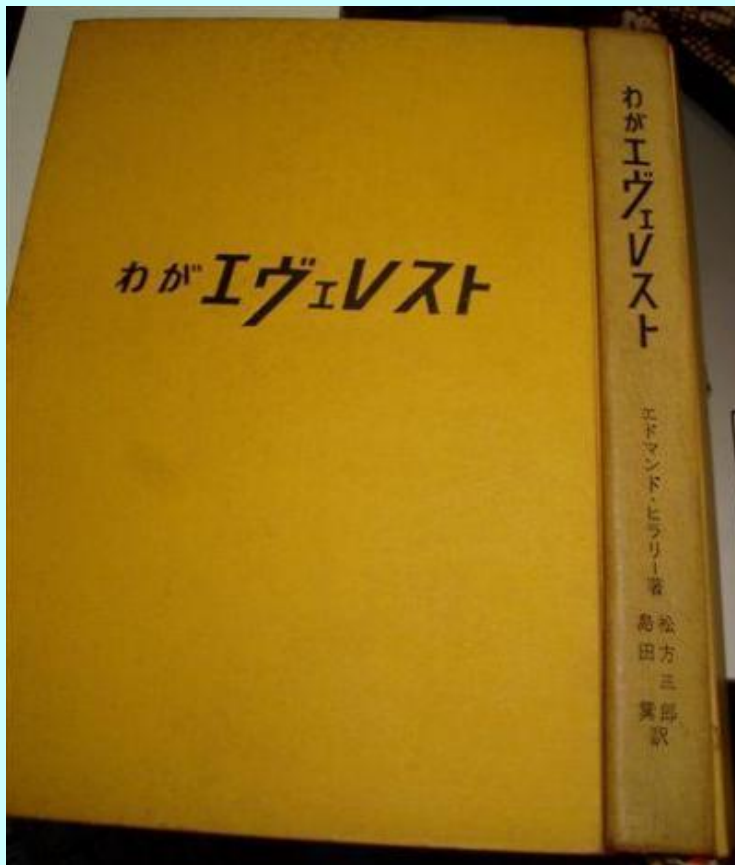
1 月 2 6 , 7 日泊を基本に雪見会を、栂池高原スキー場 前田館 で行います。
参加される方、食事 部屋割り の都合ありますので、なるべく早めに掲示
してください。

Re: 若き頃の思い出

投稿者：柏 敏明 投稿日：2008 年 1 月 13 日(日)10 時 29 分 41 秒

> [No.244\[元記事へ\]](#)

2 枚の写真を一度に遅れませんでした。本の写真です。



若き頃の思い出

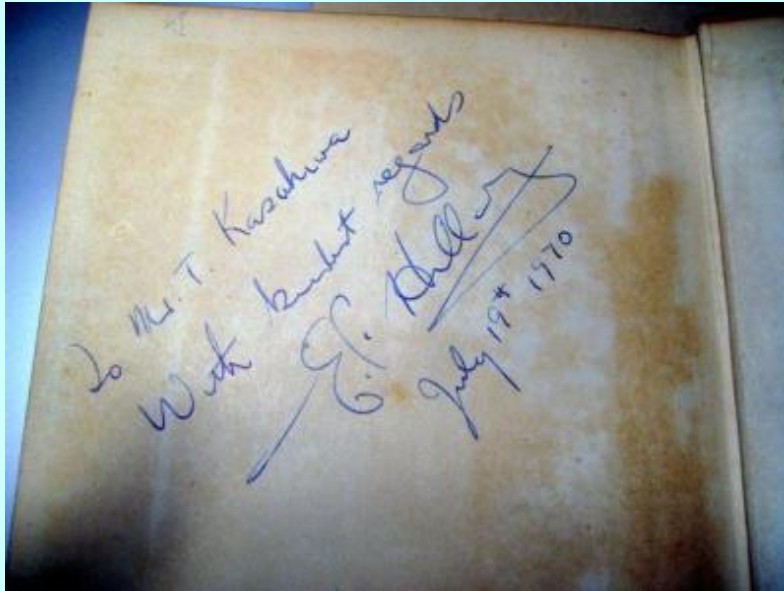
投稿者：柏 敏明 投稿日：2008 年 1 月 13 日(日)10 時 26 分 3 秒

エドモンド・ヒラリー卿が亡くなった。エベレストの初登頂、
その後のネパールへの貢献。その生き方に私も尊敬の念を
持っていました。

昭和 4 5 年夏、万国博で記念講演をされると聞いて会場に
行きましたが入場出来ませんでした。この様な事もあろうかと
予め用意をしていたエドモンド・ヒラリー著、松方三郎・
島田巽訳、朝日新聞社発行の「わがエヴェレスト」を持って
会場ロビーで講演が終わるのを待ちました。

記念講演を終えて、関係者とロビーに現れたヒラリー氏に、思い切って握手を求め、サインをお願いしました。彼は小生よりずっと背が高く、にこやかに柔らかな手で握手をしてくれ、名前はなんと云いますかと聞いて、「わがエヴェレスト」にサインをしてくれたのです。僅か 1 分位の一期一会でしたが、ヒマラヤに憧れていた小生にとって思い出に残る出会いでした。

そのサインと本の写真を添付します。Kashiwa の名前が違って
いるのが愛嬌です。



山岳遭難搜索保険 08 年度加入

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 1 月 12 日(土)15 時 48 分 42 秒

遅ればせながら、明けましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。

さて、今年も表記の保険加入時期となりました。
今回は保険の種類を画像にて紹介出来るようになりました。
画像を左クリック、拡大でご覧ください。

- 去年までの実績は現役が D、OB が B コースでした。
B コースの料金は据え置きですが、死亡・後遺障害が 136 万⇒162 万、
遭難搜索費用が 200 万⇒150 万と変わっております。
D コースは廃止され E コースが最も近いですが、死亡・後遺障害が 1100 万⇒500 万と
半額になります。又価格もかなりアップとなります。
その他大きく変わった点は入院費用が各タイプ毎に加わったことです。

- 軽登山コースは中高年ハイカー登山及び高校山岳部登山が対象で、

保険料据え置き、保険金額減額となっております。

以上、07 年度よりやや費用が高く、やや保険金額が減っています。

御希望の方は、タイプ名を HP 又は小生まで直接メールでお知らせください。

と同時に、御希望コースの合計金額を下記の口座に振り込んでください。

また、当山岳保険加入が初めての方は、生年月日 職業もお知らせください。

振込みを確認後、申し込みをいたします。

締め切りは 2 月 29 日です。お早めをお願いします。

● 三井住友銀行 住吉支店 普通 3 5 1 6 6 0 5 福田信三

以上

平成20年度山岳共済会 山岳遭難・捜索保険

日山協山岳共済会の会員(年会費 1名1000円 高校生以下1名500円)の方は個人でも、団体を通してでも山岳遭難・捜索保険の山岳登はんコース、軽登山コースの、どの加入タイプでもご加入頂けます。

(1Sの1は、入院・通院のセット型を意味しております。)

<山岳登はんコース>								
タイプ名	保険金額							
	1S	S	1B	B	1C	C	1E	E
死亡・後遺障害	100万円	100万円	162万円	162万円	238万円	238万円	500万円	500万円
遭難捜索	100万円	100万円	150万円	150万円	200万円	200万円	500万円	500万円
入院	1,000円	0	1,000円	0	1,500円	0	2,500円	0
通院	600円	0	600円	0	900円	0	1,500円	0
賠償	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円
保険料	5,820円	3,530円	7,490円	5,200円	10,440円	7,000円	21,680円	15,950円
共済会年会費	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円	1,000円
合計金額	6,820円	4,530円	8,490円	6,200円	11,440円	8,000円	22,680円	16,950円

<軽登山コース>		
	保険金額	
	I	II
死亡・後遺障害	184万円	284万円
救援者費用	300万円	300万円
賠償	1億円	1億円
入院	2,000円	4,000円
通院	0	1,700円
保険料	2,000円	5,000円
共済会年会費	1,000円	1,000円
合計金額	3,000円	6,000円

= 謹賀新年 =

投稿者：現役 谷 勇輝

投稿日：2008 年 1 月 7 日(月)14 時 25 分 43 秒

現役主将の谷です。

昨年は山岳会・会員の皆様には大変お世話になりました。

現役部員とともに、今年もどうぞ宜しくお願い致します。

さて、ご存知かと思いますが。

昨年末の 31 日、槍ヶ岳／槍平小屋付近で夜中、不慮の雪崩事故が発生しました。※参考記事参照

2005 年 3 月、槍平小屋を経て、中崎尾根～槍ヶ岳へ行く計画がありました。（滑落事故の為中崎尾根上で撤退。）

その際、事前に大森さんに相談して‘西側の中崎尾根から槍平小屋付近まで雪崩がきたことがある’と伺っておりました。

小屋の付近は実際、だっ広い雪原が広がっており、こんなところまで落ちてくるのか、と不思議な思いでした。

また、報道によると今回は夜中、就寝中の表層雪崩に襲われたようです。改めてその意外性を実感いたしました。

この件を単なる他人の不慮の事故とせず今後、自分の登山へ生かしたい次第です。

【参考記事】

岐阜新聞 Web <http://www.gifu->

[np.co.jp/news/kennai/20080101/200801010958_3726.shtml](http://www.gifu-np.co.jp/news/kennai/20080101/200801010958_3726.shtml)

読売新聞 <http://www.yomiuri.co.jp/national/news/20080101it11.htm>

北アルプス／槍平小屋（地図） <http://watchizu.gsi.go.jp/watchizu.aspx?id=54373550>

追記

雨宮さんカキコミ、山野井さんのドキュメンタリーについて。

昨年、BS で同番組を見ました。

その中で、山野井泰史さんは妙子さんを妻として、また山のパートナーとして最大の信頼をおき、その存在、実力を尊重している様子が映っていました。

と同時に、1300m の大岩壁（オルカ）に登攀する山野井夫妻、木本さんと一緒に、NHK のスタッフが同行して迫力・臨場感のある映像を撮影したこともすばらしいと思いました。オススメです。

夫婦で挑んだ 白夜の大岩壁（NHK 提供）

<http://www.nhk.or.jp/special/onair/080107.html#>

山野井泰史さん紹介ページ（EVERNEW 提供）

<http://www.evernew.co.jp/outdoor/yasushi/yasushi1.htm>

写真は年末、穂高／北尾根へ行った際の一枚です。



リンク

投稿者：管理人 投稿日：2008 年 1 月 7 日(月)05 時 36 分 29 秒

大阪市立大学山岳会のホームページをリンクに追加しました

<http://www.ocuac.org/>

山岳ドキュメンタリー

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2008 年 1 月 5 日(土)21 時 51 分 42 秒

放映タイトル。“白夜の岸壁に挑む”

1 月 7 日。NHK（地上波）22 時～23 時 山野井夫妻。木本 哲。

02 年ギャチュンカンから、奇跡の生還をした、山野井夫妻は、
再起して、05 年中国・四川省・ポタラ北壁【5. 600m】初登頂。
そして、07 年グリーン・ランドのオルカ峰登攀のドキュメンタリー。

放映タイトル。“梅里雪山に十七人の友を探して”

1 月 26 日。日本テレビ【関東ローカル】13 時～14 時 25 分・・・関西では？

山岳史上、最大の遭難【17 名】の遺体搜索。

梅里雪山の四季と自然も描く。

AACK 会員、小林 尚礼の既刊【梅里雪山に 17 人の友を探して】が
このドキュメンタリーの発端です。

現在小林 尚礼はプロのカメラマンです。

陣馬山

投稿者：早川 榮二 投稿日：2008 年 1 月 5 日(土)02 時 16 分 56 秒

去年は、元旦に初日の出を見にいったのですが、あいにく天気が悪く何も見えませんでした。今年は、3 日の早朝 4 時半に八王子の兄の所に集まって、また昨年同様、和田峠より 5 時半からヘッドランプをつけて登ったのですが、今年は、雲ひとつなく、富士山もくっきり見えて、ご来光に赤く染まる富士山、遠くには中央アルプス、横浜のランドマークタワー、東京湾まで眺められました。
朝倉君の黙祷と家族や友人達・先輩方・後輩達のご健康とご多幸をお祈りしました。

今年は、いい年になりますように。

合掌

(無題)

投稿者：飯田 進 投稿日：2008 年 1 月 4 日(金)08 時 57 分 51 秒

塩崎兄 了解しました。
他の皆さん、お問い合わせは 1 5 日以降にお願いします。
これから、ツエルマツトに出かけますので。

Re: 雪見会

投稿者：塩將美 投稿日：2008 年 1 月 3 日(木)11 時 57 分 5 秒

> [No.225\[元記事へ\]](#)

飯田様
雪見会に娘(ボード)を連れて参加したいのですがよろしいですか？
二人で 1 部屋貰えますか？
2 5 日夜中着で 2 6 日朝食からお願いします。
2 8 日午前中滑って帰ります。

今年もよろしくお願いします

投稿者：大森雅宏 投稿日：2008 年 1 月 3 日(木)08 時 47 分 23 秒

新年がおめでたいかどうかはさておきまして。
年が改まりました。今年もよろしくお願いいたします。

昨年末以来、あ、この方もホームページ見ていらしたんだ、という書き込みが続いています。管理人さんはじめ、7 年余りの継続の賜物ですね。

色々な行事が案内されますので、ぜひご参加とお待ちしています。
私の受け持ちから言いますと、山嶽寮へのご寄稿もよろしくお願いいたします。

ところで、川野さま。

今年の冬はコタツのお守りみたいです、一人ラッセルより家族一緒のほうがいいでしょう。

会計山本さま。

パソコン、ハードディスクの外付け用のアタッチメントをポストに入れておきます。(明日夜までに・予定)

USBでつないだら中身が回収できる・かもしれない。極端に大切なものは、作動させずにそのまま専門業者に、というのが定石らしいですが、高い。

川野へ

投稿者：マンタ 投稿日：2008 年 1 月 2 日(水)23 時 17 分 12 秒

君の先輩が旅立った。

敬意を表してめでたいですか。

社交辞令ですか。many thanks to you.

山本へ

投稿者：マンタ 投稿日：2008 年 1 月 2 日(水)23 時 05 分 49 秒

質問 君の先輩が旅立った。敬意をあらわしてめでたいですか

有難う、多くの many tanks to you .

お山バンザイ

謹賀新年

投稿者：山本恵昭 投稿日：2008 年 1 月 2 日(水)18 時 43 分 16 秒

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

年末に突然パソコンが壊れ、あたふたしています。持ち帰った事務仕事もできず、バックアップしていなかったいろいろな思い出の写真などがピンチです。何とか HDD からデータを取り出そうと試行錯誤中です。とりあえず、回収業者に出しそびれていた 98 パソコンを設定しなおして、ネットは見れるようになりました。

年末に、三宮好日山荘でゴアテックス・シンサレートの最新の冬用登山靴を見ていたら約 5 万円。何とか買おうかなとも思っていたのですが、それどころではなくなっていました。

この正月からのバタバタは、今年 1 年をあらわしているのでしょうか。

追記

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 1 月 1 日(火)19 時 57 分 12 秒

バンゾーの写真、中央部の黒点が人間です。

謹賀新年

投稿者：福田信三 投稿日：2008 年 1 月 1 日(火)19 時 51 分 22 秒

新年おめでとうございます

今年も甲南山岳会にとって良い年でありますよう、

お祈りいたします。

日本より4時間早く元旦を迎えたと自慢したら、
4時間早く歳をとったなあ、と返されました

今年もよろしくお願いいたします。

写真はスカイタワーの200mのバンジー、
お若い方々、まねをしないで下さい

オークランドより



謹賀新年

投稿者：管理人 投稿日：2008年1月1日(火)07時17分39秒

あけましておめでとうございます



謹賀新年

投稿者：川野幸彦 投稿日：2008年1月1日(火)00時02分42秒

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。